著雍　沮灘

文德元

○張潛、相と爲る。
○秦彥、高駢を殺す。
○鄒漢章、張神劍・高霸を敗る。兩軍各〻奔り歸る。
○朱珍、濮州を攻め、敗れ還る。朱宣復た曹州を取る。
○杜稜、常州を拔き、道みて鄆州を攻め、敗れ還る。朱宣、周寶を迎へて以て歸る。
○廣陵、食無く、人を屠りて之を賣る。楊行密、廣陵に奔る。錢鏐、周寶を迎へて以て歸る。
○秦宗權、弟宗衡を殺し、首を朱全忠に送る。
○儒、宗衡・孫儒を逐はし、行密と楊州を爭はしむ。彥・師鐸之に歸す。
○李唐賓、相下らず。朱全忠兩ながら之を討つ。
○珍、全忠・軍權・民政、悉く敬翔に咨る。朱全忠兩ながら之を討つ。
○儒、高郵を攻む。張神劍、廣陵に奔る。行密、之を殺す。
○行密、高霸を召して廣陵に還らしむ。
○朱全忠に詔して淮南を兼ね領せしむ。
○陳敬瑄、顧彥朗・王建が相親むを惡み、田令孜をして建を召さしむ。建、鹿頭に至る。敬瑄悔いて之を拒ぐ。
○楊行密、怒り、攻めて漢州を拔き、彥朗と共に成都を攻むること三日。克たずして退く。
○呉襲、呂用之を殺す。
○楊行密、高霸及び龐下數千人を殺す。
○朱宣、上元を拔く。趙鍠走る。
○趙德諲、荊南を陷れ、張環を殺す。時溥、兵を以て之を拒ぐ。璠、泗上に至りて還る。
○陳儒、馮敬章、薛朗を擒にす。
○馮弘鐸、薛朗を殺す。
○阮結、蔚州を陷る。

孫儒、秦彥・畢師鐸を殺す。
○楊行密、張守一を殺す。
○朱全忠、將に淮南に如かんとし、宋に至りて還る。
○上、不豫なり。
○上、長安に至る。赦し、改元す。

三、戊戌。
五、丁酉。
七、丙申。
九、乙未。

十一、甲午の朔。本志に、三月戊戌朔、胃の一度に食す。八月、熒惑、輿鬼を守る。歲・鎭・太白、周に舍まる。

○魏博の牙兵、樂彥禎を廢し、趙文珉を立て、又、之を殺し、羅弘信を立つ。
○彥禎の子從訓、城を攻め、克たず、援を朱全忠に求む。
○張全義、河陽を襲ひ、李罕之を逐ひて之に據る。罕之、全忠に求む。
○韋昭度、皇弟壽王傑を立て、名を敏と更む。
○上、韋號を上つる。楊復恭、前烈を恢復するの志有り。
○昭宗、從訓を救ひ、魏の兵を內黃に敗る。
○朱珍等、樂從訓を救ひ、魏の兵を內黃に敗る。
○李克用、李罕之を助けて、河陽を攻む。張全義、救を朱全忠に求む。
○王建、西川十二州を掠む。
○王太后を追尊す。
○孫儒、楊行密、走りて廬州に歸る。
○朱全忠、楊行密、孫儒を陷る。
○楊行密、丁會等を遣はして河陽を救はしむ、河東の軍退く。會をして之に鎖せしむ。張全義復た河南に還る。

○克用、罕之を澤州に置く。數百里の間、煙火無き者、幾と十年。
○成汭、羅弘信を立つ。
○弘信、父子を殺し、和を朱全忠に求む。
○汭、荊南を襲ひ、王建驟を逐ひて之に據る。
○韓建と、能く流散を安集す。時に北韓・南郭と號す。
○汭、韓建を以て來降す。
○趙德諲、蔡州を圍む。
○全忠、諲ふ、天子の重きに倚らざれば、則ち衆心、離れ易しと。
○王建、蔡州を用ふるは、
○顧彥朗、陳敬瑄を奉ぜず、它鎭に移さんと請ふ。
○陳敬瑄に代らしむ。
○袁襲、楊行密に勸む、宣州を取れと。
○行密、蘇塘等を以て九華に敗る。
○趙鍠、陶雅、錢鏐、李克修、倩方、孟方を攻む。
○倩方、立の兵を遣はして宣州に敗り、奚忠信を擒にす。
○倩宗、葬る。
○李克修、朱全忠、時溥を敗り、宿州を取る。
○申叢、秦宗權を執へて以て降る。
○王璠、彭州を攻む。
○韋昭度に命じて、陳敬瑄を討たしむ。
○楊守厚、永平節度と爲す。
○王建、以て夔州を陷る。

唐昭宗曄龍紀元

屠維作噩

正、癸巳。
三、壬辰。
六、辛酉。
八、庚申。
十、己未。
十二、戊午の朔。

○救し、改元す。○劉崇望・相と爲る。○龐師古、時溥を呂梁に敗る。○郭璠、申叢を殺し、秦宗權を汴に送る。○王建、山行章を新繁に敗る。○秦宗權を誅す。○朱全忠、蔡州に克ち、軍勢益〻盛なり。○蔡州に克ち、軍勢益〻盛なり。○趙鍠、蘇州を拔く。○錢鏐の弟祖立つ。○潤州の阮結卒す。○李克用、孟方立を攻め、磁・洺二州を拔き、其將馬溉を擒にし、邢州を攻む。方立、藥を飲みて死す。○楊行密、宣州を拔く。○徐溫、據りて餓者に食はしむ。○李德誠、趙鍠に從ひて、去らず。行密、宗女を以て之に妻はす。○孫儒、袁襲を攻む。袁襲、勸めて首を以て之に降る。○王緒、蔡を好むは、壽ならざる所以なりと。○田頵、常州を攻む。○上名を曄と改む。○圓丘に祀る。宦官始めて法服を衣る。○孔緯、楊復恭將に反せんとすと。○又謂ふ、李順節は、廳に班見すべからずと。○朱全忠、鹽鐵を求む。兵を興すに非ざれば不可なりと。○田頵、常州を以て之に降る。○龐師古、孫儒を擊つ。○王建、廣都に敗る。山行章、眉州を以て之に降る。○宋行諫、常州を取る。○劉建鋒、田頵を逐ひ、常州を取る。○劉令田、劉建容を殺す。

上章閹茂大順元

二、丁巳。
四、丙辰。
六、乙卯。
八、甲寅。
十、癸未。
十二、壬午の朔。閏九。十月二日、小雪。

○章號を上つる。改元す。○孟遷・汴の將を擒にし、邢・洺・磁州を以て李克用に降る。○王建、邛州を攻む。楊儒、其衆を以て降る。○杜有遷、簡州を以て建に降る。○龐師古、天長・高郵を以て王建に降る。○侯元綽、資州を以て王建に降る。○孫儒、龐師古を陵亭に敗る。○龐師古、潤州に據る。○馬敬言等、赫連鐸を雲州に攻む。○李克用、之に代る。○李克脩、薨ず。○張宿、筠州を以て時溥に應ず。○朱實、嘉州を以て王建に降る。○文武堅、戎州を以て王建に降る。○赫連鐸・李匡威・朱全忠、李克用が敗るるに因りて之を討たんと請ふ。○上、張濬が楊復恭と隙有るを以て、之に親倚す。濬も亦功名を以て自ら任ず。○濬、楊復恭と虛談を好みて實用無し。必ず天下を交亂せんと。○克用、兵を京師に募る。故に兵を京師に募る。十萬人に至る。○朝議謂へらく、兵强くして天下服すと。潤、獨り孔緯と、之を伐たんと請ひ、外勢を恃みて以て楊復恭を擁せんと欲す。○克用は伐つ可からずと。○諸軍を督して河東を伐たしむ。○安居受・李克脩を攻めしむ。○孫儒、袁恭を殺し、潞州を以て朱全忠に歸す。高霸、居受を殺して之に代る。○孝を詔して、先づ外患を除きて後に内患を除かんと請ふ。○盧彥威、潞州に鎭せしむ。○張濬、軍を以て潞州に會す。○謝從本、雅州を以て建に降る。○李昌符、成都を救ふ。王建、擊ちて之を斬る。○孫儒、好を以て建に求む。既にして復た仇敵と爲る。○孫儒、楊行密を攻む。行密、之を逐ひて之に代る。○張濬、軍を管州に會す。○全忠に詔して、汴・滑兩鎭を兼ねしむ。全忠、辭して受けず。○官軍に至る。○陰地關を犯して潞州に入る。○葛從周、

○盧弘、王師範を攻む。師範、弘を誘ひて之を斬り、遂に張蟾を殺し、崔安潛を逐ふ。
○孔緯・張濬、朱全忠に倚る。韓建、貶所に赴かす。
安知建、李克用に貳あり。克用、李存孝を以て之に代らしむ。知建、青州に奔る。朱宣、之を殺す。
○成都飢うること甚だし。唐刑を爲せども、人、懼れず。徐耕、數千人を活かす。
王建、詔を奉じて兵を罷めず、韋昭度に逼りて東歸せしめ、之に代りて成都を攻む。
李克用、淮・蔡の衆を悉して江を濟り、潤州より轉戰して南す。楊行密の軍屢〻敗る。
孫儒、大水に遇ひて楊州に圍む。
張濬再び貶せらる。
○德王祐を立つ。
○楊行密、滁州を取る。
○李行密、和州を取る。
○孫儒、雲州に克つ。赫連鐸、幽州に奔る。
○李克用、楊州を焚掠し、江を度りて楊行密を攻む。張訓、楊州に入り、其穀を收む。
○李儒、廣德に屯す。
○田令孜、印節を以て王建に授く。陳敬瑄、城を開きて之を納る。
○建、張勍を殺す。
○孫儒、陳敬瑄の軍櫂を盜む。
○田令孜、王環を溺殺す。
○楊復恭、致仕し、使者を殺す。
○復恭、顧彥朗を薦む。弟彥暉立つ。
○丁會、宿州を拔く。
○王建、政事を勤め、直言を納る。
○上、李順節に命じて、楊復恭・楊守信を討たしむ。
○劉崇望、禁軍に說きて虜掠せざらしむ。
○守信、興元に奔る。
○復恭、守信を龍尾岡に敗る。李匡威、之を救ふ。乃ち還る。
○李克用、王鎔を以て朱全忠に降る。
○郭鋌、曹州を以て朱全忠に降る。
○劉知俊、朱全忠に降る。
○丁會、朱瑾を金鄉に敗る。
○孫儒、李順節を殺す。
○景宣等、劉崇望を禁掠し、宣州に逼る。
○蘇常を取る。
○錢鏐、蘇州を取る。
○楊守亮、顧彥暉の旌節を奪ひて之を伐つ。王建、之を救ひ、因りて彥暉を執へんと欲し、果さず。

○李讜等、李罕之を澤州に攻む。
○孫揆、潞州に赴く。李存孝、兵を伏して之を擒にし、紈ぐに素練を以てし、城下に徇ふ。
○孫儒、克用を罵る。克用、之を鋸殺す。
○沈粲、潤州を攻む。
○杜洪休を殺す。
○李友、蘇州を拔く。
○陳敬瑄、民財を括す。
○朱全忠、河陽に軍す。
○李存孝、鄧季筠を擒にす。
○李讜・李重胤還れ歸る。全忠、之を斬る。
○李克用、康君立を以て昭義に鎭せしむ。李存孝始めて貳志有り。
○李匡威・赫連鐸、克用を攻む。克用、擊ちて之を走らす。
○孫儒、諸將は口を以て賊を擊つと。
○李罕之、常州を拔く。毛湘、任可知を以て己が頭を取りて王建に降らしむ。
○李行周、蜀州を以て建に降る。
○朱全忠、道を魏に假らんとす。許さず。遂に之を伐つ。
○李存孝、韓建を敗る。邠岐の軍、戰はずして走り、禁軍自ら潰ゆ。建、張濬と、晉州を保つ。存孝、
絳州を陷る。
○李克用、表して冤を訟ふ。
孫儒、蘇州を拔く。安仁義等、潤州を弃てて走る。

重光大淵獻

二、辛巳。四、庚辰。五、己酉。七、戊申。十一、丁未の朔。

二

朱全忠、魏の軍を內黃に敗る。羅弘信、和を汴に請ふ。
○孔緯、出でて荊南に鎭し、建濬、鄂岳に出づ。
○崔昭緯・徐彥若、相と爲る。
○緯・濬再び均・連に貶せらる。
○李克用の官爵を復す。
○孫儒、淮・蔡の衆を悉して江を濟り、潤州より轉戰して南す。楊行密の軍屢〻敗る。
○李罕之の繡に貶せらる。
○張濬再び貶せらる。
陳敬瑄の官爵を復し、韋昭度等をして兵を罷めしむ。

○守亮、金商より京師を襲はんと欲す。馮行襲、撃ちて之を破る。
○陳巖、福建を以て王潮に授けんと欲す。范暉、之を拒む。

玄黙困敦

正、丙午。三、乙巳。五、甲辰。六、癸酉。八、壬申。十一、辛丑の朔。

景福元

赦し、改元す。
○李茂貞・王行瑜・韓建等、楊守亮を討たんと請ふ。詔して之を和解す。
○王鎔・李匡威、堯山を攻む。李嗣勳大に之を破る。
○楊行密、退きて銅宮を保たんと欲す。劉威・李神福、以て不可と爲す。
○戴友規、行密に勸む、先づ淮南の人を遣りて廣陵に歸らしめよ。孫儒の軍、之を慕ひ、必ず心を離さんと。
○楊晟、楊守亮と約して、共に東西川を攻む。
○李茂貞・王行瑜、擅に興元を攻む。牛徽、茂貞に招討使を加へんと請ふ。
○朱瑄、朱全忠を瓠河に敗る。
○孫儒、宣州を圍む。
○張訓、陳可言を殺し、常州を取る。
○楊行密、潤州を取る。
○朱全忠、時溥を它鎭に移さんと請ふ。詔して劉崇望を以て之に代らしむ。溥、代を受けず。
○趙德諲、薨す。子匡凝代る。
○王潮、弟審知を遣はして范暉を攻めしむ。
○王建、王宗裕等を遣はして彭州を圍ましむ。符昭、成都を攻めて以て楊晟を救はんとし、果さず。
○鄭延昌、相と爲る。
○楊子實等、王建に降る。
○李克用・王處存、王鎔を攻む。鎔、之を新市に敗る。
○楊守忠・楊守厚、東川を攻む。
○李簡・華洪、大に守忠を鍾陽に、守厚を銅鉾に破る。二帥皆走る。
○錢鏐を以て武勝防禦使と爲す。
○西門重遂、賈德晟を殺す。
○李匡威、雲代を侵す。李克用始めて還る。
○張訓、徐の兵を壽河に敗り、遂に楚州を取る。
○楊行密、孫儒を擒にし、之を斬る。
○劉建鋒・馬殷、餘衆を收めて洪州に趣く。
○行密、楊州に還る。

卷第二百五十九

○楊州の富庶、地を掃ふ。
○王先成、王宗侃に說きて、寨及び行縣を置き、山谷の民を招安せしむ。
○李茂貞、鳳・興・洋の三州を取る。
○楊行密、蔡の兵を選びて黑雲都を置く。
○高勗、茶・鹽を以て民の布帛に易ふるを諫め、但だ鄰道と交易せしむ。
○行密、武伎、長ぜず。而して寬簡にして智略有り、猜忌せず。荒殘の後を承けて、能く勤儉を以て用を足らし、徭を輕くし斂を薄くす。數年の間に、幾ど承平の舊に復す。
○李匡威・赫連鐸、雲州に寇す。李克用、撃ちて之を敗る。
○李茂貞、興元を攻め、楊守亮等、閬州に奔る。
復た時溥を以て徐州に鎭せしむ。
○李存孝、邢・洺・磁を以て朝廷に歸す。
○張遂・張諫、濠泗を以て朱全忠に降る。
○全忠、濮州を拔き、遂に徐州を攻む。
○王壇、婺州を陷る。
○蔡儔、救を全忠に求む。全忠、救はず。楊行密、李神福等をして之を討たしむ。
○邊岡、景福暦を造る。
○華洪、楊守亮を撃ち、之を破る。
○明州の鍾文季卒す。黃晟、之に代る。

昭陽赤奮若

二、庚午。四、己巳。閏五、戊辰。六、丁酉。八、丙申。十、乙未の朔。六、二日、大暑。

二

時溥、宿州を攻め、郭言を殺す。
○李茂貞、再び顧彥暉に節を賜はらんと請ふ。
○王建、岐・梓の兵を利州に敗る。
○李茂貞を山南に徙す。從はず。
○李克用、李存孝を撃ち、遂に王鎔を撃ち、鎔の兵を叱日嶺に敗る。李匡威、之を救ひ、克用を元氏に敗る。克用、邢州に還る。
○朱友裕、彭城を圍み、朱瑾を石佛山に敗る。朱友恭、之を譖す。友裕逃れ歸る。張夫人、之を救ひ、免るを得たり。
○李匡籌、幽州に據る。李匡威、歸るを得ず、入朝せんと欲す。京師の士民竄匿す。王鎔迎へ歸りて之に父事す。
○柳玭謂ふ、門地高きは、畏る可きも、恃む可からずと。
○王建、陳敬瑄・田令孜を殺す。

○龐師古、彭城を抜く。時溥自ら焚死す。
○李匡威、王鎔を劫し、其位を奪はんと欲す。墨君和、鎔を負ひて以て免る。鎮人、匡威を攻め、之を殺す。劉仁恭、王鎔を攻め、匡籌を助く。匡威、河東に奔る。蔡儔を鷹州に圍む。張顥出で降る。其の反覆するを悪み、之を殺さんと請ふ。
○楊行密、蔡儔を抜く。范暉走り死す。王潮自ら留後と稱す。
○王楊行密、鎮海・鎮東・宣歙觀察使と爲る。
○鎮海・鎮東・宣歙觀察使上、蘇杭觀察使と爲る。
○李鍇、武寧の制し難きを以て、曹誠等を出して節度使と爲す。
○李匡籌、武寧を攻む。
○王鎔、邢州を救ふ。
○李克用、之を平山に敗り、進みて鎮州を擊つ。鎔、和を請ひ、且つ兵糧を以て、邢州を攻むるを助く。
○楊行密、鷹州に克ち、蔡儔を斬る。其家を發かずして曰はく、儔、此を以て罪を得たりと。
○張雄卒す。周鍇、之に代る。
○李茂貞上表し、不遜なり。上怒り、之を討たんと欲す。杜讓能諫む。聽かず。曰はく、但だ恐る、臣徒らに錯の誅を受けんことを。
○崔昭緯、陰に邠岐に附き、七國の禍を弭むる能はざらんことを。
○市人、瓦石を投じて昭緯及び鄭延昌の肩輿を擊つ。堂印・朝服を褒ふ。
○嗣覃州を以て、王建に命じて討たしむ。
○嗣覃州を得て、李茂貞を討たしむ。
○龐師古、竟州を攻め、朱瑾を以て古を敗る。
○鎮海・鎮東節度使と爲す。
○鏐、杭州を海に歸る。
○鄧處訥、邢州を圍む。
○李克用、邢州を救ふ。
○袁奉韜、李存孝を誅き、以て塹壘を成す。
○鄧處訥、邢州を圍むに及び、季述周の軍、興平に潰ゆ。
○李茂貞・王行瑜、進みて臨皐に軍す。上、之が爲めに西門君遂等を斬り、以て之に謝す。
○杜讓能、相と爲る。
○崔胤、相と爲る。
○崔昭緯、貶して端州司馬と爲る。
○兵を勒して退かす。讓能に死を賜ふ。
○茂貞、朝廷の勤息、邠岐に稟け、南北司、二鎮に依りて以て恩澤を邀ふ。不逞なる者、崔胤・王超に因りて以て詔命を建て、觀察使と爲す。
○是よより、王潮以て福を回らす。
○楊行密、舒州を取る。
○王建、瑜を招きて以て之に代らしむ。瑜、命を受けず。
○周岳を殺し、潭州に據る。

旃蒙	閼逢攝提格	乾寧元
二	二、甲午。 四、癸巳。 五、壬戌。 七、辛酉。 八、庚寅。 十一、己未。 の朔。	李茂貞、入朝す。 ○朱全忠、兗鄆の兵を魚山に敗る。 ○鄭紫、自ら以爲へらく、時事、知る可しと。 ○張鈞、相と爲り、之に代る。 ○吳蕘、兄鐐を以て楊行密に降る。 ○黃巢討ぜられて降る。 ○李存孝出で降る。李克用、之を車裂し、諸將の之が爲めに請はざるを恨む。 ○薛阿檀死す。克用の勢衰ふ。 ○李克用、劉建鋒、潭州に據る。 ○馬殷、蔣勛に說きて鄧處訥を襲はしめ、之を斬る。 ○王建、彭州を拔き、楊晟を斬る。 ○鄭延昌、罷む。 ○朱瑾・盧・杜洪、救を河東に求む。李克用、安祿順を遣はして之に赴かしむ。 ○黃州、朱瑾を攻む。 ○李用、劉崇魯、麻に哭して罷むを聞き、累表して崇魯を訴る。 ○李茂貞、相と爲る。 ○鄭紫、赤連鐸を破り、之を殺す。 ○徐彥若、闔州を拔く。楊復恭等走る。 ○楊守厚、卒す。 ○綿州、王建に降る。 ○楊守亮・守信、走りて乾元に至る。韓建、擒へて之を斬る。 ○楊復恭、守亮に書を遺りて、自ら定策國老と謂ひ、上を門生天子と謂ふ。 ○李克用、劉仁恭を立てて幽州を取らしむ。 ○李匡籌、大同を以て楊行密に降る。楊汴始めて疆有り。 ○張濬、泗州を破り、匡籌走る。盧彥威、之を殺す。幽州、克用に降る。 ○董昌、劉潮、王鎰、吳討ぜられて降る。 ○李匡威、印を楊行密に納る。 ○劉昌諲、璩を保ちて民を息ふ。 ○卒す。 ○妖を以て、子を隱して帝と爲らんことを謀る。

單閼

三、戊午。
五、丁巳。
六、丙戌。
八、乙酉。
九、甲寅。
十一、癸丑。
○本志に、七月癸亥、心を熒惑す。

李克用、幽州に入る。
○朱友恭、相と朱瑄を破り、安福順を擒にす。
○陸王重盈薨ず。軍中、兄の子珂を立つ。
○楊行密、朱全忠を討たんと請ふ。
○黃碣、董昌に謂ふ、寧ろ死して忠臣と爲るも、吳錄、昌に謂ふ、眞の諸侯と爲りて以て子孫に傳へずと。
○張逐、昌に謂ふ、帝と爲らば、巡屬の六州、必ず從はず、徒らに孤城を守らんのみと。
○昌、錢鏐、自ら大越羅平國と稱し、順天と改元す。
○鏐、錢鏐、昌に謂ふ、其の門を閉ぢて天子と作らんよりは、門を開きて節度使と作るに何如ぞやと。
○鏐、兵三萬を將ゐて越の城下に至り、昌を諭す。昌憫れて、吳瑤等を執送し、罪を天子に待たんと請ふ。
○王重盈の子琪・瑤、兵を擧げて王珂を攻む。鏐乃ち還る。
○復た李谿を以て相と爲す。
○朱全忠、單父に屯す。
○李克用、劉仁恭を表して、幽州に鎭せしめ、兵を留めて之に戍せしむ、李谿は相と爲す可からずと。上、已むを得ずして、復た之を罷む。
○崔胤、出でて河中に鎭す。
○王摶を以て相と爲す。
○李克用、河中を以て王珂に授けんと請ふ。李茂貞・王行瑜・韓建・表す、珂は重榮の子に非ずと。上、克用に許す。
○楊行密、濠州を拔き、張璲を執ふ。
○行密、李昇を獲、徐溫に賜ふ。
○行密、壽州を圍む。
○行密、諸王をして兵を將ゐて方鎭を巡警し及び撫慰せしめんと欲す。南北司競ひ諫めて止む。
○董昌、陸希聲を罷む。
○昌、希聲を赦す。
○錢鏐、表す、董昌は赦す可からずと。
○致仕す。
○章昭度、劉建鋒、武安軍節度使と爲る。

李克用、兵を遣はして鄆を救はしむ。朱友恭、汴に還る。
○錢鏐に詔して董昌を討たしむ。
○王行瑜、李茂貞・韓建、兵を引きて入朝し、李谿・韋昭度・康尙弼を殺す。
○三帥、廢立を謀る。李克用が兵を起すを聞き、乃ち鎭に還る。
○劉崇望、昭州に貶せらる。
○孔緯・張濬を起して相と爲す。
○李克用、緯を以て相と爲す。
○王行約、同州を棄て、京師に奔る。
○李繼鵬・駱全瓘、上を劫して鳳翔に幸せしめんことを謀る。左右軍、闕下に相攻め、矢、御衣を拂ひ、遂に宮室を焚く。上、出でて莎城に幸し、移りて石門に幸す。
○上、使を遣はして李克用を召して邠岐を討たしむ。
○李茂貞、克用、永壽を拔き、渭北に軍し、李繼鵬・駱全瓘を斬り、以て罪を謝す。
○上、延王戒丕等に命じて、克用を諭し、且く茂貞を赦し、專ら行瑜を討たしむ。
○戒丕等、克用を拜して兄と爲さしむ。
○崔胤、子存を遣はして入見せしむ。
○李克用、子存を留めて相と爲す。
○崔昭緯、書省に尙寢す。
○上、倘を罷む。
○朱全忠、朱瑄を梁山に敗る。
○孔緯、李茂貞・韓建・王行瑜に屯す。
○李茂貞、以て副都統と爲す。
○史儼、邠寧の兵を雲陽に敗る。
○楊行密、蘇州に屯す。
○李克用、以て童昌を救ふ。
○崔胤、緯を貶す。
○李克用、夫人を賜ふ。
○克用、王珣を破り、梨園等の三寨を拔く。
○王行約等、寧州を棄てて走る。
○上、遷りて大內に居る。

○朱全忠、兗州を圍む。
○楊行密、田頵・安仁義を遣はして杭州を攻め、以て董昌を救はしむ。
○孫儒、相と爲る。子郜、之に代る。
○李茂貞、王行瑜を救ふ。李罕之、擊ちて之を走らし、遂に龍泉を拔く。行瑜、邠州に走り、降を請ふ。
○朱全忠、王行瑜を救ふ。李罕之に降る。
○陳儒卒す。弟岌、之に代る。
○李克用、邠州を拔く。王行瑜走りて死す。
○賀瓌等を遣はして曹州を襲はしむ。朱全忠、之を鉅野の南に敗り、瓌を虜にす。
○朱瑄、利州を拔く。
○王宗侃・鄧繼崇、羣蠻を帥ゐて邵州に據る。
○蔣勛、邵州に降る。
○闐遂、渠州、皆、王建に降る。
○李建及、東川を攻め、王と爲兵を楸林に敗る。
○李克用、蓋寓を以て晉王と爲す。常に從はる。
○蓋寓、婉辭を以て克用を規諫し、近事を引きて喩と爲す。
○朱全忠、離間す。克用益〻之を親しむ。
○顧彥暉、王宗弼を獲。
○王建に降る。
○通州、陣壻を殺す。
○李克用、劉鏻を皇天蕩に破り、遂に蘇州を圍む。
○李茂貞を討たんと請ふ。上、許さず。克用曰はく、茂貞を去らずんば、關中、寧日無からんと。
○蓋寓、朱全忠、朱友恭を遣はして淮を度らしむ。
○克用に謂ふ、入朝せば、恐らくは都邑を震駭せんと。
○李克貞、驕橫なること故の如く、河西に據有す。
○葛從周、兗州を攻め、詐りて遁るる爲し、去りて復た還り、之を敗り、孫漢筠を擒にす。
○張鴞、子琰を遣はして兗鄆を救はしむ。
○李克用、之に代る。
○家晟、史儼を遣はして兗鄆を救はしむ。陳可璠、晟を殺し、劉士政を以て之に代らしむ。
○襲ひて桂管に據る。

○王宗夔、龍州を拔く。
○馬殷、邵州を攻め、定勝を拔く。
○安仁義、湖州に屯して童昌を救ふ。顧全武、西陵に屯し、以て之を拒ぐ。
○李存信、兗鄆を救ひて幸に屯し、魏人を侵暴す。朱全忠、羅弘信に說きて、襲ひ擊ちて之を破らしむ。
○弘信遂に河東と絶つ。

柔兆　三
執徐

二、壬子。
四、辛亥。
六、庚戌。

八、己酉。
十、戊申。
十一、丁丑。
○朔。閏正。
二、一日、
○春分。
○本志に、八月壬申、太白、應に氐に見はれて在るべくして見はれず。九月丁亥に至りて乃ち見はる。是を當に出づべくして出でざるを出づと謂ふ。十月と謂ふ。
○全忠、弘信の贈遺を拜受す。
○王建に降る。
○詔して董昌を釋さしむ。錢鏐、從はず。
○上復た張濬を相とせんと欲す。李克用、闕に詣らんと欲す。乃ち止む。
○李思孝、致す。弟思敬、之に代る。
○滑州、河決し、分れて二と爲る。
○李克用、相魏を攻掠す。
○八月壬申、陣壻を殺す。
○劉鏻、鏻を皇天蕩に破り、遂に蘇州を圍む。軍中、張佶を立つ。佶、以て馬殷に讓る。
○楊行密、太白に見はれて在るべくして淮を度らしむ。
○朱全忠、朱友恭を遣はして淮を度らしむ。
○童昌、人をして錢鏐を說かしめ、彊盛なりと言へば輒ち之を斬り、兵疲れ食盡くと言へば則ち喜ぶ。
○顧全武、西陵に屯し、以て馬殷に讓る。
○張佶、馬殷の拜を受け、然る後軍府を以て之に授く。
○錢鏐、越州を取り、重成を越州を取り後に入る。
○楊行密、先づ重成を禮す。
○蘇州を復せんと請ふ。
○寄、蘇州を圍む。
○朱全忠、買公鐸を突きて城に入る。
○顧全武、公鐸を斬る。
○朱延壽、薪州・光州を拔く。
○王建、成都に還る。
○張佶、子琰を遣はして兗鄆を救はしむ。
○詔して兩川を和解す。
○崔昭緯、死を賜ふ。
○成汭、王建に降る。
○王宗翰、越州に據る。
○高燭、王を逐ひ、黔中及び渝浩を取る。建壁及び許存、成都に奔る。
○顧全武、吳越に歸る。
○葛從周、李克用を擊つ。
○李克用、之を救ひ、羅弘信に拒がる。
○周の四軍を退く。
○臣、今兵を引きて闕に詣り、自ら訴へんと。
○上、以て魏徵に比す。
○何迎、朱朴を薦む。
○韓建、詔して朝政を關議せしむ。建辭す。
○陸扆、相と爲る。
○崔胤、出でて鎭南に鎭す。
○茂貞、長安に入り、宮室・市肆を焚き、俱に盡く。
○李克用、謂ふ、建は天下の癰物なりと。

○王摶を出して浙東に鎭せしむ。
上、博士朱朴を擢でて相と爲す。中外大に驚く。
○福建を升せて威武軍と爲し、王潮を以て節度使と爲す。
○馬殷を以て湖南に判たらしむ。上は天子を奉じ、下は士民を撫せよと。
○高郁、殷に勸む、上は天子を奉じ、下は士民を撫せよと。
朱全忠、都を洛陽に遷さんと請ひ、且つ兵二萬を以て駕を迎へんと欲す。韓建懼れ、復た崔胤を召し
○崔遠、相と爲す。
○陸扆を貶す。
○孫偓を以て都統と爲し、李茂貞を討たしむ。
茂貞表して、自ら新にせんと請ふ。韓建、之を佐佑し、竟に師を出さず。
○王摶、復た相と爲る。錢鏐に命じて兩浙を兼ね鎭せしむ。
○李克用、魏の兵を白龍潭に敗り、追ひて觀音門に至る。
○李師悅卒す。子彥徽、之に代る。
○安仁義、婺州を攻む。
東川、漢眉等の州を焚掠す。
劉隱、盧琯を誅す。譚弘禮、薛王知柔を迎ふ。

強圍大荒落 四

韓建奏す、八王、臣を殺し天子を挾みて河中に幸せんことを謀る。悉く別第に幽し、其兵を散ぜよと。
又奏す、殿後の四軍二萬人を罷遣せんと。又奏す、諸王の・四方に使する者を召還せんと。
○德王裕を立てて太子と爲す。
○龐師古、郭州に克ち、朱瑄を擒にし、之を殺す。
○孫偓、行營都統を罷む。
○杜稜、婺州を救ふ。安仁義、睦州を攻め、克たずして還る。
○葛從周、兗州に克つ。朱瑾、淮南に奔る。
○郭・齊・曹・棣・兗・沂・密・徐・宿・陳・許・鄭・滑・濮、皆、朱全忠に入る。
○楊行密、河東・兗鄆の兵を得、軍聲大に振ふ。
○王建、華洪・王宗祐を遣はして東川を攻めしむ。
○又、王宗謹を遣はして鳳翔を討たしむ。
○赦す。
○王建、王宗侃を遣はして遂州を取らしめ、王宗阮をして遂州を拔かしむ。

○李茂貞、李繼昭を遣はして東川を救はしむ。王宗播、擊ちて之を擒にす。
○韓建、馬道殷・許嚴・士を殺し、孫偓・朱朴の相を罷む。
○楊行密に詔して、杜洪を討たしむ。
○張佶、郴州に克ち、蔣勛を擒にす。
○葛從周、泰寧に鎭し、朱友裕、天平に鎭す。
○王珂を攻む。朱全忠、珙を救ひ、李克用、珂を救ふ。珙、圍を解きて去る。
○李琪、兵を和解せしむ。
○朱全忠、武・嘉興を救ひ、淮南の兵を破る。
○顯、武・黃・淮等數州を攻む。馬殷等之を救ふ。
○朱友恭、顯、全忠、南の兵を破る。田頵走る。
○韓建、張禕等數人を貶す。
○王建、錢鏐、越州を攻む。
○朱友恭、黃州を拔き、梓州を攻む。
○錢鏐、自ら越州に如く。
○王建、李茂貞を以て四川に鎭せしめ、覃王嗣周をして鳳翔に鎭せしむ。
○王建、梓州を南の寨を破る。李洵、宣諭すれども、聽かず。
○南州に貶し、李茂貞を奏して太尉と爲す。
○韓建、李茂貞、覃王を縱して華に歸らしむ。
○錢鏐、杭州に還り、顯全武に命じて蘇州を取らしむ。
○李克用、書を劉仁恭・王鎔・王郜に移し、兵を發して關中を定めんと欲す。仁恭、從はず。克用、兵を擧げて親ら李茂貞を討たんと欲す。宰相諫めて止む。
○上、十一王を石隄谷に殺し、反を謀るを以て聞す。
○韓建、朱朴を貶す。
○周德權、王建に勸めて、東川の羣盜を招撫せしむ。
○劉仁恭、李克用を安塞に敗る。
○李彥徽、楊行密に奔る。錢鏐、湖州を取る。
○張琮に命じて李茂貞を討たしむ。
○王建、西川節度を復し、茂貞の官爵を削る。
○朱全忠、廬師古・裘從周を遣はして、楊行密を擊たしむ。淮南大に震ふ。
○遂州の侯紹・合州の王仁威・鳳翔の李繼溥、各〻衆を以て匡國を兼ね鎭せしむ。
○王宗滌を以て東川留後と爲す。

○李克用、劉仁恭に謂ふ、猜防、骨肉に出づと。
○楊行密、廬師古を清口に襲ひ、之を斬る。又、葛從周を淖水に敗る。汴の兵の還る者、千人に滿たず。
朱全忠、是に由りて、之と爭ふ能はず。
○何后を立つ。觀察副使と爲るも、怨む無し。
○潮王寔知、薨ず。
寔知、其四子を捨てども、軍府を以て寔知に授く。兄寔邦に讓る。寔邦、軍功無きを以て、敢て當らず。
○驃信舜化上書す、王建以爲へらく、小夷なり。詔書を辱くするに足らず。臣、西南に在り、必ず敢て邊を犯さじと。
○建、山行章を斬り、以て三蠻王に令し、悉く賜物鄣戍を罷む。敢て邊に盜せず。後、軍事を漏すを以て、三王を召して之を斬る。
○張道古上疏して切諫し、施州に貶せらる。

著雍敦牂　光化元

正、辛未。
三、庚午。
五、己巳。
八、戊戌。
十、丁酉。
十一、丙申の朔。閏十。
十一、一日、冬至。

劉崇望を以て東川に鎭せしむ。
○詔して鳳翔を討つを罷め、李茂貞の官爵を復す。
茂貞、韓建、宮室を修復す。
○韓建、李克用と好を通ず。
○朱全忠を以て宣武・宣義・天平の三鎭を兼ねしむ。
○馬殷、武安留後に知たり、止だ潭・邵の二州を得。
○劉仁恭、子守文を遣はして、盧彥威を逐ひ、滄・景・德の三州を取る。
恭、河東の兵を鉅鹿城下に敗る。
○葛從周、五日にして、邢・洺・磁の三州を取る。
朝廷、王宗滌已に東川に據ると聞き、劉崇望を召して還らしむ。
○馬殷、衡州・永州を取る。
朱全忠、氏叔琮を遣はして趙匡凝を伐ち、唐州を取り、隨州の刺史を擒にす。
○華州を以て興德府と爲す。
康懷貞、鄧州を拔く。趙匡凝懼れて復た汴に附く。
上、長安に還る。
○赦す。

○使を遣はして河東・宣武を和せしむ。朱全忠、可かす。
○王宗滌、遂・合等の五州を分ちて別に一鎭と爲さんと請ふ。
○秦宗權、蘇・亳に佛經を遣り、降る。而して之を宥す。
○羅弘信、子紹威に代る。
○朱友恭、襄ひて安州を攻む。葛從周、擊ちて之を敗り、追ひて青山に至る。李嗣源、兵を勒して拒ぎ戰ふ。
○李昭等、邢州を破る。
從周乃ち退く。
○王宰知を以て威武節度使と爲す。
○王珙、汴人を以て河中に寇す。珙、其家を屠る。
○王柷、珙の拜を受けず。珙、汴人を胡壁に敗る。
○陳儀、鄧州を以て楊行密に降る。
○薛志勤、亳州を以て河中を討つ。
○薛崇之、譙州に據り、朱全忠に附く。李嗣昭、之を救ひ、汴人を以て魏約等に錢鏐に易ふ。
楊行密、成及を以て之を討ち、先づ澤州を拔き、其妻子を虜にす。
曾衮叛く。劉隱、討ちて之を平ぐ。

屠維協洽　二

正、乙未。
二、甲子。
四、癸亥。
七、壬辰。
十、辛酉。
十二、庚申の朔。

崔胤罷む。
○楊行密、徐州を攻む。陸展、相と爲る。
○劉仁恭、幽滄の兵十萬を發し、貝州を屠り、魏州を攻む。羅紹威、救を朱全忠に求む。
幽滄の軍亂れ、崔洪を擒にして淮南に奔る。朱全忠、朱友裕を以て之に代らしむ。
○蔡州の軍、徐州を救ふ。楊行密引き去る。
○全忠、李思安を遣はして魏博を救はしめ、劉守文を內黃に敗り、單可及を擒にす。
○全忠、邢より魏に入り、大に劉仁恭を破る。仁恭、是より、
○葛從周、而して全忠益〻橫なり。王鎔復た旁より之を擊つ。伏尸五百里。
振はず。
○羅紹威、救を河東に求め、旣にして復た之と絕つ。
○葛從周、河東を攻め、承平軍を拔き、氏叔琮、樂平軍を拔く。楡次の周德威、擊ちて之を敗り、陣章を擒にす。
○丁會、攻めて澤州を下す。
○武信軍を遂州に置く。

○李克用、李君慶を遣はして潞州を攻めしむ。克たず。之を誅し、李嗣昭を以て之に代らしむ。
○康儒、婺州を取る。
○李罕之、疾亟かなり。朱全忠、之を河陽に徙し、丁會を以て之に代らしむ。
○陝軍亂れ、王珙を殺し、李璠を立つ。
○陳漢賓、道州を以て海州を拔き、蔡結を斬る。
○朱全忠、葛從周を召す。
○李唐賓、澤路を攻めて之を取る。賀德倫走る。
○李嗣昭、彰義節度を兼ぬ。
○王師範、沂密を以て內叛し、師を楊行密に乞ふ。
○臺濛・王綰、密州を拔き、沂州を攻め、克たず。
○朱友謙、李璠を殺し、陝を以て朱全忠に降る。
○李瓊、郴州を拔き、陳彥謙を斬る。又、連州を拔く。魯景仁自殺す。湖南皆平ぐ。

上章涒灘 二、己未。三、戊子。五、丁亥。七、丙戌。十、乙卯の朔。

三

○康儒、睦州を攻む。
○崔胤、出でて廣州に鎭す。錢鏐、之を拒ぐ。
○劉延業、李克用が城壁を治むるを諫む。
○劉守文、克用を擊ち、德州を拔き、滄州を圍む。
○葛從周、邢洺を攻めて以て之を救ふ。
○邕州の軍亂れ、李鐬を逐ふ。鐬、討ちて之を平ぐ。
○崔胤と宦官と去らんことを謀る。南北司各〻藩鎭に結びて援と爲す。王摶、徐ろに之を圖らん
と請ふ。胤、朱全忠を遣はして言はしむ、摶、敕使と同じく社稷を危くすと。胤復た相と爲り、摶及び
宋道弼・景務脩、比、死を賜ふ。胤の勢、中外に震ふ。
○葛從周、劉仁恭を老鴟陘に敗る。
○李嗣昭復た邢洺を攻む。從周、滄州を釋てて還る。
○李嗣昭、沙の兵を以て東川武信都指揮制置使を兼ねしむ。
○李嗣昭、沙門河に敗り、洺州を拔く。
○康儒退き走る。
○葛從周復た洺州を取り、廣州に鎭す。李嗣昭を靑山口に敗る。
○徐彥若出でて廣州に鎭す。
○崔遠罷む。

○裴贄、相と爲る。
○桂管を升せて靜江軍と爲す。
○朱全忠、鎭州を攻む。周式、王鎔の爲めに和を請ひ、鎔の子昭祚を以て質と爲す。
○張澤、鎔に謂ふ、全忠に說きて、兼れて幽滄易定を服し、以て河東を制せしめよと。
○張存敬、劉仁恭を擊ち、瀛・景・莫州を拔く。
○劉仁恭を遣はして劉士政を伐たしむ。
○陳可璠、秦彥・邱等を遣はして耕牛を掠め、以て軍を犒ふ。民、李瓊を導きて、秦城を取り、遂に可璠を幷せて之を擒にす。
○彥暉等、桂州を圍む。士政降る。遂に桂・宜・嚴・柳・象の五州を取る。
○張存敬、西のかた王郜を擊ち、祁州を拔く。
○存敬と沙河に戰ふ。處直を擁して定州に還る。
○朱全處直を圍む。處直敗る。餘衆、處直を擁して定州に還る。
○忠進みて定州を圍む。處直、服せんと請ふ。乃ち還る。
○劉守光を易水に敗る。是に由りて、河北、皆、全忠に服す。
○存敬、又、劉守光を下す。守光、河陽を攻む。閻寶、之を救ふ。乃ち退く。
○李嗣昭、大行を拔き、河陽を攻む。閻寶、劉季述等、禁軍を以て上を劫して少陽院に幽し、
○崔胤と、宦官を去らんことを謀る。宦官憂憤し、上を以て太上皇と爲す。但だ三司を僻く。
○太子を立てて帝と爲し、上を以て太上皇と爲す。
○張濬、書を全忠に致す。
○朱全忠を畏れ、敢て胤を殺さず。
○藩鎭に鎭勘に勸む。
○李愚、韓建に勸む。
○季述、子希度を遣はして、全忠に詣り、社稷を以て之に輸さんことを許す。
○薛王知、柔薨ず。
○季述、全忠に振を請ひ、全忠乃ち希度等を囚ふ。
○崔胤、石戩をして孫德昭等に說きて返正を謀らしむ。

重光作噩 二、甲寅。三、癸未。四、壬子。

天復元

○德昭、兵を伏して王仲先・劉季述を執へ、之を殺し、上を迎へて樓に御し、位に復せしむ。
○太子を黜けて德王と爲す。
○德昭等三人、皆、使相に除せられ、姓を李と賜ふ。
○朱全忠、東平王と爲る。
○樞密使をして宰臣が事を奏し畢るを俟ちて方に殿に升るを得しむ。

六、辛亥。
七、庚戌。
九、己酉の
朔。閏六。
七、一日、
處暑。

○李師虔・徐彦琛を誅す。
○李茂貞、入朝す。陝虢と分ちて禁軍を典らんことを請ふ。上、疑ひて決せず。李茂貞怒る。李繼昭等、亦、以て不可と爲す。乃ち復た韓全誨等を用ふ。
○崔胤、陝虢と分ちて禁軍を典らんことを請ふ。上、疑ひて決せず。李茂貞怒る。李繼昭等、亦、以て不可と爲す。乃ち復た韓全誨等を用ふ。
○茂貞、兩軍中尉を辭す。人心、安んぜず。
○茂貞、兩軍中尉を辭す。人心、安んぜず。
○全忠、張存敬を留めて宿衞す。人心、安んぜず。
○全忠、張存敬を留めて宿衞す。人心、安んぜず。
○王珂及び妻、急を李克用に告ぐ。克用、汴人が管絳の路を扼するを以て、救ふ能はず。珂をして朝に歸せしむ。
○王珂及び妻、急を李克用に告ぐ。克用、汴人が管絳の路を扼するを以て、救ふ能はず。珂をして朝に歸せしむ。
○珂謂ふ、河中亡びなば則ち同華邠岐、之が次と爲らんと。李茂貞に勸めて、諸鎭を帥ゐて、潼關に據り、全忠を拒がしむ。從はず。
○李嗣昭・張存敬、河中を拔く。澤州を圍む。王珂、勢窮まり、遂に之に降る。
○王溥・裴樞、相と爲る。
○朱全忠、氏叔琮等を遣はして、魏博易定と共に李克用を攻めしめ、沁澤潞遼等の州を拔き、晉陽城下に抵る。
○改元す。
○王宗裕、東川に鎭す。
○東川に鎭す。
○久しく雨ふりて芻糧繼がざるを以てして還る。
○氏叔琮等、晉陽を攻む。
○氏叔琮等、晉陽を攻む。
○孟遷、族を擧げて南に徙る。
○孟遷、族を擧げて南に徙る。
○朱全忠、入朝を以て河中凡そ四鎭を兼ね領せしむ。
○朱全忠、入朝を以て河中凡そ四鎭を兼ね領せしむ。
○韓全誨深く與に相結ぶ。崔胤始めて懼る。
○韓全誨深く與に相結ぶ。崔胤始めて懼る。
○韓偓謂ふ、宦官を制するは、當に正旦に在るべし。此の機生ずれば則ち彼の機應ず。終に成功無からんと。
○又た安んずべしと。
○又謂ふ、天下を爲むるは、當に公正を用ふべし。

○李克用復た慈州を取る。
○丁會・杜洪、河陽に鎭す。
○崔胤、盡く宦官を誅せんと欲す。宦官、美女の・書を知る者をして之を詗はしむ。
○崔胤、盡く宦官を誅せんと欲す。宦官、美女の・書を知る者をして之を詗はしむ。
○王宗侃、全忠、長安を過ぐ。百官班迎し及び辭す。
○王宗侃、全忠、長安を過ぐ。百官班迎し及び辭す。
○全忠、其兵八千を以て臣を召して入朝せしむと。上答ふるに胤が詔を矯むるを以てし、全忠を趣して兵を斂めて鎭に還らしむ。
○全忠、其兵八千を以て臣を召して入朝せしむと。上答ふるに胤が詔を矯むるを以てし、全忠を趣して兵を斂めて鎭に還らしむ。

○上謂ふ、陸限は吾が返正するを樂まず。服を易へて逃ると。韓偓曰はく、彼、謀に預らず。變を聞きて驚き懼るるのみと。敕使を遣はして之を詗はしむ。
○上謂ふ、陸限は吾が返正するを樂まず。服を易へて逃ると。韓偓曰はく、彼、謀に預らず。變を聞きて驚き懼るるのみと。敕使を遣はして之を詗はしむ。
○又言ふ、三功臣及び繼筠と相結び、將に不安を致さんとすと。
○又言ふ、三功臣及び繼筠と相結び、將に不安を致さんとすと。
○上、宦官を貶黜す。皆、行かず。
○上、宦官を貶黜す。皆、行かず。
○神福、杭州を攻む。顧全武、之を拒ぐ。
○神福、杭州を攻む。顧全武、之を拒ぐ。
○朱全忠は、君側の惡を誅し盡忠を爲さんと欲す。宦官、美女の・書を知る者をして之を詗はしむ。
○朱全忠は、君側の惡を誅し盡忠を爲さんと欲す。宦官、美女の・書を知る者をして之を詗はしむ。
○李繼誨等、小兒たりしとき、殿東に歌はしむ。
○李繼誨等、小兒たりしとき、殿東に歌はしむ。
○韓偓謂ふ、繼誨等は當に禁中に出入せしむべからずと。
○韓偓謂ふ、繼誨等は當に禁中に出入せしむべからずと。
○又謂ふ、敕使・衞兵、相與に一と爲ると。
○朱全忠、兵を擧げて大梁を發す。
○朱全忠、兵を擧げて大梁を發す。
○李繼誨等、杭の兵を敗りて上を劫さしむ。
○李繼誨等、杭の兵を敗りて上を劫さしむ。
○韓全誨、崔胤に謂ふ、我、勢須く西行すべし。卿等但だ東行せよと。
○韓全誨、崔胤に謂ふ、我、勢須く西行すべし。卿等但だ東行せよと。
○咸通の近例を復し、全誨等、同じく政事を議す。
○咸通の近例を復し、全誨等、同じく政事を議す。
○李繼筠、内庫を掠む。
○李繼筠、内庫を掠む。
○朱全忠、河中に至る。京師大に駭く。
○朱全忠、河中に至る。京師大に駭く。
○司馬鄴昭、同州を以て全忠に降る。
○司馬鄴昭、同州を以て全忠に降る。
○李繼昭、兵を以て崔胤及び士民を開化坊に衞る。
○李繼昭、兵を以て崔胤及び士民を開化坊に衞る。
○韓全誨・李繼誨等、百官を召す。皆、至らず。
○韓全誨・李繼誨等、百官を召す。皆、至らず。
○上に請ふ。上の西に幸するを聞き、還りて赤水に屯す。
○全忠に請ふ。上の西に幸するを聞き、還りて赤水に屯す。
○李茂貞、零口に至り、車駕を迎へしむ。
○李茂貞、零口に至り、車駕を迎へしむ。
○韓建、平を以て華州を取り、建を徙して許州に鎭せしむ。
○韓建、平を以て華州を取り、建を徙して許州に鎭せしむ。
○全忠、韓建に逼りて車駕を迎へしむ。
○全忠、韓建に逼りて車駕を迎へしむ。
○崔胤、百官を帥ゐて中書を句當す。
○崔胤、百官を帥ゐて中書を句當す。
○上、盧光啓・權機務に參知す。
○上、盧光啓・權機務に參知す。
○李繼昭、其兵八千を以て臣を召して入朝せしむと。
○全忠、密詔を以て臣を召して入朝せしむと。
○全忠、康懷貞・鳳翔の兵を斂めて鎭に還らしむ。
○全忠、康懷貞・鳳翔の兵を斂めて鎭に還らしむ。
○盧光啓・鳳翔に至る。
○盧光啓・鳳翔に至る。
○全忠、長安に至る。
○全忠、長安に至る。

○屢、全忠に詔して鎭に還らしむ。全忠乃ち北して邠州を攻む。
○○○崔胤・裴樞、相を罷む。
○○○李繼徽、全忠に降り、其姓名を楊崇本と復す。
○○○韓全誨・李茂貞、援を李克用に求む。李嗣昭、汴の兵を平陽の北に敗る。
○○○全忠還りて三原に屯す。崔胤、三原に至り、全忠を趣して鄜を迎へしむ。
○○○全忠、百官・京城の民を華州に遷す。
○○○徐彥若薨ず。遺表して劉隱を以て留後と爲す。
○○○李神福、鏐の丘壟を守衞す。鏐乃ち成を求む。
○○○馮行襲、江淮の救使を殺し、以て全忠に附く。
○○○王建、外は全忠に附き、内は李茂貞に勸めて堅く守らしめ、王宗佶等を遣はして、兵五萬を將ゐて鄜を迎へしむ。實は山南を襲はしむ。
○○○傅鍾、危に乘じて撫州に圍み、天火を祝して曰はく、民の罪に非ずと。
○○○雷滿薨ず。傅、虎を搏つを以てす。
○○○子彥威、之に代る。

玄黓閹茂

二

○○○朱全忠、武功に軍す。
○○○李昭・李嗣昭、相と爲る。
○○○嚴貽範、鹽を以て岐と爲る。
○○○全忠に姓を李と賜ふ。
○○○全忠、軍を河中に旋す。
○○○李嗣昭、絳州を下し、晉絳に逼る。全忠、朱友寧・氏叔琮を遣はして之を擊たしむ。
○○○嗣昭退きて蒲縣に屯す。康懷貞復た之を取る。
○○○嗣昭、晉州に如く。叔琮擊ちて之を破る。
○○○盜、簡陵を發く。
○○○上、謂ふ、韓建は乘れて須く之を杖つこと二十なるべしと。
○○○李氏貽範は嗣昭の頤に及ぶ。勝に乘じて河東を攻め、慈・隰・汾の三州を攻め、遂に晉陽を圍む。
○○○存信、盃を擧げて上の範を勸む。李嗣昭・李嗣源・周德威・劉夫人・李克寧、之を力爭す。
○○○克用に逃れて北虜に入らんことを勸む。

太白遂に端門を犯し、又、長垣の中星を犯す。

乃ち止む。
○○○叔琮等、大に疫して引き還る。
○○○李襲古謂ふ、城を修むるは、德を修め人を愛し將を選び吏を擇ぶに若かずと。
○○○李克用、沙陀の侵暴を縱して曰はく、諸侯、皆、重賞をもて士を募る。之を急にせば則ち散じ去らんと。
○○○李存勗謂ふ、朱氏の惡極まり、殆ど將に斃れんとす。宜しく沮喪すべき毋しと。
○○○李存勗、存勗を生む。劉夫人、之を待つこと厚きを加ふ。
○○○李曮姬、曹を以て御衣を以て楊行密に賜はしめ、東面都統と爲して以て全忠を計らしむ。
○○○崔胤、回鶻の兵を用ふるを諫む。
○○○韓偓、板を執りて歌ふ。
○○○盧光啓罷む。
○○○楊行密、顧全武を以て秦裴に易ふ。
○○○康懷貞、符道昭を以て秦裴に易ふ。
○○○朱全忠、河中を發す。
○○○韋貽範、母の喪に遭ふ。
○○○韋貽範、昏を越王に進む。
○○○蘇錢鏐、相と爲る。
○○○朱全忠、毓縣に至る。
○○○馮弘鐸、田頵を攻む。
○○○孔勍、鳳州を拔く。
○○○全忠道みて鳳翔を圍む。
○○○馮弘鐸、宿州を攻む。
○○○孔勍、成隴州を取る。
○○○韋貽範、三原に屯す。
○○○杜稜、康懷貞、擊ちて之を走らす。
○○○李勤、親兵と爲すを諫む。
○○○韋貽範、麻を草するを肯ぜず。
○○○韓偓、起復を求む。
○○○徐綰・許再思、亂を作し、杭州を攻む。
○○○韋貽範、再び起復して相と爲る。
○○○柳修業、王宗播に謂ふ、血戰せずんば、恐らくは自ら保たざらんと。
○○○王建、秦承厚の爲めに目を眥る。
○○○王宗滌、興元に克つ。
李繼密降り、憂を以て死す。

昭陽大淵獻　三　二月より

○建、宗滁が衆を得るを忌みて之を殺す。
○朱全忠、河中に歸らんと欲す。高季昌謂ふ、功、成るに垂なんとす。安んぞ捨て去る可けんやと。全忠、降りて云ふ、汴の軍遁れ去ると。李茂貞出で擊ち、大に敗れて還る。是に由りて氣を喪ふ。
○李思敬、洋州を以て王建に降る。或るひと錢鏐に勸む、東のかた越州を保てと。杜建徽、之を叱す。
○鏐、子傳瑮を以て越に之くには楊に之くに如かずと。乃ち全武を遣はし、急を楊行密に告げしむ。
○徐許、田頵を召し、共に杭州を攻む。志を得ば、必ず王の患を爲さんと。
○李儼、楊州に至るに說きて曰はく、田頵、志を得ば、必ず王の患を爲さんと。
○王建、興州を拔く。
○李彥詢、汴の軍に降る。
○李彥朝、汴の軍に降る。
○李全忠、食物を獻じ、李茂貞と連和せんことを議す。
○李茂勳、北阪に屯し、以て茂貞を救ふ。
○上、竊に二學士を見る。
○鳳翔城中、孔勍を遣はし、虛に乘じて襲ひて坊・鄜二州を取らしむ。李茂勳、之を聞き、遁れ去る。
○犬肉、人肉よりも貴し。上、御衣を鬻ぎて以て充つ。
○韋貽範、鄜を陷る。
○田頵、西陵より江を渡らんと欲す。盛造等、拒ぎて之を破る。
○李茂勳、降る。
○李全忠に請ひ、名を周彝と更む。
○李茂貞、密に官を朱全忠に請ひ、名を周彝と更む。
○楊行密、田頵に質と爲す。頵、錢鏐・錢及を徵し、質を取りて還る。
○錢傳瑮、璙を遂逐し、温州に據る。
○朱友恭を以て十六宅東面招討使と爲す。
○丁章言ふ、十六宅凍餒し、死する者日に數人と。速かに和解せしむ。
○鳳翔の辛韜、全誨を陷る。
○岳州の鄧造思、之に代る。
○弟進忠、之に代る。

二、壬申。
○張居厚、兗州に據る。
○劉鄩、朱全忠が天子を圍逼するを以て、兵を分ちて河南の諸州を襲ふ。
○王師範、市人、知らず。事泄れて走り死す。

四、辛未。
五、庚子。
七、己亥。
八、戊辰。
十一、丁卯の朔。

○李茂貞、上に白して、韓全誨等を誅し、朱全忠と連和す。
○上、累りに崔胤を召す。胤、疾と稱し、至らず。
○全忠、鳳翔の北山の兵を擊つ。
○茂貞、子侃の爲めに平原公主に尙せんことを求む。
○茂貞、鳳翔に田で、全忠の營に幸す。
○崔胤、興平に迎へ謁し、復た相と爲る。
○上、長安に入る。
○崔胤、盡く官數百人を誅し、内諸司を以て省寺に歸し、兩軍・八鎭を六軍に隸す。
○李克用を以て六軍・十二衞に判たらしむ。
○晉州を攻む。
○鳳翔に在る所の官を停む。
○張承業等、陸渾を惡みて之を貶す。
○宋柔等を杖殺す。
○韓偓、謂ふ、萬國の耳目、安んぞ機數を以て之を欺く可けんやと。
○蘇檢・盧光啓に死を賜ふ。
○王溥、分司たり。
○朱全忠の將佐を褒寵す。
○崔胤、全忠を恃みて專恣なり。
○崔胤、輝王祚を以て元帥と爲し全忠を之に副とせんと請ふ。
○全忠、符道昭を表して秦州に鎭せしめんとし、果さず。
○韓偓、趙崇・王賛を薦めて相と爲す。全忠怒る。偓、坐して貶せらる。
○全忠、華州をして平原公主を取らしむ。
○朱友裕、華州に鎭す。
○全忠、步騎萬人を兩軍に留め、朱友倫をして之に將たらしむ。侍衞京輔、皆、全忠の黨なり。
○裴樞、鎭歸るる。
○全忠に爲る。
○相と爲る。
○李克用、崔胤を謂ふ、權重ければ則ち怨多く、勢侔しければ則ち畢生ずと。
○又謂ふ、全忠、淄青に事有らんと欲し、吾が其後を掎せんことを畏ると。
○全忠、四鎭・魏博の兵を以て王師範を擊つ。
○全寧、兗州の圍を解く。
○全忠、鄆州を圍む。
○李神福、葛從周、兗州を圍む。
○元帥府に判たり。
○張惠、温州に據る。
○朱全忠、丁章死す。

以後は巻第二百六十四

○王茂章・王師範を救ふ。
○淮南の兵、宿州を攻む。康懷貞、擊ちて之を走らす。
○許德勳、馬殷に勸めて、朱全忠に絕たざらしむ。
○杜洪・李班・汴・秦隴を以て王殷に示す。
○建王李建、馬を以て雲州を攻む。朱全忠に求む。全忠、成汭・馬殷に謂ひて曰はく、「汭に救を朱全忠に求む。全忠、成汭・馬殷に謂ひて曰はく、「汭に救を
○王建敬暉、雲州を以て王殷に示す。劉仁恭に降る。李克用、李嗣昭を遣はして之を討たしむ。敬暉、衆を帥ゐて城を弃て去る。
○契苾讓、振武に據りて叛く。嗣昭、討ちて之を平ぐ。
○克用李神福、嗣昭を杖つ。
○君山に敗る。汭、溺死す。
○馬殷・雷彥威、襲ひて江陵を陷る。
○許德勳、岳州を過ぎ、鄧進忠を長沙に遷す。
○李茂貞、尙書令を解き、以て朱全忠を避く。
○崔胤、六軍千餘人を召募せんと請ふ。
○王朱友寧、博昌を攻め、民十餘萬を驅りて之を守らしむ。
○茂章、密州を拔き、張訓をして之を守らしむ。
○朱全忠、登州を拔く。
○王師範・王茂章、朱友寧を石樓に破り、之を斬る。
○茂章、自ら青州を攻む。茂章戰ひ且つ酒を飮む。
○全忠引き去る。李虔裕、之に死す。
○張訓、府庫を封じ、旗幟を植てて去る。
○陸詢、陣を據りて叛く。
○鍠、杜建徽に兵伏を索む。方永珍を遣はして之を擊たしむ。
○杜建徽、楊師厚を留めて靑州を圍ましめて還る。
○王朱建全、以て蜀王と爲す。
○王宗本を忠武に徙す。
○田頵、楊行密に詣る。獄吏、貨を求む。
○楊行密、境を保ち民を息め頵の攻取を抑へんと欲す。
○行密、頵に同じく兵を擧ぐ。
○頵、安仁義を攻む。
○安仁義、李神福を鄂州より召す。
○神福詐りて、荊南を攻むと云ひ、遂に東に還る。

○王茂章・徐溫、潤州を擊ちて之を破る。
○朱延壽と田頵と謀を通ず。
○楊師厚、王師範を臨朐に敗り、又、其弟師克を敗り、遂に靑州を圍む。
○楊行密、明を失ふと詐り、朱延壽を誘ひて之を殺す。
○田頵、李神福の妻子を執へ、之を招く。神福、從はず。
○神福、王壇・汪建を吉陽機に敗り、又、之を皖口に敗り、徐綰を獲、以て錢鏐に遣る。
○汪建を吉陽機に敗り、行密、臺濛をして其後を掎せしむ。
○頵自ら將として逆へ戰ふ。
○汴人、秣州を拔く。
○王師範、朱全忠に降る。
○田頵、郭行愼等をして無湖に屯し、李神福を拒がしめ、自ら兵を引きて臺濛を拒ぎ、廣德に戰ひ、敗れて宣州に還る。
○行愼等、皆、濛に降る。
○侯矩、甕州を以て王建に降る。建、甕・忠・萬・施の四州を取る。
○甕州に令し、軍士に令して副使に從ふ者に非ざれば、之と俱にするを得る無からしむ。
○劉鄩、素より遣はして然る後に降る。
○王師範の命を俟ちて然る後降る。
○鄩、坐して四鎭將吏の庭參を受く。
○王師範を以て都押牙と爲し、鄩を以て攻倫に因りて死す。全忠、盡く同じく戲する者を殺す。
○朱友倫、擊毬に因りて死す。
○趙匡凝、荊南を襲ふ。弟匡明を以て之に鎭せしむ。
○匡凝、方永珍を遣はして楊行密を救はしむ。朱全忠、兵を遣はして河中に屯せしむ。
○鏐、邠州の兵屬、京畿に近づく。
○鳳翔・邠州の兵屬、京畿に近づく。
○田頵、李神福に戰ひて死す。臺濛、宣州に克つ。
○李神福、杜洪未だ平がざるを以て、宣州を辭す。
○郭從謙、錢鏐を保護す。
○獨孤損、傅瓘を殺す。
○朱全忠、張濬を殺す。
○彥・其子格を漢南に送る。
○葉・丹の草を焚く。
○劉仁恭、相と爲す。
○劉守光、誘ひて逃律阿鉢を執ふ。

闕逢困敦 二、丙寅。

天祐元

○朱全忠、崔胤を殺さんと奏す。詔して之を貶す。
○募る所の六軍を散遣す。
○崔遠・柳璨を以て相と爲す。

閏四、乙未。
五、甲子。
七、癸亥。
八、壬辰。
十、辛卯の一朔。夏至。○日本志に、十月辛卯朔、心の二度に食す。

○朱友諒、崔胤を殺す。
○李茂貞・李繼徽、京闕に侵逼す。
○全忠、河中に屯し、上に請ひて都を洛陽に遷さしめ、驅りて士民を徙す。
○上、華州に至る。
○全忠、來朝す。
○王建始めて墨制を用ひて官を除す。
○朱全忠、韓建・宮人・耳語す。
○上、絹詔を以て佑國軍と爲す。
○行密、錢傳璙・顧全武を遣はして杭州に歸す。
○行密、李神福を遣はして杜洪を擊たしむ。
○上、皇后・新に產するを以て、十月を俟ちて洛に入らんと請ふ。全忠、和を求むれども許さず。
○上、陝を發す。
○穀水、東都に至る。
○全忠、敕して改元す。
○陝を以て興唐府と爲す。
○錢鏐に爵を天平王に進め、吳越國王を賜ふ。
○上、全忠自ら忠武を領す。
○全忠、羅紹威に爵鄴王を賜ふ。
○趙匡凝、峽を以て佑國軍と爲す。
○張武、夔州を攻む。王宗阮、擊ちて之を敗る。
○邠寧・鳳翔・西川、兵を合はせ、檄を傳へて朱全忠を討つ。
○全忠、西のかた邠岐を擊つ。
○馮涓、重ねて勤めて、李茂貞と昏を結び、蜀の扞蔽と爲さしむ。
○朱全忠、王建に勸めて、全忠、德裕を殺さんと欲す。既にして云ふ、崔胤、李振をして、朱友恭等と、上を弒するを謀らしむ。
○蔣玄暉、史太等を帥ゐて、上を椒殿に弒し、李漸榮・裴貞一を誅ふ。
○行密、上を立てて帝と爲す。年十三。
○輝王祚、鄂州を攻む。未だ下らず、疾有り。劉存を以て之に代らしむ。

以後は卷第二百六十五

旃蒙赤奮若

正、庚申。
四、己丑。
六、戊子。
八、丁亥。
九、丙辰。
十一、乙卯の朔。

唐昭宣帝柷天祐二

○豪濮卒す。楊渥出でて宣州に鎭す。徐溫戒むるに、王の令・溫の使に非ずんば來る勿れといふを以てす。
○何太后を尊ぶ。
○邠岐の兵、出でず。朱全忠引き還る。
○全忠、罪を朱友恭・氏叔琮に歸して之を殺す。
○復た張全義を以て河南の尹と爲す。
○朱友裕、亳を圍む。楊光遂、光州を圍む。朱全忠、霍丘に屯し、淮南を掠め、以て之を救ふ。
○陳璋、鄜州を以て鎭鄴に叛き、楊行密に降る。
○馬殷、行密、天子に事へず、與するに足らずと。
○劉隱、謂ふ、行密、天子に事へず、與するに足らずと。
○朱全忠に詔して淸海節を得。

王茂章、潤州を拔く。
○安仁義、李德誠が禮有るを以て、身を委して之に嬰く。
○陶雅、陸州を救ふ。軍、夜驚けども、動かず。錢鏐を虜にして以て歸る。
○朱全忠、李振をして王師範に代らしむ。師範、族を擧げて大梁に遷る。
○王師範、致仕す。乃ち引き歸る。
○朱全昱、蔣玄暉をして昭宗の諸子を殺さしむ。
○昭宗を葬る。
○劉存、鄧州を拔き、杜洪を執へて之を殺す。
○王師範、河陽に鎭す。
○獨孤損、出でて安南に鎭す。
○張文蔚、相と爲る。
○裴樞、崔遠、相を罷む。
○楊涉、相と爲る。
○楊收、張延範に與せず。泣きて曰はく、此れ吾が家の不幸なりと。
○蓋寓卒す。
○彗星、天に竟る。
○陶雅、魏・陸に會して婺州を攻む。錢鏐、之を救ふ。
○詔す、十月を以て親ら郊せんと。

○柳璨・李振、朱全忠に勸めて、衣冠裴樞等を貶逐し、以て星變を塞がしむ。朝廷、之が爲めに一空す。
○趙匡凝、好を王建に修む。
裴樞等の朝士三十餘人を白馬驛に殺す。
全忠、柳璨をも亦た殺す。
○裴贄、貶せられて死す。
○魏博大將樂彦禎、公然、亂を謀り、滄州に奔る。
○朱全忠、王建・楊師厚を遣はし、馮行襲を擊たしむ。
趙匡凝を擊たしめ、自ら大軍を以て之に繼ぐ。
○方永珍、夔州を攻む。
○楊師厚、縱兵して山に遏らしむ。
○趙匡凝、廣陵に奔る。
○王宗賀、荊南を擊つ。
○陶雅、夔州を拔く。
○劉金、夔州を陷る。
○周隱、子渥を宣州より召さしむ。
○楊行密の疾む。
求、人をして渥を召さしむ。
全忠、諸道元帥と爲る。
○朱全忠、兵を移して淮南を擊ち、道にして雨に遇ひ、人馬疲乏す。
○蘇楷再び用ひられ、光州を以て迎へ降る。
○柴再用、壽州を下さんと請ひ、卽ち昭宗の諡號を改めて襄宗と曰ふ。
○楊渥、廣陵に至る。
○成德軍、武順と曰ふ。
○壽人、壁を堅くし野を淸めて以て之を待つ。乃ち退きて正陽に屯す。
○全忠、軍を改めて、武順と曰ふ。
○柴再用、其後軍を抄す。
○全忠、歸る。
○全忠、言ふ、我、比ほ九錫を受けずとも、豈に天子と作る能はざらんやと。
○楊璨等、唐の祚を延べんと欲し、乃ち天を郊すと。遂に郊日を改む。
○趙匡明、都に至る。
○成、邠寧を擊つ。
○全忠、趙匡凝、成都に奔る。
○馮行襲、均州に奔る。
○蘇楊行循、言ふ、朝廷遠くに宜しく揖讓すべしと。
○全忠、魏王と爲し、九錫を加ふ。受けず。
○宣武自ら往きて傳禪の意を達す。
○全忠、之を拒む。

柔兆攝提格

二、甲申。
四、癸未。
七、壬子。
九、辛亥。
十一、庚戌。
十二、己卯。
二〇二。朔。閏十。
○本志に、四月癸未朔、胃の食二度に食す。

○王殷・趙殷衡、蔣玄暉・柳璨を譖す、何太后と、復祚せんことを謀ると。
○全忠、以て天下元帥と爲す。
○全忠、大梁の府舍を修め、宮闕と爲す。
○蔣玄暉、玄暉を斬りて之を焚く。
○王殷等、罷む。
私に太后に侍すと誣ふ。全忠、太后を害し、追廢して庶人と爲す。
○郊祀を行ふ。
○柳璨、張廷範を車裂す。璨自ら謂ふ、國に負く賊と。
○王宗朗、金州を棄つ。馮行襲復た之を取る。
○陸州を棄て、廣陵に奔る。陶雅、之に據る。
○楊渥、李簡を遣はして王茂章を擊たしむ。茂章、簡を擊ちて之を却く。
○湖南、淮南に寇す。

三

○吐蕃、涼州に寇す。
○陶雅、宣州に至り、王茂章、兩浙に奔り、刁彥能、軍城を撫定す。
○羅紹威、歙州に歸る。錢鏐、陸州を取る。
○牙軍の驕橫なるを患へ、汴の軍を借りて之を誅せんと欲す。朱全忠、魏鎭の兵に會して滄州に會せしめ、紹威と、牙兵を合擊し、盡く之を殺す。
○馬嗣勳、遂に衢州を攻む。
○楊渥、湖南を攻む。
○陳璋、衢州に歸る。
○陳知新、岳州を拔く。
○邢州、制置使と爲す。
○魏博の將史仁遇、受けず。
○全忠、仁遇を誅し、遂に高唐に據る。
○滄州の諸軍を召して、之を討ち、歷亭に至る。魏の兵に高唐を拔き、仁遇を殺す。
○張鈞、擊ちて之を走らす。
○秦宴を遣はして江西を攻めしむ。
○楊渥、秦宴を擊ちて之を走らす。
○朱全忠、洺州に如く。
○鍾傳薨ず。子匡時立つ。
○全忠、五州に據る。朱全忠愚く討ちて之を平ぐ。
○魏の亂兵、貝・博・澶・相・衛の牛・羊・家を殺すこと七十萬に近し。
○全忠、魏に留まること半歲。
○紹威、牙兵を誅せしを悔ゆ。
○又亂る。
○劉守文、昭・貝・冀を攻む。
○李嗣昭、邢州を攻む。

○○○秦襲先づ誘ひて劉楚を擒にし、乃ち洪州を圍む。
○○○全忠、兵を發して滄州を擊つ。
○○○周本、陳璋を迎へて淮南に歸す。全忠、長蘆に軍す。滄人、出でず。羅紹威、數十萬人に供億し、闕くる無し。
○○○朱全忠、洪州を拔き、鍾匡時を虜にす。
○○○秦宗權、夏州を攻む。劉知俊、坊州の兵を敗る。
○○○楊崇本、悉く境内の士民に文す。
○○○劉仁恭、子叛き父來る。將た安くにか之を用ひんと。
○○○劉文通、始めて制を承けて封拜す。
○○○李存勗、李克用に勸めて劉仁恭を救はしむ。
○○○李克用、仁恭の兵を召し、與に共に路州を攻む。
○○○劉知俊・康懷英、楊崇本を美原に敗る。西軍、是より、振はず。
○○○劉季昌、荊南に鎭す。
○○○高彦卒す。子澧、之に代る。
○○○湖州の高景仁を薦む。
○○○錢鏐、王周を遣はして路州を救はしむ。
○○○朱全忠、李周を遣はして國軍に隷す。
○○○錢國を廢して国を以て河東に降る。
○○○丁會、路州を以て河東に降る。
○○○全忠、滄州を以て河東に降る。
○○○吉州の彭玕、湖南に附く。

劉守文、餘糧を乞ひて以て飢民を濟ふ。

卷の第二十六

疆圍	梁太祖	唐太祖	秦忠	吳越
單閼	晃燕劉守光附	武帝克用	敬王	武肅
開平元	天祐四	天祐四	天祐四	穆
正、戊寅。	梁王、滄州より還り、威望大に振ふ。	蜀王、晉王に勸めて帝と稱せしむ。王、復書して曰く、	李茂貞	錢鏐、子傳璙を遣はして、
四、丁未。				
六、丙午。				
九、乙亥。				
十一、甲戌。				
二の朔。正、				
二日、雨水。				
○本志に、				
六月丁酉、				
熒惑、積尸を犯す。				

荊南	吳景	閩太	蜀高	南漢
武信王高季興	烈祖楊渭	祖王審知	祖王建	烈宗襄帝劉隱
天祐四	渥	梁、邪王に封ず。	天復七	梁に進す。
梁、高季昌を以て荊南節度使と爲す。	周隱を殺す。	琅琊を加ふ。	徹、諸道に移して云ふ、唐室を復興せんと欲す。	○梁、隱を以て大彭王と爲す。
○季昌、安集雷張・徐温・朱思勃等を州に殺し、又、左右に庭下に	○弘農王渥、驕奢酣縱にして左右を恣横なり。		既に應ずる者無し。乃ち自ら帝たらんことを謀る。又、王に書して之を遣る。	

卷第二百六十六

大梁に詣らしむ。○楊凝式、父涉に謂ふ、璽綬を以て人に與ふ、千載を奈何せんと。○劉仁恭、大安山に居る。李思安、直に城下に抵る。劉守光、兵を引きて城に入り、拒ぎて之を卻け、遂に大安山を攻め、仁恭を執へて之を囚ふ。○王始めて殿に御し、百官の臣と稱するを受く。○唐の年號を去る。○王、名を晃と更む。○朱全昱、王に謂ふ、天子と作る可きかと。○王、帝位に即く。○朱全昱、帝

む。○李嗣昭等、堅く守る。王、周德威等に命じて之を救はしむ。○澤州を攻む。○梁の李思安、康懷貞に代りて潞州を攻め、夾寨を爲る。○周德威、數〻梁の甬道を攻め、饋運を絕つ。○梁の尹皓、江豬嶺を拔く。○李存璋を遣はして、梁の晉州を攻めしむ。○又、洛州を攻む。

討たしむ。○梁、鏐を以て吳越王と爲す。○盧約、處州を以て降る。

受けず、之を越隄に敗り、存等を擒にし、之を殺す。遂に岳州を拔く。○兵を遣はして彭玕に會し、洪州を攻めしむ。克たず、○雷彦恭、岳州を攻む。○梁、殷に命じて荊南と與に彦恭を討たしむ。○殷、秦彦暉を遣はして之を攻め

陽・公安を攻む。季昌、之を敗る。○梁、季昌に命じて彦恭を討たしむ。○季昌、倪可福を遣はして之を攻めしむ。

殺す。渥、制する能はず。○檄を諸道に移して云ふ、唐を復せんと欲すと。○劉存・陳知新を遣はして、湖南を擊たしむ。兵、越隄に敗れ、擒にせらる。屈せずして死し。遂に岳州を失ふ。○冷業・李饒を遣はして、湖南を侵さしめ、以て雷

勸む。○馮涓、王に蜀王を以て制を稱せんことを勸めて曰はく、唐興るも臣と稱するを失はず、賊在るも同じく惡を爲さず、と。○王、帝位に即く。○王宗佶・韋莊、相と爲る。○唐の衣冠の族を用ひ、故事を修めしむ。

行くゆく當に族滅すべしと責む。○改元す。○唐帝を奉じて濟陰王と爲す。○東京を建て、西宮を廢す。○濟陰王を曹州に遷す。○敬翔、崇政院に知たり。○翔、顯諫せず、微に疑を持つを示す。○四代を追尊す。○子友文を以て建昌院に判たらしむ。○薛貽矩、相と爲る。○契丹の阿保機、彊を恃み、代を受けず。七部、之を邀ふ。乃ち別に滑鹽城に居る。○康懷貞に命じて、魏博の兵に會して潞州を攻めし

しむ。○淮南、冷業・李饒を遣はし入寇せしめ、以て彦恭を救ふ。許德勳擊ちて之を擒にす。

彦恭を救ふ。業・饒敗れて死す。○米志誠等を遣はして、梁の穎州を襲はしむ。克たず。○兵を遣はして信州を攻めしむ。

む。○蘇循等を勒して致仕せしめ、蘇楷等を斥けて田里に歸らしむ。○康懷貞、潞州を圍み、克たず。○晉の兵、澤州を攻む。范居實、之を救ふ。○韓建、相と爲る。○劉守光、降を請ふ。○曲顥を以て交州に鎭せしむ。○張全義に名を宗爽と賜ふ。○李思安を以て、康懷貞に代りて潞州を攻めしむ。夾寨を爲る。○尹皓、晉の江豬嶺を拔く。○劉守文、守光を討つ。羅紹威、書を以て守文に說き、降を請はし

著雍執徐

正、癸酉。二、壬寅。四、辛丑。六、庚子。九、己巳。十二、戊戌の朔。○本志に、四月、辛丑、熒惑、上將を犯し、甲子、左執法を犯す。

二

唐の哀帝殂す。○上、澤州に如く。○張文蔚卒す。○李安歸の本貫を削り、役に充つ。○劉知俊に命じて、還りて晉州に屯せしむ。○楊涉罷む。于兢・張策、相と爲る。○上謂ふ、晉の兵復た出づる能はじと。

しむ。○帝、軍士の面に文す。軍士亡ぐる者多く盜を爲す。詔して之を赦す。○晉の李存璋、晉州に寇す。○又、洛州に寇す。

五

王、李克寧等に命じて子存勗を立てて嗣と爲さしむ。○王卒す。○張承業、存勗を扶けて出でて將吏を見る。○存勗、位を克寧に讓る。克寧、受けず。存勗、位を襲ぐ。首として衆を帥ゐて拜賀す。○李存璋、暴横を禁止す。李存顥、李克

五

晉蜀の兵に會して梁の雍州を攻め、幕谷に敗る。○胡敬璋、梁の上平關を攻む。克たず。○敬璋卒す。劉萬子、之に代る。

兵を遣はして信州を救はしむ。○王景仁を遣はし、梁に詣り、淮南を取るの策を陳ぜしむ。○淮南の將周本、蘇州を圍む。○張仁保、淮

李瓊卒す。殷、弟存を以て、代りて桂州を守らしむ。○兵を遣はして鄂州を攻め、淮南の秦裴に敗らる。○秦彥暉、朗州に克つ。雷彥恭、廣陵に

淮南の將李厚入寇す。季昌、之を馬頭に敗る。○梁震、季昌の辟署を受けず。但だ前進士と稱す。

五

李厚、荊南を攻む。高季昌、之を馬頭に敗る。○楚の兵、鄂州に寇す。秦裴、擊ちて之を敗る。○張顥・徐溫、賊をして景王を弑せ

武成元

張格、抉目僧を賞するを諫む。○赦し、改元す。○王宗佶罷む。○張格、相と爲る。阿諛して前を忌む。○王宗佶、亂

梁、隱、を以て淸海靜海節度使と爲す。

八月より以後は卷第二百六十七

遂に大梁に還り、上黨、備を爲さず。○晉王、夾寨を襲ひて大に之を破る。康懷貞遁れ歸る。○晉の周德威、澤州を攻む。牛存節、之を救ふ。晉の兵退く。○帝、阿保機に詔を賜ひ、與に共に沙陀を滅ぼし然る後に封冊せんと欲す。○岐・邠・晉・蜀の兵、雍州に寇す。○帝、朱友寧の妻が泣訴するを以て、王師範の二百口を阬にす。○師範、長幼を敍して刑を受けんと請ふ。○劉知俊、岐の兵を幕谷に敗る。晉・蜀、

寧に說き、張承業・李存璋を殺し、自ら節度使と爲り、王母子を大梁に送らんとし、事覺はる。承業等、兵を伏して之を誅す。○李嗣昭、上黨を固守し、梁の使を殺し、其詔を焚く。○王、周德威を召し、兵を引きて還らしむ。涉入りて哀哭し、王に謁して甚だ恭し。衆心釋然たり。○王曰はく、梁、吾童子にして新に立ち、兵を知らずと謂ひ、必ず驕惰ならん。若し其不意に出でなば、敗る可きなりと。遂に諸將を帥ゐて上黨を救

南を攻め、東洲を取る。既にして魚蕩に敗れ、復た東洲を失ふ。

奔る。又、澧州を取る。○高郁、茶を運して北方に賣る。是に由りて豐贍なり。○高季昌、漢口に屯す。許德勳、之を攻む。季昌、成を求む。○呂師周、嶺南を攻め、昭・賀・梧・蒙・龔・富の六州を取る。○殷、民を息め士を禮す。

しむ。○嚴可求謂ふ、顥の自立すること太だ速かなりと。○可求、太夫人の敎を以て、王の弟隆演を立つ。○朱瑾、可求に兄事す。○顥、溫を以て潤州に鎭せしむ。可求、之を留む。○顥、盜をして可求を剄さしむ。殺すに忍びず。○溫、

を作さんことを謀り、六軍を總べんことを求む。蜀主、之を撲殺す。○將を遣はして、岐邠・晉の兵に會して梁の雍州を攻めしむ。克たず。○太子宗懿を立つ。○周后を立つ。○張徐諸妃を立つ。○武を星宿山に講ず。步騎三十萬。

引き歸る。○錢鏐、王景仁を遣はして、來りて淮南を討たんことを請ふ。○晉の周德威、晉州に寇す。帝自ら將として之を救ひ、陝州に至る。德威退く。○胡敬璋、上平關に寇す。劉知俊、擊ちて之を破る。○溫韜、雍州を暴掠す。○寇彥卿を遣はして、淮南を擊ち、霍丘・盧壽を攻む。皆、克たず。○李思諫、卒す。子彝昌、位を襲ぐ。○劉守文、劉守光を攻め、盧臺軍に敗れ、又玉田に敗る。乃ち還る。○張策、致仕す。楊涉、相

ふ。○王、梁の夾寨を襲ひ、大に之を破り、潞州の圍を解く。○克用遺言して、周德威・李嗣昭の怨隙を解かしむ。○德威、勝に乘じて澤州を攻む。克たず。○王、晉陽に歸り、政事を修め、始めて制を承けて封拜す。○王、張承業に兄事す。○承業、岐蜀の兵に會して梁の雍州を攻む。克たず。○周德威、梁の晉州を攻む。克たず。

湖南遂に安し。

鍾泰章をして顥を殺さしむ。溫、顥をして獨り左牙の卒を用ひしむ。○溫、軍府の政を專らにす。○溫、可求と政を修め民を息む。○隆演、節度使・弘農王と稱す。○周本・呂師造、兩浙を擊ち、蘇州を圍む。○兩浙の將張仁保入寇して東洲を

屠維大荒落	唐、二、丁酉。四、丙申。五、乙丑。七、甲子。閏八、癸亥。九、一日、霜降。	
三	上、都を洛陽に遷す。○圓丘に祀り、赦す。○延州の高萬興、來奔す。○上、河中に幸す。○丹州降る。	と爲る。
唐莊宗存勗 六	梁の劉知俊來りて援を求む。○梁の晉州を侵す。	
六	李延寶、劉萬子を殺す。○梁に高萬興、奔る。○梁、丹延に寇す。	
王、陸渾高苑玫、仁章が安を寇す。○樹參して智有りと見る。○其用を果しとして、志を得ず。○獲錢鏢	王、仁章が參して智有りと見るを以て全く助く。○米志誠、玫を攻めて危を解く。○李洪入寇す。○倪可福、擊ちて之を敗る。	
吳帝隆演 六	梁、知を以て王と爲す。○梁の李襲、洪州を以て、虔を以て楊行密に附き、梁を以て南平王と爲す。	○取る。○仁魚を陳璋に保ち蕩りて東取を洲復たり、敗る。○柴再用、飯を以て兵を部に徴す。○梁の卿彥丘霍寇寇盧壽す。○梁、寇す。○克。皆た寇ず。
二	○太子を以て軍にて判たらしめ、永和府を開くと爲す。○相王宗弁ふ。○胡秀林の曆を行ふ、威の劉守光を攻む。○諷、萬衆、全く置を危くす。○初めて選擧を歸る。○兵を薄く私に充す。○公し寬にして刑を簡約に治む。○蘇州、圍を解く。○信州の危來奔す。○倡仔、梁の二州に降る。○劉知俊、同州を以て梁に降る。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍を用ひて、王重師を族す。○丹州降る。○鄜を拔く。○坊二州降る。○延州の高萬興、來奔す。○梁の劉知俊來りて援を求む。○梁の晉州を侵す。○梁に丹州、降る。○梁の劉知俊、延州を拔く。○坊の鄜・二州、梁に降る。○劉知俊、同・雍以降、華州を以て來奔す。○梁の劉知俊、兵を以て王重師を攻めしむ。克た ず。	之を失ふ。○太子を以て軍にて判たらしめ、永和府を開くと爲す。○相王宗弁ふ。○胡秀林の曆を行ふ、威の劉守光を攻む。○諷、萬衆、全く置を危くす。○初めて選擧を歸る。○兵を薄く私に充す。○公し寬にして刑を簡約に治む。○蘇州、圍を解く。○信州の危來奔す。○倡仔、梁の二州に降る。○劉知俊、同州を以て梁に降る。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍を用ひて、王重師を族す。○丹州降る。○鄜を拔く。○坊二州降る。○延州の高萬興、來奔す。○梁の劉知俊來りて援を求む。○梁の晉州を侵す。○梁に丹州、降る。○梁の劉知俊、延州を拔く。○坊の鄜・二州、梁に降る。○劉知俊、同・雍以降、華州を以て來奔す。○梁の劉知俊、兵を以て王重師を攻めしむ。克た ず。

十二、壬戌の朔。○蜀初めて永昌曆を用ふ。正、丁卯の朔。		
○劉知俊、延州を拔く。○鄜坊二州降る。○上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、延州を拔く。○鄜坊二州降る。○上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。		
○王自ら將と して南下し、周德威を して梁の晉州を攻めしむ。克た ず。		
○丹州、梁に降る。○梁の劉知俊、延州を拔く。○坊の鄜・二州、梁に降る。○劉知俊、同・雍以降、華州を以て來奔す。○梁の劉知俊、兵を以て王重師を攻めしむ。克た ず。		
等大に淮南の兵を破り、蘇州の圍を解く。○信州の危來奔す。○高澧、盡く百殺さんと姓欲す。○虔て之を討つ。		
來の彭玕奔す。		
昇州を治めしむ。○蘇州、圍を解く。○信州の危來奔す。○倡仔、梁の二州に降る。○劉知俊、同州を以て梁に降る。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。		
儉約に して寬賦を薄くし、公私充ち實し、境内安し。		
○太子を以て軍にて判たらしめ、永和府を開くと爲す。○相王宗弁ふ。○胡秀林の曆を行ふ、威の劉守光を攻む。○諷、萬衆、全く置を危くす。○初めて選擧を歸る。○兵を薄く私に充す。○公し寬にして刑を簡約に治む。○蘇州、圍を解く。○信州の危來奔す。○倡仔、梁の二州に降る。○劉知俊、同州を以て梁に降る。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。○劉守文、劉守光を雞蘇に敗り、單馬に出で、元行欽に陣前に擒にせらる。○劉知俊、王を守りて重圍を開き、鳳翔を棄てて梁に奔る。○劉捍の上、洛陽に還る。○上、劉捍の王重師を族す。		
而して足らずと。	而して足らずと。	

○韓遂、鹽州に克つ。○楊師厚・劉鄩等に命じて之を討たしむ。○鄩、潼關に克ち、劉知俊を擒にす。○上、陝に幸す。○楊師厚、華州を拔く。○劉知俊、鳳翔に奔る。○楊師厚、長安に克ち、劉守光を以て燕王と爲す。○丹州に克つ。○商州の李碩之を擒にす。○上、西都に還り、疾に寢ぬ。○襄州の軍亂れ、王班を殺し、李洪を立てて、蜀に附く。○楊虔、房州を以て蜀に附く。○壽、邠・寧を攻めて之を救ふ。○貞等、邠・寧を攻めて之を救ひ、慶州に入る。○知俊引き還る。○貞等、三水に遁へ、之を大に破る。

高玫誠○取饒襲○取吉遂に潭を危○し用てに當せ寡ふ○んず援な諷ふ○請らにを、来る州ひ陶る州にすに象全周とふ之乘にす、、又と還兵ば敗、本ふん敗上苑志。たて雅。を袁。擒牙諷本、。べをじ鉞。敵衆謂。ら必、れ全謂。と

ぎて之に克つ。○晉の周德威、晉州を圍む。楊師厚、擊ちて之を却く。○陳暉、襄州に克ち、李洪・楊虔を執ふ。○劉鄩、威を以て義昌留後と爲す。○韓建・楊涉罷む。趙光逢・杜曉、相と爲る。○上、圓丘に告謝し、赦す。○羅紹威、病み、功の重臣を殺して以て魏博に鎭せしめんと請ふ。上、其子周翰を以て府事を領せしむ。○岐の劉知俊、靈州を攻む。康懷貞等、詔して邠寧に以て之を救はむ。

る。○浙西盡く來を、。○湖州を以て高をくめ、○始て附く。○慶光を以て稠州を、。○閩取信奔を、。危、に、。仔兩

上章敦牂

二、辛酉。○呂兗を族す。呂琦以て
三、壬戌。○趙玉を籠み、趙玉を
五、癸亥。○逃る。光、父仁致の
七、甲子。○守文を殺す。李
九、乙丑。○恭仕を請ひ、劉
丁亥の朔。○守光を爲に
十二本志に、庚午、食す。

四　劉延祚出でて降る。劉守光、○に三州を以て軍を飼ふ。○懷貞等、寧・衍・慶の三州に入り、還る。○鐵山王彥章、二千を用ふ。○懷貞等、大に敗る。○滄州、殺を烹て置き、以て軍

七　周德威を遣はして鳳翔を求む。○趙王鎔、王鎔、援兵を以て之を救ふ。○王自ら將として趙州に屯す。王處直、兵を以て從ふ。○王進みて梁の營に迫り、野の北に軍す。

七　巴劍州を以て蜀に貨す。○沈行思、陳環を殺す。之を誅す。

湖州に克つ。○行陣殺之す。

梁、股を以て上將軍策と爲す。○荊南を侵す。○油口に敗る。○赤石敖に敗る。○淮南の○圍兵をして遣はす。○擊之を虜にす。○辰溆。

湖南入寇す。季昌、○油口に敗る。

七　岐王、隆演を嗣ぎ、○に加ふ。○呉王、○を演ぶ。○來○徐を高奔す。○温、遷す。○赦、皆木を衣、偶の○民、力なし。○宜しく貧を解き、衣者をとすべし。

三　太子、唐道隱と襲有り。○元襲、○に代はり、○を使て炕す。○巴岐、○劍州王、求むる○を貨す。○高州・容州、楚に入る。○梁を以て天將軍策と爲す。○上、股を以て天將軍策と爲す。○上、

以て、之を斷く。○晉絳を分ち、定昌軍を置く。○寇彥卿、專殺す。崔沂、劾奏して之を貶く。○羅紹威卒す。子周翰、之に代る。○馮行襲、病ひ、許州を安靖す。○上、革敝の初なるを以て、宮者を置くを欲せず。○岐・邠・涇の兵を并せて夏州を圍む。○王鎔を弔す。鎔の使者、上に勸めて鎮定を圖らしむ。○上、陝に幸す。○楊師厚等を遣はして、三原に屯せしむ。上、西都に

○周德威、天武軍を謂ひて奇貨と爲す。○張承業、王に勸めて高邑に屯せしむ。

州入寇の變す。○呂周は遣之を討つた。○昭州を、○龐巨容以て州を、○劉昌魯、州を、高以來降す。

○赦、邠・涇の兵を并せて夏州を圍む。○王鎔を弔す。鎔の使者、上に勸めて鎮定を圖らしむ。○上、陝に幸す。○楊師厚等を遣はして、三原に屯せしむ。上、西都に

○赤石敖を駢、に南に虜ら圍湖る。○光位全卒。受傳卒其全昌へ昌、貳。○昌、立て子播を播ふ。○稠を稠す。○譚に、延延迎之に延つ梁○立て、あ嚴新成以圖てり途可りて求、な之る。

○卒名坦む。○百人○稠を相庚ふ播る。○養二十子、○周あ序り傳と素爲、○赦し、の○明年を改む元。

	重光協洽	唐、正、丙。三、乙。戊。五、甲。酉。六、癸。申。七、壬。丑。九、辛。巳の朔。十一、二十三、冬至。○蜀、正、丁亥の朔。○本志に、正月丙戌朔、食す。十月、熒惑、左執法を犯す。
みて柏鄉に軍す。	乾化元	晉人、芻を刈、芻を掠め、以て梁の軍を困む。○王景仁、兵を出して晉人を逐ひ、高邑に至る。○日晡ろにして退く。晉の兵、之に乘じ、大に梁の兵を柏鄉に敗る。景仁等走り還りて河北に震ふ。○楊師厚に命じて、兵を將ゐて河陽に屯せしむ。○晉人、邢州を圍む。王檀、城守す。○晉王、魏州を圍む。上、李振を遣はして羅周翰が城
	八	周德威、柏鄉の・芻を刈る者を掠む。梁人始めて困む。○德威、梁の壘門を壓して景之を詬る。王景仁怒りて兵を出す。德威轉戰して北のかた野河に至りて止む。梁の兵我れ其れ必ず勝有ら。○王、先登せんと欲す。周德威、日昳を俟ふ。梁の卒飢ゑ、退かんと欲す。騎兵を以て之に乘じ大に梁の兵
	八	蜀主、繼崇の婦を奪ふ。王、怒始めて蜀と絶つ。○王、兵を發して蜀の境に臨む。○溫、綰を遣はして長安に寇せしむ。車度に至りて敗れ還る。○王、興元に寇せしむ。克たず。
		鐵鏢、湖州を棄てて、淮南に奔る。
		呂師周、潘金盛に擒に之、斬り移し兵を鄴に宋擊つ。○朗州馬の節度使の竇、○容州劉巖と爲る。巖、容州を攻め、之を取り、又、高州を取る。
	八	黎球、延昌を殺し、代て琴之に至る。○日晡ろ、李彥卒す。○晉、李嗣源、自ら免れず。○楊師厚に命じて、兵を將ゐて河陽に屯せしむ。○晉人、邢州を圍む。王檀、城守す。○晉王、魏州を圍む。上、李振を遣はして羅周翰が城
	永平元	晉主、慈公李嗣源、繼嫁して蜀主を奪ひ、之を始めて絶つ。○王、兵を發して蜀の境に臨む。○溫、綰を遣はして長安に寇せしむ。車度に至りて敗れ還る。○王、興元に寇せしむ。克たず。
		弟嚴を留後と爲す。○嚴、梁を以て節度使と爲す。○容州を攻め、之を取る。又、高州を取る。
		三月より以後は卷第二百六十八

	還る。○梁の兵、夏、諸州に至る。○解き去る。○楊師厚等、鎭の兵を以て、澤州に屯す。○王景仁、魏博に屯す。○上、王景仁等を遣はして、杜廷隱を救はしむ。○廷隱、深壘して戰はず。○趙王鎔懼れて、未だ敢て絶たず。○延壽、鎭州に據る。○兵を發して、二州を殺し、鎔に求む。○晉、孫鶴、劉守光に勸めて、趙を救はしむ。○王景仁等を遣はして、趙を擊たしむ。○新律令格式を行ふ。○王景仁、進

守するを助けしむ。○蔡州の劉行琮、亂を作す。王存儼、之を誅す。○上謂ふ、存儼方に懼る。若し之に臨むに兵を以てせば則ち蔡速かに飛ばんと。○晉人、貝・博・澶・衛を掠む。上、白司馬阪に屯して以て之に備ふ。○楊師厚、磁相より邢魏を救ふ。晉の兵去る。師厚、魏州に屯す。○温韜、邠岐の師を以て長安に寇す。康懷貞等、之を車度に敗る。○大赦す。○劉守光、帝と稱せんと欲す。孫鶴諫む。○晉王、五鎮と共に、守光

を柏郷に敗る。○李存璋曰はく、餉軍者は殺す勿れと。梁の戰士悉く甲を解き兵を投ず。○王退きて趙州に屯す。張承業、邢州を闈む。○王、魏州を闈む。○王、河を黎陽に觀る。○周德威、貝・博・澶・衛を掠む。○劉守光、鎭定を誘脅す。諸將、先づ守光を取りて然る後に南討せんと請ふ。○王、魏州より還る。趙王王を趙州に享す。○周德威、趙州に戌す。○王、趙王等と共に、劉守光を尊びて尙

○蜀屢、岐の兵を破る。○王、劉知俊・李繼崇等を遣はして、蜀を撃たしむ。大に王宗侃等を青泥嶺に敗り、追ひて西縣に至り、之を闈む。○蜀の王宗鐵、岐の兵を明珠曲に敗る。○蜀主自ら西縣を救ふ。劉知俊敗れ、闈を解きて歸る。○王、

○蜀主、利州に如く。○將諸屢、岐の兵を破る。蜀主、西に還る。○王宗侃等、劉知俊と青泥嶺に戰ひ、大に敗れ、走りて西縣を保つ。岐人、之を闈む。○唐道襲、興元を弃てず。○王宗鐵等、西縣を救ひ、岐の兵を明珠曲に敗

を尊びて尙父と爲す。○守光表して河北の都統を求む。詔して以て采訪使と爲す。○守光、儀注に郊天・改元無きを怒り、乃ち帝と稱せんことを謀る。○張全義の子繼祚、上を弑せんと欲す。全義、之を止む。○劉守光、孫鶴を寸斬す。○守光自ら燕帝と稱し、應天と改元す。其日、契丹、平州を陷る。○上、晉・趙の將に入寇せんとするを聞き、北巡して相州に至る。○上、魏縣に至る。或るひと、沙陀至ると傳ふ。士卒多く避匿す。

父と爲す。○王、趙王に承天軍に會して謂ふ、朱溫は日ならずして必ず天誅有らんと。李承勳を遣はして劉守光を賀せしむ。臣と稱するを肯ぜず。守光、之を囚ふ。○守光、容城を攻む。王處直、救を求む。周德威等を遣はして、之を救はしむ。

讒を以て知俊の兵を奪ふ。李繼崇、且つ其族を秦州に遷すを諫む。

る。○蜀主復た利州に如く。○又、興元に如く。○大に岐の兵を破る。岐の兵、闈を解きて去る。蜀主西に還る。

玄默涒灘

正、庚辰。四、己酉。閏五、戊申。六、丁丑。七、丙午。九、乙巳。十二、甲戌の朔。六、一日、大暑。〇本志に、正月丙申、熒惑、房の第二星を犯し、五月壬戌、順行して心を去ること四度。

〇上、躁忿し、宿將多く誅せらる。〇晉・趙、竟に出でず。上乃ち還る。〇高萬興、鹽州に克つ。〇曲美を以て靜海節度使と爲す。

二

劉守奇、來奔す。〇晉人、幽州を攻む。劉守光、救を求む。帝自ら將として鎭定を擊ち、以て之を救ふ。〇孫鷺等を白馬に撲殺す。〇段凝の饋獻豐厚なるを以て、追ひて李思安の菲薄を數めて之を殺す。〇上、魏州に至り、楊師厚

九

周德威、鎭定の兵に會して、祁溝關を下す。〇劉守奇・劉去非、說きて涿州を下し、尋ぎて梁に奔る。〇德威、幽州を攻む。梁主、蓨縣を攻む。李存審、下博橋に屯して、芻蕘者を執へ、臂を斷ち、縱ち去らしめて曰はく、晉王至れり、

九

蜀の王宗汾、文州を拔く。

梁、王に尙父を加ふ。

宋・鄴及び蠻酋昌師益降る。〇梁、殷を以て、武安武昌靜江寧遠節度使・洪鄂四面都統と爲す。〇梁、韋戳等を遣はして潭廣和叶使と爲す。

江陵の外郭を築く。〇吳の陳璋入寇す。倪可福を遣はして之を拒がしむ。〇季昌、兵を出して襄州を攻め、孔勍に敗らる。梁の朝貢の路絶ゆ。

九

李遇、徐溫に服せず。溫、柴再用等を遣はして宣州を攻めしむ。〇遇降る。溫、之を族す。諸將始めて溫を畏る。徐知諳、溫に事へて甚

二

赦す。〇王鍇罷む。〇太子、名を元膺と更む。〇王宗汾、岐の文州を攻め、之を拔く。

南漢高祖天皇大帝龑

心の大星を犯す。

に命じて棗強を攻め、賀德倫をして蓨縣を攻めしむ。〇上、下博の南に至り、荷習に遇ひ、遂に棗強に趣く。〇棗強の卒、李周彝を擊つ。上、怒り、棗強を拔き、之を屠る。〇晉の史建瑭等、賀德倫の營に入る。軍中驚き擾る。帝、諸軍を帥ゐて宵遁れて貝州に還る。疾增ゝ劇し。〇張萬進、劉繼威を殺し、滄景を擧げて内附す。〇帝、東都に至る。〇西都に至る。〇薛貽矩卒す。〇上謂ふ、我死せば、諸兒、

と。〇史建瑭・李嗣肱、詐りて梁の兵の爲し、賀德倫の營に入り、火を縱ち人を殺す。梁主宵遁る。〇張萬進、劉繼威を殺し、滄景を以て内附す。〇李存威、瓦橋關及び莫州を拔く。王、李嚴を斬らんと欲す。孟知祥諫めて止む。〇李存審を遣はして、騎兵を將ゐて周德威を助けしむ。〇李嗣源、瀛州を拔く。〇德威、單延珪を擒にす。〇梁の朱友謙、河中を以て來附し、且つ救を求む。〇王自ら將として友謙を救

〇吳の陳璋、襲ひて岳州を取る。

だ謹む。〇昇州の刺史と爲り、政を修め士を禮す。〇宋齊丘、術を以て知諳に干む。黃訥、劉威に說きて入覲して以て嫌を解かしむ。〇徐溫が劉威陶雅に事ふること、武忠王の如し。威等悅服し、人も亦溫を重んず。〇溫等、隆演を推して

ろ〇ろ明〇と我く〇厚〇ろ祭ゐ〇ろ為以し〇滑筆周〇
。大祖ろ。ゐ。ゐ廊厚、ゐ如住厚召珪、廊ゐ友。、殺晉ろ敬。翔、雄州の輸掃
廃ゐ廊厚店、ゐ如住厚召珪、廊ゐ友。、殺晉ろ敬。翔、雄州の輸掃
ゐ王に王慣ゐ亦仕ん〇日。稿廊ゐす、何く亦仕ん〇日。稿廊ゐす、何く
ゐ葬ゐ敗慣ん〇亦仕ん〇日。稿廊ゐす、何く亦仕ん〇日。稿廊ゐす、何く

〇すれ〇に〇為の経友弟帝と〇茶して〇有騙風〇安すか友と〇文〇ら寸晉
敷。、許即友すてこま文友ゐ譲友州ゆ友。帝り王す帝ん、、珪欽経ゐ帝ん、王
。韓州くま。以しゐ貞敷り珪に、文王、。氏。、せ且卒、すと愛、と碧の
。雄の。、てゆ東ゐし、、田友ゐ圧疾、友踏すつか無、為し業。地殿
ゐ軍帝反、都し、疫韓す佳召ゐ蔑、もま婦。自な無、友さ、字無に
殺風位と蔑に〇共、勤。ゐさしだ、儘のに、もら〈子ん以友、非

すゐ〇晶友解ひ
。以劉り誰験、
て、謝猗敗懐
来環すE〇貞
附州。に。ゐ

	昭陽作噩	三、癸卯。五、壬寅。七、辛丑。八、庚午。十、己巳。十二、戊辰の朔。
○劉訓、隰州を以て晉に附く。	梁均王 瑱 乾化三	友珪、圓丘に祀り、赦し、鳳歷と改元す。○趙巖、均王友貞と友珪を討たんことを謀る。巖曰はく、招討楊公の一言に在るのみと。均王、馬愼をして交楊師厚に說かしむ。○或るひと師厚に說く、義を奉じて賊を討つ、何ぞ君臣と謂はんやと。○友珪、龍驤軍を徵す。均王激怒して云ふ、盡く之を阬にせんと欲すと。○袁象先、禁軍を帥ゐて宮に突入す。友珪、馮延諤をして妻及び已を殺さしむ。○諸軍十萬大に掠む。杜曉・李班皆死す。袁象先、趙巖をして均王を迎へしむ。均王、帝位に東都に卽く。帝、名を鍠と更め、又、名を瑱と更む。○楊師厚を以て鄴王と爲し、事大小必ず咨る。○師厚、劉守奇と趙の境を掠め、鎮州の關城を焚く。○師厚、滄州に逼る。張萬進を青州に遷し、守奇を以て之に代らしむ。○姚消、相と爲る。
	十	周德威、順州を拔く。○又、安遠軍を拔き、薊州を降す。○又、盧臺軍を拔く。劉光濬、古北口に克つ。居庸關降る。○劉守光、元行欽をして兵を山北に收めしめ、高行珪をして武州を守らしむ。○李嗣源、山後に下り、八軍進みて武州を攻む。行珪降る。○元行欽、行珪を攻む。嗣源、之を救ひ、行欽を廣邊軍に敗り、之を降す。○嗣源、儒州を拔く。○高行珪、王從珂と牙兵を分ち將ゐて嗣源に從ふ。○周德威、劉守光に謂ふ、大燕皇帝、何ぞ雌伏すること是の如きやと。○劉光濬、平州を拔く。○又、營州を拔く。○趙王、救を求む。李紹衡、之を救ふ。○李信、莫州を拔く。○又、瀛州を拔く。○趙王と天長に會す。○劉守光復た順州を取る。守光將に檀州に入らんとす。周德威、撃ちて之を破る。○守光窮困す。晉王自ら
	十	
		吳の李濤、衣錦軍を攻む。傳璀を遣はして之を救はしむ。濤を虜にして以て歸る。○又、廣德を攻め、花虔・渦信を虜にす。傳璀、吳の常州を攻め、無錫に敗る。
		姚彥章、吳の鄂州を侵す。○嶺南、昏を求む。之を許す。
		吳の陳璋、荊南を攻め、克たずして還る。○梁、季昌を以て勃海王と爲す。○季昌、繕完し兵を聚め、吳・蜀に交通す。朝廷、浸く制する能はず。
	十	陳璋、荊南を攻め、克たずして還る。○李濤、吳越の衣錦軍を攻め、錢傳璀に虜にせらる。○花虔・渦信、廣德に屯し、復た傳璀に虜にせらる。○楚の姚彥章、鄂州に寇す。○吳越の錢傳瓘、常州に寇す。徐溫、之を無錫に敗る。○梁の王景仁、盧壽に寇す。徐溫、之を霍丘に敗る。
	三	赦す。○太子、唐道襲の過失を疏し、以て太子少保と爲す。○王錯、相と爲る。○杜光庭を以て諫議蔡國公と爲す。○太子元胥、諸將を召して宴飲す。唐道襲譖して云ふ、將に亂を作さんとすと。兵を徹して入りて宿衛す。太子、兵を發して道襲を攻め、淸風樓下に戰ふ。道襲敗れ死す。王宗黯、太子と會同殿の前に戰ふ。太子敗れ死す。○徐妃・張格合謀りて太子宗衍を立つ。
		昏を楚に求む。

十二月より以後は卷第二百六十九

		○王景仁、臨徐州、詣壽春侯、温と戰ひ、敗る。霍丘に
閼逢	四	幽州の城下に陣して之を諭す。守光降らんと欲す。李小喜、其夕、之を止む。小喜、降り、且つ晉軍に告ぐ。明日、王急に攻めて城を拔き、劉仁恭を擒にす。守光亡げて燕樂に至る。之を擒にす。○周德威を以て幽州に鎮せしむ。○王、晉陽に還り、鎮定よ
閼茂	四、丁卯。六、丙寅。八、乙丑。十、甲子。十二、癸巳	○于競を貶す。○韓遜卒す。○子洙、之に代る。○晉王、邢州楊師厚に寇す。○吳の朱瑾を敗る。
旃蒙大荒落	十一	○趙王、劉太師の面を謁せんことを願ふ。劉喜、守光に先だち死す。○劉仁恭の心
	十一	○蜀王宗鍔等、階州及び長城に寇す。○李繼
		○吳の劉崇景、以て袁州を來す。○吳の黃環、馬を鄱陽
		李昌、水軍を以て夔州を取らんと克す。
	十一	劉崇景、以て袁州を叛き、楚に附く。○王環、
	四	太子、勳府を開く。○夔州荊南に寇す。○王成先、

		の朔。
		○王卻く。○徐州殷、以て叛き、牛存節等に命じ吳を討たしめて之を厚、拒ぎて吳を敗る。
		血を刺し、先王の嘉を祭る。○鎭定、王を推して尙書令と爲し、始めて府を開き、行臺を置く。○趙王、梁に兵を命じ、邢州を攻め、克たず。
		徽の子彥魯、其父を毒して之に代る。
		○劉崇許貞、景を執ふ。○劉崇景救ひ、貞を敗れ歸復州を失ふ。
		黃襲ひて州を破る。○柴再用、許貞の兵を敗れたり。復州を取る。○王徐州を以て來附く。○朱瑾之を救ひ、瑾、歸る。
		○王宗訓を誅す。○毛文錫、密に刑法を制す。○文錫、堰を決して高きを季昌、服せざる其の民罪有や。○南詔、黎州に寇す。王等之を擊ちて大に敗り、追ひ河に至る。
		擊ちて之を却く。○王宗鍔を誅す。○毛文錫、密に刑法を制す。○文錫、堰を決して高きを季昌、服せざる其の民罪有や。○南詔、黎州に寇す。王等之を擊ちて大に敗り、追ひ河に至る。

	旃蒙大淵獻	正、壬辰。三、辛酉。六、庚寅。八、己丑。十、戊子。十一、丁巳の朔。閏二。三、一日、穀雨。
	貞明元	牛存節、徐州を抜く。蔣殷自ら焚く。○趙光逢、致仕す。○楊師厚卒す。上、宮中に賀を受く。○趙巖、上に勸めて、魏相を分ちて、兩鎭と爲さしむ。○劉鄩をして兵六萬を將ゐて、河を度り、以て魏人を脅さしむ。○魏の軍、分徙するを樂しまず。遂に亂を作し、賀德倫を劫し、復舊せんことを求む。許さず。遂に叛きて晉に附く。○李保衡、李彥魯を殺し、邠寧を以て來附す。○王檀をして劉鄩を助けて晉を拒しがむ。○岐の劉知俊、邠州を圍む。霍彥威、之を拒ぐ。○晉人襲ひて澶州を陷る。○劉鄩、兵を伏して晉王を圍み、幾ど之を獲んとす。○鄩、黃澤より虛に乘じて晉陽を襲ふ。會ゝ久しく雨ふり、旬を積む。鄩、樂平に至り、食盡きて還る。○鄩、臨清に據らんと欲す。周德威、之に過る。退きて莘縣に屯
	十二	梁の張彥、魏博を以て來附す。○王、李存審をして先づ臨清に據らしめ、自ら大軍を以て之に繼ぐ。○賀德倫、王に勸めて、先づ張彥を誅せしむ。○彥、永濟に至りて迎へ謁す。王、彥等八人を誅して、其餘衆を撫す。○王、彥の卒を以て帳前銀槍都使と爲し、馬を翼して從はしむ。衆心、大に服す。○王、劉鄩と、魏縣に屯し、河を夾みて營を爲す。○賀德倫、魏博を以て王に讓る。王、之を兼ね領す。○王、李存進を以て巡按使と爲す。魏城肅然たり。○王、軍府の事を以て司空頲に委ぬ。頲、從子を召し、以て王に白さず。王、之を族す。○王、孔謙を以て支度務使と爲し、三鎭の兵を聚めしむ。十年、軍須、闕くる無し。然れども急徵重斂し、怨も亦王に歸す。○貝州、晉に服せず。王、襲
	十二	李保衡、李彥魯を殺し、邠寧を以て梁に附く。劉知俊を遣はして之を攻めしむ。○蜀の王宗縉、階・成州に克つ。李繼崇、秦州を以て蜀に降る。○劉知俊、邠州を攻む。未だ克たず。其家、蜀に陷ると聞き、兵を引きて還り、遂に蜀に奔る。○蜀の王宗綰・宗瑤、鳳州に克つ。○溫韜、耀鼎州を以て梁に附く。
		女を以て劉巖に嫁す。
	十二	徐溫、子知訓を以て行軍副使と爲す。○溫出でて潤州に鎭す。子知訓、廣陵に留まりて政を秉る。
計。○王宗鐸等、岐の階州及び長城關を破る。	五	赦す。○鐲金三王を誅す。南詔復た邊を犯さず。○王宗綰・宗播を遣はして秦州を攻めしめ、宗瑤・宗翰をして鳳州を攻めしむ。○宮中火あり。門を閉ぢて、救者を內れず。○赦す。○宗綰等、階州・成州に克つ。李繼崇、秦州を以て降る。○岐の劉知俊、來奔す。○宗綰、宗瑤に會して鳳州に克つ。○赦し、明年の元を改む。
		婦を楚に逆ふ。○巖、都統及び南越王を梁に求む。得ず。曰はく、安んぞ能く梯航して僞廷に事へんや、と。是より貢使遂に絕ゆ。

柔兆困敦	正、丙辰。三、乙卯。六、甲申。八、癸未。十一、壬子。朔。
二	李愚、衡王を拜せず。○劉鄩、晉陽に還る。「晉王、晉陽に還ると聞き、卽ち師を出し魏州を襲ふ。晉王、貝州より還る。鄩、輿に故の元城の西に戰ひ、人に敗る。晉人追ひて河に至る。梁、殺溺盡く、兵七萬、殆ど盡して殆ど鄩走りて滑州を保つ。○王檀、陰地
十三	劉鄩、出でず。如、貝州に王、詐りて云ふ、晉陽に還ると。鄩、魏州を襲ふ。李存審、其後を躡ふ。王還りて存審と夾みて故の元城の西に攻め、之を破る。○王檀、陰地、陽城、晉陽より、幾ど襲ふ。守らざらんと○安金全、故
十三	
	皮光業、梁に入りて貢せしむ。○梁、以て諸道兵馬元帥と爲す。○傳珣、閩に使して好を脩に通ず。
十三	馬謙・李球、亂を作し、王を挾みて徐知訓を殺し、訓つて走る。知訓、求めて朱瑾・誰・球を討ち、之を斬る。○周郊、
	吳越と昏を爲す。○錢鏐を
通正元	王宗綰・王宗播等を遣はして岐を伐む。○成宗翔、新宮を縮め、○鳳翔、隴州を攻む。○宗播、宗綰を召ふ大會に雪り、

弄し賄を受く。李・敬翔、振、皆、疎んぜらる。○劉鄩、晉王を毒せんとして克す。○改元す。○岐の溫韜、鼎を以て來附す。
は、猶ほ大王に事ふるがごとしと。○梁の王檀、復た潭州を取る。○劉鄩、鎭定の誉薄りて、敗れ去る。
劉鄩、貝州に王、詐りて云ふ、晉陽に還ると。鄩、魏州を襲ふ。李存審、其後を躡ふ。王還りて存審と夾みて故の元城の西に攻め、之を破る。○王檀、陰地、晉陽より、幾ど襲ふ。守らざらんと○安金全、故
皮光業、梁に入りて貢せしむ。○梁、以て諸道兵馬元帥と爲す。○傳珣、閩に使して好を脩に通ず。
馬謙・李球、亂を作し、王を挾みて徐知訓を殺し、訓つて走る。知訓、求めて朱瑾・誰・球を討ち、之を斬る。○周郊、
吳越と昏を爲す。○錢鏐を
王宗綰・王宗播等を遣はして岐を伐む。○成宗翔、新宮を縮め、○鳳翔、隴州を攻む。○宗播、宗綰を召ふ大會に雪り、

寶夢徵、寵を執りて以て泣く。○趙光逢、相と爲る。○張筠、相州を棄てて走る。○閻寶、邢州を以て晉に降る。○戴思遠、滄州を棄てて走る。○晉、貝州を拔く。○河北、皆晉に入る。○梁獨り黎陽を有つ。○盜、王檀を殺す。○裴彥、鄆州を安定す。○鄭珏、相と爲る。○吳、潁州を圍む。○契丹王阿保機、帝と稱し、神冊と改元す。○述律氏、契丹主に勸めて、韓延徽を用ひしむ。

關より晉陽を襲ひ、急に攻めて幾ど之を陷れんとす。○石君立、昭義の援兵を以て至る。梁の大に掠めて還る。○帝、鄆敗れ檀還ると聞き、歎じて曰はく、吾が事已に非ざるを以て、其の賞を出だして、策、乃ち退く。○義武王、師を以て晉に降る。○晉人、衞磁州を拔く。○帝、劉鄩を召す。至らず。即ち以て滑帥と爲す。○晉、洺州を拔く。○李嗣源、建國樓を焚かんと欲す。杜晏球、之を誅す。○晉、邢州を攻む。○帝、張文禮を以て溫を拔き、梁の相州を攻む。○又、洺州を攻め、衞磁州を拔く。○梁の德倫を殺し、貝州を以て降る。○張承業、賀德倫を以て行はず。○又、邢州を拔き、梁の將を以て降る。○契丹、蔚州を以て降る。○王郁、雲州を以て降る。○毛璋、滄州を以て降る。○王郁、雲州を以て降る。○又、雲州に攻む。○李存璋を以て晉陽に還る。○鎧に諸道の將の子弟を帥ゐて出で戰ふ。○石君立、昭義の援兵を以て至る。梁の乃ち退く。○帝、鄆敗れ檀還ると聞き、歎じて曰はく、吾が事已に非ざるを以て、其の賞を出だして、策、乃ち退く。○義武王、師を以て晉に降る。○晉人、衞磁州を拔く。○帝、劉鄩を召す。至らず。即ち以て滑帥と爲す。○晉、洺州を拔く。○李嗣源、建國樓を焚かんと欲す。杜晏球、之を誅す。○晉、邢州を攻む。○帝、張文禮を以て溫を拔き、梁の相州を攻む。○又、洺州を攻め、衞磁州を拔く。○梁の德倫を殺し、貝州を以て降る。○張承業、賀德倫を以て行はず。○又、邢州を拔き、梁の將を以て降る。○契丹、蔚州を以て降る。○王郁、雲州を以て降る。○毛璋、滄州を以て降る。○王郁、雲州を以て降る。○又、雲州に攻む。○李存璋を以て晉陽に還る。○鎧に諸道の將の子弟を帥ゐて出で戰ふ。

	○延徽、逃れ歸り、復た往き、彼の手に目は復た完し。安んぞ我を害せんやと。
彊圉赤奮若	三
正、辛亥。二、庚辰。四、己卯。六、戊寅。九、丁未。十一、丙子。閏十一、十。冬至。	袁象先、潁州を救ふ。吳の師去る。○晉王、黎陽を攻め、克たず。○劉鄩を亳州に貶す。○賀瓌、北面招討使と爲る。○晉王、河を渡りて陽劉を拔く。○帝、西都に如き、將に郊祀せんとするも、敬翔諫むれども聽かず。楊劉も敗ると聞き奔り歸る。
	十四
	王、黎陽を攻めしも、克たず。○李存矩、士を恤まず。○晉王、黎陽の新募の軍を以て之を殺し、進みて盧文を擁して新州を攻むるも、克たず。○契丹、周德威に寇す。○德威、勇を恃みて險を失ふ。○契丹主、猛火油を以て之を攻めんと欲し、試みに幽州を攻むるも、遂に律后を以て爲へらく、其の四野を抄略し、以て困しむるに若かずと。○盧文進、契丹に奔る。
	十四
	梁、王に天下兵馬元帥を加ふ。
	馬存、吳の上高を攻む。
	復た孔勍と好を修め、貢獻を通ず。
	十四
	梁、潁州を救ふ。○楚の馬存、高に寇す。○徐州より昇州にて温、鎮海○宋、訓に將れて徐齊の敗を知丘知訓等還る。○梁、潁を救ふ。
	審知、子延鈞の爲めに、越王の女を娶る。
	天漢元
	張格・唐文展、毛錫し、大赦し、改元す。○梁使趙光裔等を以て相と爲す。○閩に女を嫁す。
	乾亨元
	七月より以後は卷第二百七十

	丹を以て新州を攻取す。德之を救ふ。丹、德威を克たんと欲し、之を攻めて契丹を救はしむ。德威敗れて還る。○契丹遂に幽州を圍む。○閻寶・李嗣源・李存審、幽州を救はんと請ふ。嗣源謂ふ、城中恐らくは朝夕、其の變有らん。其の衰ふるを待つに暇あらずと。
	○王、三將を遣はして、幽州を救はしむ。嗣源及び前鋒子從珂、力戰して山を出づるを得たり。○大に契丹を破り、幽州の圍を解く。○契丹盧文進を以て平州に置き、北邊の患を爲す。○張承業、晉州に之かしむ。

著雍攝提格 正、乙亥。二、甲辰。三、癸酉。六、壬寅。	
四 敬翔、國事を憂へ、自ら効さんことを求む。趙張、以て怨望すと爲す。帝遂に用	
十五 梁の謝彦章、楊劉を攻む。王之を救はんと欲すれども、河水に限られ、進むを	陽を守る。租を徵し法を行ふに、貴戚に寛ならず。○承業、公物を以て私禮を爲さず。王、劒を取る。承業、衣を挽きて死を請ふ。曹太夫人、之が爲めに王を答つ。○承業、身を終ふるまで、唐の官を稱す。○王、盧質を殺さず。○劉夫人、其父を答つ。○王、冰に乘じて、梁の楊劉を取る。
十五 復た好を蜀に求む。	
錢傳球、吳の信州を攻め、以て虔州を救ふ。○吳の陳璋、	
張可求、虔州を救ひ、古亭に敗る。○梅山蠻、邵州に寇	
十五 王祺等、虔州を討つ。○徐知訓、驕倨淫暴	
虔州を救ふ。楚敗ると聞きて引き還る。	
光天 元 赦し、復た蜀と稱す。○蜀主、	
二 赦し、國號を改めて漢と曰ふ。	

八、辛丑。十一、庚午の朔。○本志に、十二月癸亥、塡、文昌の上將を犯す。
ひず。○謝彦章、楊劉を攻め、河水を決して以て晉の兵を限る。○蕭頃、相と爲る。○趙光逢、致仕す。○謝彦章、楊劉に敗る。晉人、濱河の四寨を拔く。○張萬進、兗州を以て叛きて晉に附く。劉鄩を遣はして之を討たしむ。○賀瓌・謝彦章、行臺村に軍し、晉王と相拒ぎ、戰はず。○彦章、兵を伏して晉王を闔み、幾ど之を獲んとす。○瓌、速かに戰はんと欲す。彦章曰はく、吾、津要に據り、彼敢て深
得ず。○王、河を涉り、彦章を攻め、大に之を破り、其四寨を拔く。○王、十鎮の兵及び雜虜を合はせて、大擧して梁を伐たんと欲す。○王、軍を引きて麻家渡に軍し、梁の賀瓌と、相拒ぎ、戰はず。○王、輕ゞしく出づるを好み、身自ら戰を挑む。李存審、馬を扣へて切諫す。聽かず。幾ど謝彦章に獲られんとす。王、瓌が彦章を殺せるを聞き、喜びて曰はく、彼の亡ぶること日無からん。我直に其國都を指さば、彼安んぞ行かざるを得んや。
蘇湖を侵す。○傳球引き還る。○吳、虔州を滅ぼし、始めて海道より入貢す。
す。樊須、擊ちて之を走らす。
にして、自ら參軍と爲り、王を以て蒼鶴と爲し、彈を以て王を彈す。○徐知諫、兄の禮を以て徐知誥に事ふ。○知訓、刁彥能をして知誥を殺さしむ。彥能追及し、劒を擧げて之に示し、而して還る。○知訓、朱瑾を泗州に出す。瑾、知
太子衍の不才なるを知り、之を廢して宗傑を立てんと欲す。宗傑暴に卒す。張格を惡む。而して徐賢妃之を主とし、去る能はず。○復た岐と好を通ず。○蜀主疾に寢れ、遺命す、若し太子、大業に堪へずんば、廢して而も殺す勿れ。

舍を問ふ者有り。上擯れ、市人を驅りて城に乘らしめ、西都に奔らんと欲す。

○諸將、兵を斂めて晉に還り、明日諸軍集まるを俟ちて復た戰はんと欲す。閻梁の寶歸れり。我れ晩れて兵志有り、日高きに乘じて趣に赴かんと。梁の之を聞くや、大いに懼れ、夜遁ぐ。兵を擾し、但だ夕べ食を昭ふ。自ら王を追ひ、諸軍を陳づと雖も、先ん及ぶ能はず。破建陷るに因りて、盡く梁に敗る。○王、周德威

き錢の丘○を民りとす身とす衆し士へ上に爲知○賞彥め佐乃知惡訓入○を李、を丁、宋歸、。儉ろを寬ろをてにてに反す訓知す能、をちしたの朝徐殺儼穀除口民齊す心士なこ約、こ御讓接恭事し所の誥、を刁責僚、聞過し溫、。

を晃○殂○固軍と興聞る兵親へ宗○衰由蜀ら權宋宗す親政○と素○を○を唐焚、歐す周辭使すら將。を王ら鼎彭ふり是にを光弼。ら事蜀爲、庾貶張殺文き營陽。后すをとんに讖典、く以王。てにす專嗣・王せを主る。相傳す格す。展

く入らず。ひなば、大事去りぬ。しく戰ふ、て敗れしく、な彥す章るをが疑ひと、璟通、朱珪とて。帝之を謀なを合、せ珪をを殺す。節度使を賞する。に以て璟、を按じて動ず。王兵威、後よ璟。る至ふ賀す。○を請ふ勿れ騎を兵を立なたて得ざ橇ら壘す。暮を日るす乃ち破ぢんばす。○を據ふ。王、山之に

但だ戰ふ必ずしも勝を得ん。ば○と王、大て梁兵を引き趣威にて聽か。ば周德も聽れ。むくきて。れ○璟す、死、入る德威。欠子。

米知てににし子溫時撫軍をき兵○剄り足を璟をち門翟入ててを王示てをし訓志り政代知。皆のに定府濟てを知す、を踰、討てを庲る內走郭、す王提、を誡、をり訓遂弱諸徐すをり江引誥。自折え城つ之圍、。にりり面。にげ首殺。

尊太太き位太殂○をめ宦爲密て嗣○す之白入宗るとせ將展○れむ預り兵弟徐び妃后、に子す蜀用て者す使內を宋。をしり弼。をんを、唐とるら政をは妃、を・徐卽、。主ふ事始。と樞以光 貶てて等王謀こ誅諸文。勿しに典、兄

改の○く昇以
ヒ元明ヤみて
でた年。源其

てた本ヒ州球○ふと惹晃ら祇以劉下ル○た し灰齊○ヤ有ヨ図て氏安白當て帚
羞間、。た、鎧。た・歳に信ら し皮謀て に圧知とら も貧而富人仕て穀た
をヨ門周攻信障　救レ・ヒ代王たすくル ろ事霍、當。人のしもみぞくてに以

豚○菜○すい ひの○取○罪くた
波晉に撤。て。、所孝ろ菜な、哭
にの降朝　之王河允鯛。のり是し
至東ろ阿　な、北允鎗　濺とれて
ろ、。擾　疎是に々、　陽。吾日
。禱　、　人々宿兇王　な　のけ

ら需以知勲徐○執金ヨ州逢し々更々り徐充攻虔○た皆撃の周晃○侵藍○飲悪
し に 詢め溫可ふ審、々に め攻に 徐、溫に め州信却、ち晃・越劉す湖陣すり
ヒ代知々、に来、た譯状虔、ゐ之し辰怒すゞ、く、ご、た楚・信、た楚。妾

屠維單閼			二、己亥。四、戊戌。五、丁卯。六、丙申。八、乙未。十二、甲午の朔。
梁	均王	貞明五	賀瓌、德勝の第を攻め、艨艟を聯ね、晉の笮を斷ち、救兵を擊破して之を拔かんとす。晉の幾ど走り、退きて壺村に屯す。
唐	莊宗	天祐十六	○瓌卒す。王賛、之に代り、楊村に拒ぎ、河を夾みて壘を築く。○劉鄩、兗州を屠り、張萬進を族す。晉の李嗣源と、魏に戰ふ。○瓌、晉王と、李存審、夾河の兩城を德勝に築く。○王、還る。○王自ら幽州を領し、李紹宏を以て軍府を提擧せしむ。郭崇韜を薦む。孟知祥、崇韜を薦む。中門使と密を掌らしむ。○賀瓌、德勝の南城を攻めんとす。王建及、死士を帥ゐて、艨艟の
秦	忠敬王	天祐十六	蜀の王宗播等入寇す。
吳越	武肅王		○傳瓘、舟に灰沙を載せ、大軍に吳の狼山江に敗り、彭彦章を殺す。○傳瓘、復た吳、徐溫と、無錫に戰ひ大に敗
楚	武穆王		荊南を攻む。○傳瓘、吳人、潭州に寇す。乃ち還る。
荊南	平惠王	武信王	楚人入寇す。楚人に救を求む。吳引き去る。
吳	帝	武義元	○王に稱せんことを勸む。許す。吳越の錢傳瓘入寇す。徐溫、國を專らにし、乃ち王を廢して吳の百官を置き、子の大○を以て○に代り、相と爲る。
閩	太祖		
蜀	順正公	乾德元	○王、自ら岐を攻む。皆克つ。○太后蜀に入る。太后・主、太妃と、近郡の名山に遊ぶ。○太后宴す。
南漢	高祖	乾亨三	馬后を立つ。○梁、吳越王に錢鏐に命じて來討せしむ。錢鏐行かず。

十月より以後は卷第二百七十一

卷の第二十七

知可楚出可溫國溫之
誥求州求州國溫
、州、、、、
に求に求に說吳建し復
を、を、を、を、を、
留たむ。

河南に戰ひ、石君立を獲。○北敗れ、君立を斧して之に走り、大に梁の將を謂ふ、晉の用を爲さば、河北の師を揚ぐ。○王、郭崇韜に別に得。瓌走るを乃ち焚き、救兵、度るを梁を德勝に作る。○劉知遠、石散騎に敕す。○李存進、浮梁を諫めて止む。馮道、張萬進の爲めに救を求め、耳門に割く。○李嗣源、王瓚と、戚城に戰ふ。○王、梁の餉者を潘張に遮へ、梁の窘しむる所と爲る。李紹榮以て免れて還る。○王、何ぞ逢の馬を見て悲み、鄭姬の斬以て法す。○正木鈴及び圓す。○吳王、徐溫、屬國に建てんと北門を夜、警して微行、寢を以て枕を寢て賞す。○吳和を求む。○梁の王、瓚を河南に敗る。○濮陽を拔く。

間に入り、其の管を斧して之を獲。○王、焚き、救兵、度るを乃ち瓌走るを。○王、郭崇韜に別に得。○怒り、河北の師を揚ぐ、別に馮道。○諫めて止む。李存進、浮梁を德勝に作る。○劉知遠、石散騎に敕す。○張萬進の爲めに救を求め、耳門に割く。○李嗣源、王瓚と、戚城に戰ふ。○王、梁の餉者を潘張に遮へ、梁の窘しむる所と爲る。李紹榮以て免れて還る。○王、何ぞ逢の馬を見て悲み、鄭姬の斬以て法す。○正木鈴及び圓す。○吳王、徐溫、屬國に建てんと北門を夜、警して微行、寢を以て枕を寢て賞す。○吳和を求む。○梁の王、瓚を河南に敗る。○濮陽を拔く。

く。

ことを勸む。許さず。

三是にし俘乃はめん業を地け之てをし之て戰若かん未錢しれしく温請さをて十よ和てをちとんぜにしの、を以戰、を以勝からずだ公む民く、曰ふん滅吳越ぼと。は久翫困。は可輕ずず。兵威てちず、。與歸其。にし安て民兩懷てめ餘り、す。

上章執徐	三、癸亥。五、壬戌。六、辛卯。閏、庚申。八、己未。
六	李琪、趙張に附き、相位を得、賄を受け、姦を作す。免じて流貶せらる。○朱友謙、襲
十七	李建及、私財を以て士卒に分つ。韋令圖、之を譖す。王、其軍職を罷む。○梁の朱友
十七	蜀の王宗儔等、隴州に寇す。王出でて汧陽に屯す。
	昏を楚に求む。
	吳越來りて昏を求む。
二	楊延式、張崇を械繫して、都統符瑤と簿す。
	僧浩源、白鹿・紫芝を以て王延彬の泉州の、
二	桑弘志、金州に克ち、金師朗を執ふ。○周出で
四	學校を立て、貢舉を開き、銓選を設く。○好

州、民、業んずるに安んず。○十餘年。○高僧、自ら大稱封入。○父王と、貢す。○徐溫、江公出楚。○盧濛州に、○虜、掠兵蓄ふ器を禁ずるを諫むるを。

十一、戊子の朔。七、一日、處暑。

ひて同州を取り、子令德を以て留後と爲し、節鉞を求む。帝、許さず。友謙、叛き、附く。詔して晉に討たしむ。○鄆等、同州を圍む。晉の李存審等、之を救ふ。○鄆等敗れて遁れ歸る。帝、竇維を遣はして溫昭圖に說かしめ、表して鎭を移さんことを求めよと。○母乙、陣、蔡、潁を攻掠す。て之を擒討にす。

謙、河中。同州を以て來附す。○梁の劉鄩、同州を圍む。帝、李存審等を遣はして之を救はしむ。○大に鄆等を破り、下邽に至り、趙王鎔、政事を親らせず。權、左右に移る。○石希蒙、侯を以て幸を得。○張文禮、亂を作し、鎭を殺して趙に自立す。趙王、以て假子と爲す。○委ぬ。趙王、佛老を嗜み、西山に遊び、數月にして方めて歸る。○石希蒙、復た、它所に遊ばんことを勸

○王、恭謹を以て位を保つ。國を建つるや尤も樂しむ。また沈飮して疾を成す。○徐溫、謂ふ、楊氏、無くして男有るも女を當に立つべしと。○王、妣溫昭、江公に捨てて其の弟溥を立つ。○金陵城の陳彥謙、成る。○城に安遠を築く。○王宗儔、隴州等を攻め、用の上、籍を費つて溫視す。

節鉞を梁帝に求むるを知る。之を黜く。

○張士喬、流黎州に謫せらる。水に赴きて死す。○數ひ韓昭を、乞之を以て賓とし宅を賜ふ。○誓つて北巡し、金甲珠を蜀主に獻ず。○幡に段を行て融ほど諫む。○安遠城に次す。○假子と爲して名を冒す。德明と、悉く軍を以て之に事を攝づけ、

蜀に通ず。

重光大荒落	二、丁亥。 五、丙戌。 六、乙卯。 七、甲申。 九、癸未。 十一、壬午。 朔。六月乙卯朔、食す。
龍德元	昭圖を許州に徙す。 ○惠王友反して之を討ち、霍彥威等に詔して之を能く陳留に至る。友敗れて還り、州を圍む。之を改元す。 ○尹皓・段凝、劉鄩を譖す。帝、之を戮す。 ○友能降る。
十八	王、先王の教を稱し、以て吳を蜀に辭す。 ○吳傳眞、傳國寶を獻ず。 ○張承業謂ふ、之を讓るに久しく、則ち之を得るを愈〻堅しと。 ○又謂ふ、王、自ら之を取るに老奴を誤ると。 ○趙王、石希蒙を殺せる者を恨む。 ○張文禮、德棣萬を以て親軍を領す。 ○禮、皆之を懼る。張文禮、之を激し、遂に趙王を弑す。文禮を奉じて帥と爲す。 ○尹皓・段凝、劉鄩を譖す。帝、之を戮す。 ○友能降る。
十八	李濤を吳に歸す。
	辰溆の倿可福、入寇す。 姚彥章、而して金を賜ふ。 討ちて之を平ぐ。
吳睿皇帝 溥義元	○蜀主、如き、供を辦ず。民始めて愁へ、又怨む。 ○梓州に如き、漢に來好す。 ○蜀主、改元す。 ○吳錢越に歸す。 ○徐溫、王を天子に郊せんことを勸む。 ○○溫、太一を祠る。崔胤、初めて制を改めんことを請ふ。 ○○溫、唐の宗廟を修費、安んぞ效ふらんにと。
三	韋妃、寵有り、高家に歸る。 ○蜀主、香を好み、草藥を採りて之を蒸す。 ○蜀主、罷るに及び、宮人數百を留めて之を焚く。
五	倪曙、相と爲る。

	○李弘規、敎を蘇漢衡等に殺さしむ。 ○趙王、子昭祚を弘して、規を族し、黨與を窮治せしむ。
	○蜀に如き、梓州に如き、漢に來好す。
	○蜀主、改元す。 ○吳錢越に歸す。 ○徐溫、王を天子に郊せんことを勸む。 ○○溫、太一を祠る。崔胤、初めて制を改めんことを請ふ。 ○○溫、唐の宗廟を修費、安んぞ效ふらんにと。
	○蜀主、罷るに及び、宮人數百を留めて之を焚く。
	○倪曙、相と爲る。

王、閻寶・史建瑭を遣はして之を助け、鎭州を伐たしむ。

○寶等、趙州を拔く。文禮卒す。子璀拒ぎ守る。寶等、之を圍む。

○○建瑭卒す。○○戴思遠、德勝の北城を襲ふ。王、擊ちて之を敗る。

○俘斬二萬。

○李嗣源、漢副總管と爲る。

○王都、處直に愛し、養子と爲さんと欲す。處直以て嗣と爲さず。都、晉に叛き、新州を圍む。處直使を遣はして都を召す。都、契丹を以て鎭州を圍む。處直、契丹と解かんとす。都、將士の心に因りて、直を西第に幽す。

玄默敦牂	三、辛巳。五、庚辰。七、己卯。八、戊申。十、丁未。十二、丙午。の朔。
二	戴思遠、魏州を襲はんとし、魏店に至り、李嗣源に遇ひ、成安を拔きて還る。○德勝の北城を攻むること急なり。晉王至れるを聞き、遁れて楊村に歸る。
十九	王都直、王都を殿つ。尋ぎて卒す。○王、契丹に遇ふ。新城の將士、井陘に入りて以て避く。○王、契丹に過ぎられ、定州を陷れ、涿州を攻む。王、之を救ふ。
十九	
二	
漢主延美、梅口に襲ひ、克たず。	
四	蜀主、微行を好み、士民を大いに災す。○王、新城に過ぎ、將士に著けて帽を裁し、人をして之を識らしむ。
六	漢王、鎭に梅口に遊び、避くべきを避けず、人、之を襲ふ。○王、定州に至る。契丹退き、望都を保ちて追擊した。

を取る。澶の南、西、相の南、皆、梁の有と爲る。○契丹、天贊と改元す。○王建、大封王、躬ら大を殺し、自ら高麗王と稱す。

之を破る。○會ふ、大に雪ふる。○契丹引き去る。○契丹の宿す所、藁枝、亂れず。○李嗣昭、嬌・儒・武州を定む。○李嗣源、澶州に屯す。○梁の戴思遠、將に魏州を襲はんとす。嗣源、先づ備を爲す。思遠、成安を拔きて去る。○思遠、急に德勝の北城を攻む。○李存審、固守す。○王、幽州よりの五日にして魏州に至る。思遠去る。○鎭人、長圍を攻む。閻寶、之を輕んじ、備を爲さず。人、出でて長圍を壞り、鎭人、

寶の營を攻む。寶退きて趙州に保つ。○李嗣昭、王、李を以て之に代ふ。○嗣昭、敗卒の射て中てる所と爲り、卒す。○王、李存進、任圍に遣命し、諸軍を督して鎭を攻めしむ。號令一の如く、鎭人、知らず。○王、李存進、代るを以て嗣昭に代らしむ。○嗣昭の諸子、王命を受け、牙兵を以て喪を擁して潞州に歸る。○李繼韜、兄繼儔を囚へ、自ら留後と稱す。王、已むを得ず、之に授く。○閻寶、辛す。○王、優人李を以て衞の刺史と爲す。○存儒を以て衞州の

す。梁の段凝、襲ひて之を取る。
○戴思遠、又、淇門等の蛛を取る。軍儲三分の一を失ふ。
○張處球、李存進の營を襲ふ。晉の兵、勝つと雖も、沒する者多し。
○王、李存審を以て鎮州を討たしむ。存審、鎮州を拔き、張處瑾を兄弟の柔に遣はして節度使と爲す。
○荷翟、成德を辭す。王自ら之を領す。
○翟、又、相衛の一鎮を求め、自ら之を取らんとい ふ。
○張承業卒す。何瓚を以て河東に知たらしめ、張憲をして軍府の事に知たらしむ。
○趙季良問ふ、王、何の時か河南を取らんと。

昭陽協洽	三、乙亥。 五、甲辰。 七、癸卯。 八、壬申。 十、辛未。 十一、庚子。 の朔。閏四。 五、一日、 夏至。十一、 八日、冬至。 ○本志に、 十月辛未、 朔、食す。	
三	晉の李繼韜、潞州を以て來り附く。裴約、州に據り、澤に據り、董璋を攻めしむ。 ○唐の李嗣源、鄆州を襲ひ、之に據る。 帝大に懼れ、王彥章を以て戴思遠に代らしめ、促して進み戰はしむ。 ○彥章、楊村より下り、水陸倶に唐の南城を拔き、德勝の攻め之を拔く。	
同光元	盧質、豆盧革、盧程を薦め、相と爲す。 ○李繼韜、內、自ら安んぜず、叛きて梁に附く。裴約、澤州に據り、從はず。 ○契丹、幽州に寇す。李存審に命じ以て之を鎭せしむ。 ○晉王、帝位に卽き、國を赦し、改元す。 ○母曹氏を尊び太后と爲し、嫡母劉氏を太妃と爲す。	唐主に書を與へ、季を以て父と爲し、自ら處る。
	梁、鏐を以て吳越國王と爲す。鏐始めて國を建て百官を置き、軍府を謂ひて朝廷と爲し、教令を制敕と爲し、將は東、臣は、皆、と稱し、惟だ元璙のみ改めざる。	
	子を遣はして入貢す。 唐は希範を以て楚王と爲す。 ○季昌、梁の滅せるを聞き、名興に更め、自ら入朝せんと欲す。 ○唐主、梁と絕たんと欲す。 ○季興、震れ懼れ、聽かず。 ○唐主、季興に謀を先にせんと欲す。 ○唐主、季興に謀を先にせんと欲す。 ○唐主、季興に謀を先にせんと欲す。	
三	徐溫、兵を治めて海を引き、循ひて梁に勝つ者無し。 ○唐主、諫官に謂ひて曰く、可止めず。求めて可ず。 ○唐主、諫官に謂ひて曰く、可止めず。求めて可ず。	
五	蜀主、韓昭在・潘在迎・顧在珣を以て客と爲し、宴晝夜を爲す。 ○王、泣いて諫むれども聽かず。 ○唐主、嗜酒好嘉賓を謂ふ。 ○張龍笑ひ、雲ひ、悲しむ。	
七		
卷第二百七十二		

き、連に唐の諸塞を破り、聲勢大に振ふ。○彦章、唐の兵と、倶に河に浮びて東に下る。○彦章、急に楊劉を攻め、克たず。○唐の郭崇韜、城を馬家口に築く。彦章、兵を引きて之を爭ふ。唐主自ら之を救ふ。彦章退きて鄒家口を保つ。○彦章復た楊劉を攻む。○唐の兵且に至らんとすと聞き、圍を解き、退きて楊村を保つ。○彦章、趙張を疾みて曰はく、功成りて師を旋すを侯ちて、必ず之を誅せんと。○段凝、素よ

す。○太妃、太后を賀し、喜色有り。○張居翰、事を郭崇韜に讓る。○魏州を以て東京と爲し、太原を西京と爲し、眞定を北都と爲す。○祖考を追尊す。○契丹、入寇し、易定に至りて還る。○盧順密、策の鄆州を取るを獻ず。李嗣源、之を贊成す。帝、嗣源を遣はして鄆州を襲はしめ、克ちて之を守る。○帝、澶州に屯し、朱守殷をして、德勝を守らしむ。○梁の王彦章、德勝の南城を攻め、之を抜き、連に

以て鎭海鎭東留後と爲し、杜建徽を左相と爲す。

ふ。○季興謂ふ、入朝に二失有りと。○又謂ふ、唐主、驕矜荒怠す。吾憂無からんと。

して、必ず内變有らんと。○鍾泰章、自ら辨じて以て朝廷の失を彰はさず。徐温、泰章が張顥を殺せるの功を忘れず。○嚴可求預め唐主の問ふ所を料り、盧藾に應對を敎ふ。○藾還りて言ふ、唐主、財を嗇み諫を拒むと。

彗星は亡國の徵なり。祈禳の弭む可きに非ずと。坐して黎州に流され、道に卒す。

り彦章を惡み、趙張に詔附し、陰に其の功を沮み、其の過を招摭す。○帝も亦、彦章が功成らば制し難からんことを恐れ、召して、董璋を助けて澤州を攻めしむ。○董璋、澤州を抜き、裴約を殺す。河を決して曹濮に注ぎ、以て唐の兵を限る。○李振、段凝を謂ふ、其の過有るを俟たば則ち社稷危からんと。○凝、趙張に賂ひ、遂に王彦章に代りて招討使と爲る。敬翔・李振・張宗奭諫むれども聽かず。○凝、澶州を攻掠す。○帝、王彦章

諸寨を破る。○帝、守殷に命じて北城を弃て、屋材を撤し、東して楊劉を保たしむ。彦章も亦河に浮びて下る。各ゞ一岸に行き、一日に百戰す。○彦章、急に楊劉を攻む。帝、兵を引きて之を救ひ、曰はく、李周内に在り、何ぞ憂へんと。○郭崇韜・范延光、壘を博州の東岸馬家口に築きて以て鄆州の路を通ぜんと請ふ。○崇韜、城を築くこと六日、彦章の兵至り、急に之を攻む。崇韜、力戰し、全きを得たり。○帝、大軍を以て之を救

を遣はして鄆州を取らしむ。○彦章、李從珂と戰ひて敗れ、退きて中都を保つ。○唐主自ら將として彦章を擊ち、之を擒にす。○彦章謂ふ、朝に梁の將と爲り、暮に唐の臣と爲らば、何の面ありて天下の人を見んと。○唐主、彦章が終に用を爲さざるを知り、遂に之を殺す。○帝、唐の軍の將に至らんとするを聞き、羣臣を召して策を問ふ。能く對ふる莫し。○帝、興唐に還る。○梁の段凝、潼州を寇掠す。帝、朝城に屯す。○梁の唐延孝來奔し、謂ふ、梁の君臣の行事、終に必ず亡び敗れんと。直に鄆に趣かんことを勸む。○李紹宏、帝に勸む、梁と和し、鄆を棄て以て境と爲し、河を以て衞と爲し、易へて生を全くするも、必ず良平復た生るも、陛下と雖も、爲に謀る能はざらん。願はくは先づ死を賜はらんと。○城中に兵四千有り、朱珪、出で戰はんと請ふ。帝、兄弟が危きに乘じて亂を疑ひ、盡く之を殺すは、或は洛陽に幸せんと請ふ。從はず。○敬翔謂ふ、陛下の軍に幸せんと請ふ。趙巖曰はく、一たび此の樓を下らば、誰の心か保す可からんと。乃ち止む。○鄭珏、寶を奉じて降らんと詐り、請ひ、但だ李紹宏、先づ東方の諸鎭に下さんと欲す。康延孝、直に大梁に趣かんことを勸む。○李紹宏、帝に勸む、梁と和し、鄆を棄て以て境と爲し、河を以て衞と爲し、易へて生を全くするも、必ず良平復た生るも、陛下と雖も、爲に謀る能はざらん。願はくは先づ死を賜はらんと。○城中に兵四千有り、朱珪、出で戰はんと請ふ。帝、兄弟が危きに乘じて亂を疑ひ、盡く之を殺すは、或は洛陽に幸せんと請ふ。從はず。○敬翔謂ふ、陛下の軍に幸せんと請ふ。趙巖曰はく、一たび此の樓を下らば、誰の心か保す可からんと。乃ち止む。○鄭珏、寶を奉じて降らんと詐り、請ひ、但だ李紹宏、先づ東方の諸鎭に下さんと欲す。康延孝、直に大梁に趣かんことを勸む。○李紹宏、帝に勸む、梁と和し、鄆を棄て以て境と爲し、河を以て衞と爲し、易へて生を全くするも、必ず良平復た生るも、陛下と雖も、爲に謀る能はざらん。願はくは先づ死を賜はらんと。○城中に兵四千有り、朱珪、出で戰はんと請ふ。帝、兄弟が危きに乘じて亂を疑ひ、盡く之を殺すは、或は洛陽に幸せんと請ふ。從はず。○敬翔謂ふ、陛下の軍に幸せんと請ふ。趙巖曰はく、一たび此の樓を下らば、誰の心か保す可からんと。乃ち止む。○鄭珏、寶を奉じて降らんと詐り、請ひ、但だ

ふ。○帝、河に循ひて南す。彦章、鄆家口を弃て、復た楊劉に趣く。○李嗣源、楊劉を救ふ。彦章、圍を解き、退きて楊村を保つ。唐の軍、復た德勝に屯す。○盧程、任圜を罵るに坐して貶せらる。○帝、昭斌に命じて裴約を救はしむ。約、未だ至らざるに澤州陷る。○帝、興唐に還る。○梁の段凝、潼州を寇掠す。帝、朝城に屯す。○梁の唐延孝來奔し、謂ふ、梁の君臣の行事、終に必ず亡び敗れんと。直に鄆に趣かんことを勸む。○李紹宏、帝に勸む、梁と和し、鄆を棄て以て境と爲し、河を以て衞と爲し、易へて生を全くするも、必ず良平復た生るも、陛下と雖も、爲に謀る能はざらん。願はくは先づ死を賜はらんと。○城中に兵四千有り、朱珪、出で戰はんと請ふ。帝、兄弟が危きに乘じて亂を疑ひ、盡く之を殺すは、或は洛陽に幸せんと請ふ。從はず。○敬翔謂ふ、陛下の軍に幸せんと請ふ。趙巖曰はく、一たび此の樓を下らば、誰の心か保す可からんと。乃ち止む。○鄭珏、寶を奉じて降らんと詐り、請ひ、但だ李紹宏、先づ東方の諸鎭に下さんと欲す。康延孝、直に大梁に趣かんことを勸む。○李紹宏、帝に勸む、梁と和し、鄆を棄て以て境と爲し、河を以て衞と爲し、易へて生を全くするも、必ず良平復た生るも、陛下と雖も、爲に謀る能はざらん。願はくは先づ死を賜はらんと。○城中に兵四千有り、朱珪、出で戰はんと請ふ。帝、兄弟が危きに乘じて亂を疑ひ、盡く之を殺すは、或は洛陽に幸せんと請ふ。從はず。○敬翔謂ふ、陛下の軍に幸せんと請ふ。趙巖曰はく、一たび此の樓を下らば、誰の心か保す可からんと。乃ち止む。○鄭珏、寶を奉じて降らんと詐り、請ひ、但だ

恐らくは未だ了せざらんと。
○趙巖、許州に奔る。
○帝、皇甫麟をして己を殺さしむ。
○帝、溫恭儉約なり。但だ趙張を信じ敬李を疎んずるを以て、亡ぶるに至る。
○敬翔謂ふ、君昏くして諫むる能はず、國亡びて、救ふ能はず。新君若し問はば、何の辭をか以て對へんと。
○叉謂ふ、李振諺りて丈夫と爲ると。遂に縊死す。
○溫昭圖、趙巖を斬り、其貨を没す。
○段凝入り援け、封丘に至り、五萬の衆を以て唐に降る。
○唐主、梁の貴臣鄭珏等十一人を貶し、趙巖等十家を族す。
○梁の宗廟を毀つ。

かんと請ふ。李嗣源謂ふ、段凝、決河に礙へられ、汴を救ふ能はざらん。此去りて汴の道は近くして平かなり。其の河を濟る比ほひ、吾已に友貞を擒にせんと。因りて自ら前驅を爲さんと請ふ。
○帝、中都を發し、曹州を取る。
○李嗣源、大梁に至る。王瓚降る。
○帝、城に入り、梁の百官を赦す。
○帝、頭を以て李嗣源の衣に觸れて曰はく、天下は、汝と之を共にせんと。
○或るひと梁主の首を獻ず。
○陸思鐸、帝を射て鞍に中つ。帝、赦して之を用ふ。
○袁象先、首として入朝す。
○詔す、梁の節度・刺史・將校は、改更を議せず。先に叛きて梁に降りし者も、亦、問はずと。
○郭崇韜、權、中外を兼ね、忠を盡して規益す。
○張全義、入朝す。
○帝、梁の太祖の棺を斲り其尸を焚かんと欲す。全義、諫めて止む。
○使を遣はして諸道に宣諭す。梁の藩鎭、皆、藩と稱して朝貢す。
○帝、伶人を寵任し、自ら俳優と爲る。
○張全義、都

閼逢	
唐莊宗同光二	○李繼韜、帝使梁人開大慶關、銀四十萬兩以齎之。左右入賂。帝、寵待如故、鎭鄴、還韜、鎭鄴、還韜、許之。○趙光逢、戶部侍郎、張憲、出爲長安令。○趙光胤・韋說、相繼爲京兆尹。○郭崇韜、温韜伏誅、籍沒其家。○三省寺監官員減半。○張全義、南郊禮畢、請加恩百官。○梁東京留守、梁之舊臣、多被貶黜。○帝、洛陽宮室、焚燬殆盡、欲還都洛陽、羣臣皆以爲宜因梁宮室而葺之、不可勞民興作。帝不從、庚申、發鄴都民夫數萬人、令宰相豆盧革・韋說、樞密使郭崇韜・宣徽使孔謙、分督其役。
秦忠	
吳越	
楚武	
南平	
吳睿	
閩太	
蜀順	
南漢	
卷	

	○李繼韜、帝使梁人開大慶關、銀四十萬兩以齎之。左右入賂。帝、寵待如故、鎭鄴、還韜、鎭鄴、還韜、許之。○趙光逢、戶部侍郎、張憲、出爲長安令。○趙光胤・韋說、相繼爲京兆尹。○郭崇韜、温韜伏誅、籍沒其家。○三省寺監官員減半。○張全義、南郊禮畢、請加恩百官。○梁東京留守、梁之舊臣、多被貶黜。○帝、洛陽宮室、焚燬殆盡、欲還都洛陽、羣臣皆以爲宜因梁宮室而葺之、不可勞民興作。帝不從、庚申、發鄴都民夫數萬人、令宰相豆盧革・韋說、樞密使郭崇韜・宣徽使孔謙、分督其役。

君灘　二、已巳。契丹、瓦橋に寇す。李嗣源等を遣はして之を救はしむ。○孔謙、豆盧革の租庸使を解く。郭崇韜、復た張憲を以て之に代らしむ。○八、戊戌。郭崇韜、悉く遣はして闕に詣らしむ。殆ど千人に至る。○丁卯。諸道の內、悉く干る。○十、丙寅。政事に浸く。○乙未。十一、朔。冬至。○十八日、本志に、契丹、寨を出づ。李嗣源還る。○孔謙、張憲を排し、王正言を引く。○己酉。三司並に租庸使に隸す。○太妃、晉陽に留まり、陵廟を奏す。○帝、太后を河陽より迎ふ。○癸丑。南郊に祀り、赦す。○○○孔謙、赦文の錮く所を徵す。是に由りて、人、詔令を信ぜず。○郭崇韜、饋遺を受け、以て藩鎭の心を安んず。○藩鎭の獻じ、南郊を助く。十萬緡を○宦官、上に勸め、財賦を分ち內外府と爲さしむ。○崇韜、內府を出して郊禮を助けんと請ふ。許さず。軍士○李繼麟を以て權鹽使と爲す。怨む。○○郭崇韜、人主に侔しく、

敬王　岐王、唐主が洛に入るを聞き、子繼曦を遣はして入貢し、始めて臣と稱す。唐主、之を尊びて名いはず。○王、藩臣の禮を正さんと請ふ。○晉王に秦王に進む。○王卒す。遺奏して子繼曦を立つ。

武肅王　唐、梁の官爵に因りて、別に命を加ふ。

穆王　尙書令を加ふ。

武信王　南平王に封ぜらる。

皇順義四祖　王、自ら境上に如き、樓船を觀徐に温來朝す。王、雨を名づけて水と爲す。温、翟虔を敗る。

正公乾德六　漢主寇し、入汀漳の之を擊敗れ、ち歸る。○李龜禎、君臣の沈湎するを諫む。○唐の李嚴來り使す。○○○とに備を請せ、嚴邊を禁じ中に入れ、國に得るざるを珍奇ふ。○唐主、唐を相ると許寂と爲す。

高祖乾亭八　漢主自ら將として境上の汀漳の侵し、閩を之を擊敗れ、ち歸る。

第二百七十三

憊幸を擢抑す。○倫宦、之を疾む。宵梁を以て自ら處り、流品を甄別す。○勳舊、之を怨む。○崇韜、鎭に出づるを求めんと欲す。○親しむ所、之を止む。○劉后を立てんことを勸む。之に從ふ。○財を蓄へて以て尼師に施す。○李嗣源、邢州に屯し、以て契丹に備ふ。○李存審、入觀せんことを求む。○郭崇韜、之を抑ふ。○帝、李存審と手搏し、勝たず。○契丹、新城に寇す。○李嗣源、兵柄を解かんことを求む。○○選人の僞濫なるを革む。○○○唐の諸陵を修む。○霍彥威に姓名を李紹眞と賜ふ。○楊立、潞州に據り、節鉞を求む。○李嗣源等に詔して之を討たしむ。○盧質言ふ、孔謙、絲を貸すは、是れ趙嚴復た生るるなりと。○又云ふ、臣は惟だ天子に事ふ、租庸を事とせずと。○帝、汴に入るの日、周匝の故を以て、陳俊・儲德源に刺史を許す。○郭崇韜、之を諫止す。年を踰えて帝卒に之を與ふ。

州に戍せしめ、以てし備ふ。○李來り使す。○○唐彥の稠唐の使ふ。○○帝、太后を河陽より迎ふ。○癸丑。南郊に祀り、赦す。○○○孔謙、赦文の錮く所を徵す。是に由りて、人、詔令を信ぜず。○郭崇韜、饋遺を受け、以て藩鎭の心を安んず。○藩鎭の獻じ、南郊を助く。十萬緡を○宦官、上に勸め、財賦を分ち內外府と爲さしむ。○崇韜、內府を出して郊禮を助けんと請ふ。許さず。軍士○李繼麟を以て權鹽使と爲す。怨む。○○郭崇韜、人主に侔しく、

○百戰の士憤り歎ず。○薛昭文言ふ、宜しく士卒の賞給を增し、梁の兵を收撫し、百姓を安集し、土木を裁省すべしと。○州鎭に令して、城隍を修浚するを得る毋く、防城の具を毀たしむ。○李存審卒す。○存審、出す所の百餘鏃を以て諸子に示して曰く、當に知るべし、爾の父、家を起すこと此の如くなるを、と。○契丹、幽州に寇す。李紹斌に命じて之を禦がしむ。○張廷蘊、前鋒を以て、潞州に克つ。○劉后、幸姬を以て李紹榮に賜ふ。○孔謙、職を解かんことを求む。帝、之を誅せんと欲す。○梁の決河を塞ぐ。既にして復た壞る。○契丹主、遼東を擊つ。○孔謙・孔循、租庸使と爲り、重く斂し、以て帝の欲に充つ。民、生を聊んぜず。○何澤、馬を遮りて獵を諫む。○契丹、勃海を攻め、功無し。○契丹、幽州に寇す。○敕して、租庸の・支郡に直帖するを禁ず。既にして行はれず。○契丹、易定に寇す。

す。李彥稠還る。○唐の好を修むるを以て、東北の戍軍を召し還す。○張格、相と爲る。王魯柔を讎とす。許寂、之を危む。○宦官王承休を以て秦州節度使と爲し、美女を采擇せしむ。○明年の元を改む。

旃蒙作噩

正、甲午。三、癸巳。五、壬辰。八、辛酉。十一、庚寅。閏十二、己丑の朔。○本志に、四月癸亥朔、食す。三月戊申望、食す。九月甲辰望、食す。三月丙申、

三

敕して、昭宗・少帝を改葬せんとす。既にして果さず。○契丹、幽州に寇す。○上、興唐に如く。○荀習、河堤を治む。○李嗣源、御鎧を取る。上怒る。○上、即位の壇を毀ちて毬場と爲す。張憲謂ふ、天を忘れ本に背くは、不祥なりと。○李嗣源、契丹を涿州に敗る。上、李嗣源を徙して眞定に鎭せしむ。○郭崇韜、藩鎭を固辭す。○李從珂を謫して石門に戍せしむ。○郭崇韜、上に李嗣源を除か

○帝、伊闕に獵し、從官をして、梁の太祖の墓を拜せしめ、夜、合圍し、士卒死傷す。○李繼麟に鐵券を賜ふ。○契丹、蔚州に寇す。○李嗣源を遣はして汴州に赴き、遂に北して幽州を救はしむ。○劉后、張全義を拜して父と爲す。○契丹、嵐州に寇す。

秦王 從曮

唐、蜀を伐ち、繼曮を以て轉運使と爲し、糧餉を供せしむ。

唐、王に玉冊・金印・御衣を賜ふ。鏐、使を遣はして冊を受くるを以て呉に告ぐ。呉、國名同じきを以て、之と絶つ。

殷、蜀亡ぶと聞きて懼れ、上表して老を請ふ。○殷、商旅を征せず、四方輻榛す。高郁、鉛鐵錢を鑄る。商旅、皆、它の貨に易へて

唐、季興を以て西川東南面都招討使と爲し、虁忠萬を取りて巡屬と爲さしむ。季興、水軍を將ゐて峽に上り、張武に敗られ、遁れ還

五

徐知誥、厚く陳彥謙に遺る。彥謙、終に臨みて書を徐溫に留め、嫡子を以て嗣と爲さんと請ふ。○呉越王鏐、來りて、

閩の忠懿王、疾に寢れ、子延翰をして權に軍府に知たらしむ。○王卒す。延翰、留後と爲る。○陳本、汀州を圍む。柳邕等を遣は

咸康元

赦す。○蜀主、太后・太妃と與に、青城・山陽・平化・三學山に遊ぶ。○王承休、蜀主に秦州に遊ばんこ

白龍元

何詞を遣はして唐に使し、且つ之を覘はしむ。還りて言ふ、唐主驕淫なりと。是より、復た中國に通

十一月より以後は卷第二百七十

熒惑、上相を犯し、上四月甲子、左執法を犯す。六月丙寅、歲、右執法を犯す。九月丙辰、太白・歲、相犯す。

んことを勸む。
○上、德勝。楊村・戚城に至り、戰處を觀る。
○宦官言ふ、宮中、夜、鬼を見るは、人無きに由ると。乃ち命じて、民間の女子數千を采り、後宮に實せしむ。營婦の亡逸する者千餘人。上、洛陽に還る。
○復た洛陽を以て東都と爲し、興唐を鄴都と爲す。
○誠惠、妖妄を以て衆を惑はす。帝后親しく之を拜す。
○趙光胤卒す。
○太妃卒す。太后に別れ、疾を成して卒す。太后も亦悲哀して疾を成す。
○郭崇韜謂ふ、上儻し艱難を忘れずんば、暑氣自ら消せんと。
○太后殂す。上、五日にして方めて食す。
○羅貫、伶官に忤ひ、坐して死す。上、戶を閉ぢて郭崇韜の諫を拒ぐ。
○李紹宏、段凝を薦む、蓋世の奇才有り、孫吳も如かずと。
○郭崇韜請ふ、魏王繼岌を以て蜀を伐つ都統と爲し、以て其威名を成さんと。
○雨ふること七十五日。
○郭崇韜、孟知祥を薦めて西川の帥と爲し、張憲を相と爲

去る。○又、稅を輸する者をして帛を以て錢に易へしむ。民間の機杼大に盛なり。

る。○梁震謂ふ、蜀亡ぶるは、未だ必ずしも吾が福と爲らずんばあらずと。

玉冊を受くるを告ぐ。國名同じきを以て之と絕つ。

して之を討たしむ。

とを請ふ。太后、流涕して食はず、之を止む。得る能はず。蒲禹卿切に諫む。○蜀主、唐の兵の西上するを聞き、信ぜずして曰はく、吾、方に、武を耀さんと欲すと。○唐、威武城に克つ。○王承捷、鳳州を以て唐に降る。○蜀主、利州に

ぜず。○改元す。○名を襲と改む。○長和の驃信、昏を求む。女を以て之に妻はす。

四

す。
○李愚、陳乂を斬らんと欲す。
○李紹琛、威武城に克つ。郭崇韜謂ふ、宜しく鳳州を力取し、糧に因るべしと。
○李愚謂ふ、宜しく蜀の人心崩離するに乘じて急に之を擊つべしと。
○王承捷、鳳興等の四州を以て降る。
○程奉璉、橋棧を修め、唐の兵を俟つ。
○李紹琛、興州を過ぎ、蜀の三招討を三泉に敗る。
○貞簡太后を葬る。
○宋光葆、梓緜等の五州を以て、王承肇、洋蓬壁の三州を以て、王宗威、梁開等の五州を以て、王承岳、階州を以て、皆降る。
○李紹琛、利州に至る。林思諤降る。
○魏王繼岌、劍州に至る。
○王宗壽、遂合等の五州を以て降る。
○李紹琛、緜州に至り、馬に乘りて江水を度り、鹿頭關に入り、漢州に據る。
○李嚴先づ成都に入りて安撫す。
○蜀主、降を請ふ。
○王宗弼、繼岌に賂し、節度使を求む。繼岌曰はく、此れ我が家の物なり。奚ぞ獻を以

至り、威武の敗卒に遇ひ、始めて之を信ず。○三招討を遣はして兵を將ゐて逆へ戰はしむ。○蜀の兵皆曰く、龍武の糧賜厚し。它の兵安んぞ能く戰はんと。○三招討、三泉に敗る。○蜀主西に走り、王宗弼をして利州を守らしむ。

て爲さんと。
○繼岌、成都に至る。蜀主出で降る。
○崇韜、城に入る。市、肆を改めず。
○師を出して七十日にして蜀平ぐ。
○蜀人、崇韜を帥と爲さんことを請ふ。李從襲等、崇韜を繼岌に譖す。是に由りて相疑ふ。
○王宗弼を誅す。
○王承休・王宗汭を誅す。
○孟知祥を徵して西川に鎭せしむ。
○段徊、張憲を薦め、北都を守らしむ。
○王成言、鄴都を守る。六州の政、史彥瓊に決す。
○大に饑ゑ、民流亡す。租賦、充たず、漕運艱澁にして、軍士、食無し。妻を雇し子を鬻ぎ、老弱餒死す。帝、恤へず、伊闕に畋し、五日にして返る。
○李嗣源入朝す。
○李琪謂ふ、古は農を計りて兵を置く、故に匱乏無しと。
○又謂ふ、未だ農富給にして兵足らざる者有らずと。
○蜀の官、皆、等を降す。
○王衍に詔を賜ひ、許すに土を裂くを以てす。
○上、汴州に如かんと欲す。
諫官以爲へらく、食に就くの

梁洋梓階の諸州、皆、唐に降る。○安重霸、王承休をして入りて難に赴かしめ、而して自ら秦隴に據る。○王宗弼、利州を弃て、兵を引きて西に歸る。○蜀主、成都に至り、回鶻隊を作して宮に入る。○君臣涕泣して相視、謀を爲すを知

天子無しと。
○崇韜、繼岌に謂ふ、他日、驛馬にも亦乘る可からずと。是に由りて宦者切齒す。
○帝、向に延嗣をして師を班すを促さしむ。郭崇韜、禮せず。延嗣、劉后に白して云ふ、崇韜は將に魏王に利あらざらんとすと。
○帝、蜀の籍を閱し、寶貨の微なるを怪しむ。延嗣曰はく、皆、崇韜父子に入ると。帝怒る。
○帝、孟知祥をして崇韜を殺さしむ。知祥、更に之を察せんことを請ふ。
○帝、馬彥珪をして崇韜を察せしむ。劉后、敎を以て繼岌に與へ、之を誅せしむ。

る莫し。○利州、唐に降る。○遂州、唐に降る。○王宗弼、成都に至り、蜀主・太后を西宮に劫遷し、自ら留後と稱し、降を唐に請ふ。○宗弼、宋光嗣等を誅す。○蜀主出で降る。○郭崇韜、王宗弼を族す。蜀人爭ひて其肉を食

柔兆閹茂

正、戊午。三、丁巳。五、丙辰。七、乙卯。十、甲申の朔。正、二日、雨水。十一、十日、冬至。○本志に、八、乙酉朔、食す、二分。甚、辰の初に在り。四月、庚戌、太白、積尸を犯す。入月癸卯、心の大星を犯す。辛亥、熒惑、上將

唐明宗 亶 天成元

魏王繼岌、王衍を送りて洛に詣る。○李繼麟、伶官の求に應ずる能はず。伶官、其の反せんと欲すると譖す。繼麟、入朝し、以て自ら明かにす。○繼岌、郭崇韜を殺す。○李崧、矯りて敕書を爲り、以て衆を安んず。○帝、嚴旭の歌を賞し、蓬州に還るを許す。○契丹主、女眞・勃海を撃ち、使を遣はして好を修む。○官官、又、睦王存乂を譖す。幽して之を殺す。○伶官、朱友謙を譖す。其族を滅ぼす。○張氏、婢僕を別ち、濫死せしめず。○友謙の舊將七人を族す。○李嗣源、危殆なること數四。○李紹宏、之を保佑す。○魏王繼岌、成都を發す。李

魏王、繼曮を遣はし王衍を送りて洛に詣らしむ。鳳翔に至る。監軍柴重厚、之を拒ぎ、入朝せしむ。○繼曮、華州に至り、洛陽の亂を聞き、復た鳳翔に還る。明宗、之が爲

寶正 元

鏐、疾を力めて吳の使を見る。○私に改元す。既にして之を諱む。

尚書令を加ふ。

孫光憲、楚を攻むるを諫む。○季興、夔忠萬の三州を求む。明宗、之を許す。

六

徐知誥、侍中と爲り、嚴可求、相と爲る。

閩惠王 鏻

陳本を斬る。○唐主、延翰に命じて節度使と爲す。○延翰に平章事を加ふ。○延翰、驕淫殘暴にして、自ら閩王と稱し、百官を置き、天子に擬す。

蜀高祖 知祥

知祥、成都に至る。去留帖然たり。○李仁罕等を遣はして、任圜と共に李紹琛を討ち、之を擒にす。○知祥、廉吏を用ひ、賦斂を寛にし、羣盜を

ふ。○唐、孟知祥を以て西川に鎭せしむ。

二

四月より以後は卷第二百七十五

を犯し、九月庚午、右執法を犯し、己卯、左執法を犯し、十月戊子、上相を犯し、十二月戊戌、氐を犯す。

紹琛に命じて後軍に將たらしむ。○皇甫暉、亂を貝州に作し、趙在禮を奉じて帥と爲し、南して鄴都に趣く。○孫鐸、城に乘りて逆へ戰はんと請ふ。史彥瓊、許さず。賊至る。彥瓊、衆潰え、洛陽に奔る。○賊、鄴都を陷る。王正言、知らず。既にして趙在禮に拜謁す。○帝、李紹榮を遣はし、三千人を將ゐて招撫せしむ。○李紹琛、朱友謙誅せらると聞き、劍州より、衆を擁して反り、西のかた成都に趣く。○魏王繼岌、任圜をして紹琛を追討せしむ。○趙太、邢州に據りて亂を作す。李紹眞に詔して之を討たしむ。○李紹榮、敕を以て鄴都に諭す。趙在禮、降らんと欲す。史彥瓊、之を罵る。皇甫暉、敕を壞る。帝命じて、城に克たば噍類を遺す勿らしむ。紹榮、退きて澶州を保つ。○從馬直王溫、亂を作す。之を斬る。○帝、郭從謙に戲る。親軍、皆、自ら安んぜず。○紹榮、再び鄴都を攻め、克たず。

めに重厚を誅す。○繼曮に名を從曮と賜ふ。

○延翰、兄弟を蔑弃す。養兄延稟・弟延鈎、兵を合はせて福州を襲ふ。延稟先づ至り、延翰を殺し、門を開きて延鈎を納れ、推して留後と爲す。

誅す。蜀中遂に安し。○知祥に侍中を加ふ。○知祥、蜀の兵を增し七萬五千人に至る。○唐の趙季良來り、制置轉運使と爲る。知祥、其庫物を與へて其租賦を留む。○安重誨、知祥・董璋の地險にして兵彊きを以て、之を圖らんと欲

○詔して繼岌の兵を趣す。繼岌、利州に留まり、未だ還るを得ず。
○滄州の軍亂る。王景戡、留後と稱す。
○帝、親征せんと欲す。大臣諫止し、共に李嗣源を薦む。帝久しくして乃ち之を許し、親軍を將ゐて鄴都を攻めしむ。
○絳銀軍亂る。
○李延厚、二千の兵に將たり、七百を選びて以て行く。
○任圜大に李紹琛を破る。紹琛、漢州に入りて城守す。
○李紹眞、邢州に克ち、趙太を擒にす。
○張破敗、亂を作し、李嗣源に逼りて鄴都に入らしむ。皇甫暉、拒ぎ擊つ。破敗、之を斬る。
○嗣源、趙在禮に說き、出でて兵を收め、魏縣に宿す。
○任圜、攻めて漢川を拔き、李紹琛を擒にす。
○魏王繼岌、炭始めて兵を引きて東す。
○李紹榮、兵を引きて退く。
○李嗣源、眞定に歸らんと欲す。李紹眞・安重誨以爲へらく、南して京師に歸るに如かずと。乃ち兵を引きて相州に趣く。
○苻習、青州に歸る。楊希望、

之を拒ぐ。王公儼、希望を殺す。
○諸道多く監軍を殺す。豫め夏秋の稅を借る。
○張全義卒す。
○劉后謂ふ、命、既に天に在り。人、我を如何せんと。又、粧具・皇子を齎ぎて以て軍を贍さんと請ふ。
○李紹榮退きて衞州に屯し、李嗣源叛くと奏す。嗣源、連章して自ら理す。帝、其子繼璟を遣はして意を諭さしむ。紹榮、之を囚へ、奏章、通ずるを得ず。嗣源疑ひ懼る。
○石敬瑭、嗣源に勸む、先づ大梁に據れと。嗣源乃ち安重誨をして兵を召さしむ。
○王建立、眞定の監軍を殺し、嗣源の家を全くす。
○李從珂、橫水より嗣源に赴く。
○帝、諸軍に金帛を賜ふ。皆曰はく、妻子殍死す。此を得るも何をか爲さんと。
○李紹榮來り、帝に東巡せんことを勸む。
○詔して王衍を誅す。張居翰、一字を措り、千餘人を活かす。
○李繼璟、亡逸するを肯ぜず。帝、嗣源に詣らしむ。紹榮、之を殺す。
○嗣源、白皐より河を濟る。
○孔循、汴州に知たり、西北

する無きを得んやと。憲曰はく、豈に生を偸みて愧ぢざる可けんやと。○李彦超、憲と、李存沼を殺さんことを謀る。憲曰はく、寧ろ義に徇ひて死せんと。○百官、嗣源に國を監せんことを請ふ。之を許し、入りて興聖宮に居る。老宮人を擇びて職掌に備へ、餘は適く所に任す。○安重誨・張延朗、樞密と爲る。

○重誨、滑に通王存確・雅王存紀を殺す。嗣源、之を恨む。○申王存渥、鳳谷に死し、永王存霸、晉陽に死す。晉陽に尼と爲る。嗣源、劉后を殺す。○元行欽を誅す。○孔循、樞密と爲る。○○○孔謙を誅す。○租庸使を罷め、宰相をして三司を領せしむ。○監軍を罷め、盡く宦者を誅す。

○魏王繼岌、武功に至る。李從襲、亟かに東して內難を救はんと請ふ。渭南に至り、腹心は叛き散ず。從襲曰はく、王宜しく自ら圖るべしと。乃ち李環に命じて縊死せしむ。○李沖、史彦鎔を逐ひ、李存敬が族す。

兩つながら迎ふ。○石敬瑭、大梁に入る。西方鄴降る。○○李嗣源、姚彦溫の兵を奪ふ。○帝、萬勝に至り、嗣源已に大梁に據り・諸軍叛き散ずるを聞き、命じて師を旋さしむ。還りて汜水に至り、萬餘人を失ふ。○軍士謂ふ、帝の賜已に晩し。人、恩を感ぜずと。○張容哥、河に赴く。○○李紹榮等、髮を祝ちて死を誓ふ。○○李嗣源、西上す。○宰相・樞密、上に汜水を控せんことを請ふ。○帝、流反し、興門を攻む。帝、將に發せんとす。郭從謙矢に中りて殂す。善友、樂器を焚く。○朱守殷、北邙に憩ひ、宮人を敛めて之を焚く。○李嗣源、洛陽に入り、私第に止まり、莊宗の爐骨を拾ひて之を殯す。○嗣源謂ふ、侯益、臣と爲りて節を盡す、何の罪有らんと。○朱守殷に謂ふ、善く巡徼して以て王を待てと。○○○盧革等、勸進す。受けず。○○○張昭遠、張憲に謂ふ、勸進を誅す。

○李紹眞、擅に溫韜・段凝を收む。○韜・凝、放たれて田里に歸る。○紹眞・孔循、國號を改めんと欲す。嗣源曰はく、武皇の基業は、則ち吾の基業なりと。○李琪曰はく、若し國號を改めば、則ち先帝遂に路人と爲らんと。○明宗、斬衰を服し、柩前に位に卽く。○張憲を殺す。○任圜、蜀の兵を將ゐて洛に至る。○赦し、改元す。○後宮百人・宦官三十人を量留す。○貢獻を省き、租稅を薄くす。○○○○鄭珏・任圜、相と爲る。○○○○霍彥威等、舊の姓名に復す。○○○○初めて百官をして五日ごとに起居せしむ。○在禮を徙して滑州に鎭せしむ。○端明殿學士を置く。○○汴州の軍亂る。李彥饒、討ちて之を平ぐ。孔循に詔して、亂者三千家を誅せしむ。○救して二名は、連稱するに非ざれば、避けざらしむ。○安重誨、馬延を斬る。仍りて詔を下す。于可洪を誅す。

○初めて百官をして轉對せしむ。○契丹主、勃海を攻め、夫餘城を拔き、其の子突欲を以て東丹王と爲す。○韓坤謂ふ、天皇王は豈に强ひて之を取らんやと。○契丹主、莊宗を以て戒と爲す。○○莊宗を葬る。○○豆盧革・韋說、官を貶せらる。○契丹主、夫餘城に卒す。述律后、諸將及び酋長を殺す。○王公儼、青州に據り、荷習を徙して青州に鎭せしめ、公儼を擒にし、之を斬る。○李穀、韓熙載に謂ふ、若し中國、吾を相とせば、吳を取らんことを。○契丹の述律后、中子德光を立てて嗣と爲す。○初めて百官に冬服を賜ふ。○毛璋、詔を奉ぜざらんと欲す。邊蔚、之に說く。乃ち代を受く。○契丹の盧文進、衆十餘萬を帥ゐて來奔す。○朱朥綾軸錢を罷む。長興の後、歲ごとに告身を賜ふこと萬を以て數ふ。○皇子從榮、天雄に鎭す。

○趙季良、蜀の金帛十億を運びて洛に入る。

强圉大淵獻	二	正、癸丑。 二、壬午。 四、辛巳。 六、庚辰。 八、己卯。 十一、戊申。 一の朔。二十日、冬至。 ○本志に、八月己卯朔、食す。正月甲戌、熒惑・歲相犯す。二月辛卯、熒惑、鍵閉を犯し、三月辛丑、上相を犯す。九月壬子、歲、房を犯す。
	二	帝、名を寘と更む。 ○安重誨謂ふ、孔循は典故を諳んじ、人物を知ると。其言を聽く。 ○相を立つるを議す。任圜は李琪を用ひんと欲し、循は崔協を用ひんと欲す。 ○循謂ふ、協、暴に死せば、則ち已まん。死せずんば會ず須く之を相とすべしと。 ○馮道・崔協、相と爲る。 ○初めて旬問す。 ○從厚、河南に尹たり、六軍に判たり。 ○契丹の趙思溫は、語を達するを以て、后行かば、吾則ち之に繼がんと曰ひ、后行かずして卽ち還る。 ○烏震は溫に代りて副招討と爲し、房知溫に屯せしむ。 ○郭從謙を以て景州の刺史と爲す。 ○尋ぎて之を族す。兵を將ゐて高季興等に討たしむ。 ○劉訓等に詔して、兵を將ゐて鄧州の都監を置く。 ○初めて房知溫を誘ひて鄧に至り、既にして安審通と共に震を殺す。ついで烏震を討ちて之を誅す。 ○李仁矩を遣はして孟知祥を
	二	置く。 ○唐に會して荊南を攻めしめ、岳州を屯す。 ○唐に封冊す。 ○唐王、宮を立てて殿と爲す。
		○西方の夔、萬、忠、鄧の三州を取る。
乾貞元		曰はく、 ○敕して改元し、 ○徐知誥に詔して代へしむ。 ○徐知誥、烏震を殺す。 ○安重誨、任圜を殺す。趙鳳、罪して之を責む。 ○帝、大梁に至る。城降る。 ○守殷自殺す。 ○遺員二百萬緡を免す。 ○張鈞誣ふ、將佐、反を謀ると。 ○安重誨、吳を伐たんと議す。帝、許さず。

七月より以後は卷第二百七十六

○安諭せしむ。
○盧臺の亂兵九指揮三千五百家萬餘人を誅す。
○房知溫に兼侍中を加ふ。
○瓊華公主を遣りて蜀に歸らしむ。
○荊南久しく雨ふり、疾疫し、糧、屬かず。劉訓を召して還らしむ。
○任圜、安重誨と、館券を爭ひ、辭色俱に厲し。太子を立てんことを請ふ。
○任圜罷む。
○張延朗、三司に判たり。
○西方鄴、夔忠萬州を取る。
○豆盧革・韋說に死を賜ふ。
○從榮の左右、儒生に接するを忌れと勸む。帝、之を斬らんと欲す。
○李彥超、姓を符に復す。
○帝、汴州に如く。
○朱守殷疑ひ懼れて反す。
○范延光、急に徂きて之を擊つ。

○に附く。
○西、鄴、萬、夔の三州を取る。

著雍困敦

二、丁丑。四、丙子。五、乙巳。六、甲戌。八、癸酉。十、壬寅の朔。閏八。九、一日、霜降。十一月。二日、冬至。○本志に、二月丁丑朔、食す。十二月乙卯望、五鼓、食す。正月

三

毛璋、驕僭す。○契丹、平州を陷る。○上、鄴都に幸せんと欲す。軍士、悅ばずして罷む。○安重誨、吳の使を受けず、之と絕つ。○張筠、長安に至る。守兵、之を拒ぐ。遂に入朝す。○西方鄴、歸州を取る。荊南復た之を取る。○孔循、安重誨が皇子と昏するを諫め、而して自ら女を以て從厚に妻はす。重誨怒り、循を出して許州に鎭せしむ。○安重誨謂ふ、華溫琪は、惟だ樞密のみ代る可しと。上曰はく、可なりと。○重誨、王建立と、互に相短る。上、重誨を怒り、之を出

○帝、周玄豹を召さんと欲す。趙鳳謂ふ、古より、術士妄言し、多く人の族を滅ぼす。宜しく京師に置くべからずと。○四親廟を應州に立て、諡號を追尊す。

三

鏐、諸子をして功を論ぜしめ、嗣を定め、乃ち兩鎭を以て傳瓘に授く。

殷、岳州に如く。○袁詮等、荊南を劉郎洑に敗る。○王環謂ふ、荊南は中朝に接す。吳蜀は之を留めて吾が扞蔽と爲さんと。○環自ら戰傷

楚と戰ひ、劉郎洑に敗る。○吳、季興を以て秦王と爲す。○楚の許德勳入寇し、從子從嗣を擒にす。○楚の兵を白田に敗る。○季興卒す。

二

使を遣はして唐に入る。唐、受けず。遂に絕つ。○苗璘・王彥章を遣はして楚の岳州を攻め、道人磯に敗れ、楚に擒にせらる。楚人復た

王太后を尊ぶ。○徐知詢を以て諸道副都統と爲し、知誥を都督中外諸軍事と爲す。

唐、延鈞を以て閩王と爲す。○民二萬を度して僧と爲す。

知祥、董璋と、鹽利を爭ふ。○毛重威、夔州に屯す。知祥召し、擅に歸らしむ。明宗、罪する能はず。

大有 元

楚、封州を圍む。○赦し、改元す。○蘇章、楚を賀江に敗る。

壬申、太白・熒惑、奎に合す。閏月癸卯、熒惑、上將を犯す。庚戌、太白、右執法を犯す。乙卯、熒惑、右執法を犯す。九月庚辰、塡・歲、眞に合す。辛巳、太白・熒惑、軫に合す。十一月乙未、太白、塡を犯す。十一月壬寅、熒惑、房を犯す。太白・歲、斗に相犯す。

さんと欲す。朱弘昭、之を解きて止む。○鄭珏、致仕す。○王建立、相と爲る。○王都、易定に據り、陰に藩鎭に結び、命を拒まんと謀る。王晏球等に詔して之を討たしむ。○奚酋禿餒、都を救ひ、定州に突入す。晏球退きて曲陽を保つ。都、禿餒と與に、就きて之を攻む。晏球、之を嘉山に敗る。○晏球、行府を立て、三州の租を食みて之を守る。○趙敬怡、樞密使と爲る。○契丹、定州を救ふ。晏球、之を望都に邀ふ。契丹、宅道より定州に入り、王都と與に、朱建封を新樂に殺し、遂に晏球を曲陽に擊つ。晏球、大に之を破る。契丹、北に走る。○朱弘昭等、急に定州を攻めんと欲し、將士三千人を殺傷す。○王衍を葬る。○孔循、麴を犯す者を族す。○初めて民に麴を造るを聽し、畝率五錢。○契丹の惕隱、定州を救ふ。○王晏球、之を唐河に破る。○趙德鈞、惕隱を邀へ擊ち、之を擒にす。契丹の歸るを得る者、數十人に過ぎず。數年、

者を傳治す。○兵を遣はして漢を擊ち、封州を圍み、賀江に敗る。○吳の苗璘・王彥章、岳州を攻む。許德勳、之を道人磯に敗り、二將を擒にす。○二將を吳に歸す。○許德勳謂ふ、衆駒、皁棧を爭ふ。乃ち圖る可きなりと。○德勳、荊南を

子從誨立つ。

之を歸す。○赦す。○王太后殂す。

敢て邊を窺はず。○王都、李繼陶を堞間に坐せしむ。晏球曰はく、汝に二策を教へん。戰ふと降るとのみと。○王建立、字を識らず。三司を罷めんことを請ふ。○帝、惕隱を留め、以て邊患を紓くす。○張希崇、契丹の將を殺し、平州を以て來降す。○溫韜・段凝を誅す。○房知溫に命じて荊南を討たしむ。○竇延琬、慶州に據り、命を拒む。李敬周に命じて之を討たしむ。○王晏球、定州城を指して使者に示して曰はく、民を愛し兵を養ひて以て自ら潰ゆるを俟つに若かずと。○景宗の廟を曹州に立つ。○王雅、歸州を取る。○王建立、青州に鎭す。○上謂ふ、三人倶に鐵券を受け、獨り朕のみ僅に族滅を脫ると。○李敬周、慶州を拔く。○張昭遠、宜しく師傅を選びて皇子を教ふべきこと、及び之を待つこと、嫡庶、異なる有るべきことを言ふ。○楊思權、從榮に教へて兵を募らしむ。

攻め、高從嗣を擒にす。○荊南と白田に戰ひ、敗る。

屠維赤奮若

二、辛丑。四、庚子。五、己巳。六、戊戌。八、丁酉。十、丙申の朔。十一、十四日、冬至。○本志に、六月癸丑望、食既し、虛の二度に在り。十二月庚戌望、食既す。二月辛酉、熒惑・塡・斗に合す。三月壬辰、歳、井を犯す。九月丙子、熒惑、哭星に入る。

四

馮贇、執政に語るに從榮の輕易なるを以てす。○王晏球、定州を拔く。王都自ら焚く。禿餒を擒にす。○趙敬怡卒す。○崔協卒す。○帝、洛陽に還る。○從璨、戯れに御榻に登る。○安重誨、奏して之を誅す。○初めて場を置き、党項の馬を市ふ。○從榮、六軍に判たり。○趙鳳、相と爲る。○昭宣帝に追謚し、廟號を去る。○復た鄴都を以て魏州と爲す。○馮道、論ふるに轡を執るを以てし、田家の詩を誦す。○三銓を併す。○康福、胡語にて事を奏す。安重誨、以て朔方節度使と爲す。福辭す。上曰はく、重誨、肯ぜずと。○福、吐蕃の野利・大蟲の二族を破る。朔方始めて代を受く。

四

韓玫奏す、烏昭遘、鏐を見、拜舞して臣と稱すと。安重誨、昭遘を誅し、鏐を以て太師致仕と爲す。

希聲に命じて政事に知たらしめ、先づ行ひ後に聞せしむ。○銅錢一、錫錢百に直る。○王環、荊南の兵を石首に敗る。○莊宗、高季興、高郁を離間す。○希聲、殷の命を嬌め、郁を殺す。殷、哭して曰はく、吾何ぞ久しく此に居る可けんやと。

南平文獻王 從誨

楚、荊南の兵を石首に破る。○從誨、復た唐に附く。○唐、從誨を以て荊南節度使兼侍中と爲す。

大和元

徐知詢、擅に李簡の親兵二千を留む。○知詢、知誥と權を爭ふ。○周宗、周延望をして知詢に諷して入朝せしむ。留まりて統軍と爲る。知誥始めて吳の政を專らにす。○延望、反罪するを以て死す。○大赦し、改

王延稟、建州を以て子繼雄に授く。

李仁矩、來り、南郊を助くる錢を求む。○仁矩、董璋に儆る。璋、之を斬らんと欲す。○璋、閬州の戍兵を留む。○知祥謂ふ、吾が弟法を犯すも、亦貸す可からずと。○朝延、西川に命じて峽路に餉せしむ。知祥、從はず。○安重

二

卷の第二十八

上章攝提格　二、乙未。四、甲午。六、癸巳。七、壬戌。九、辛酉。十一、庚申。二十の朔。冬至。五日、本志に、六月癸巳の朔、食す。乙卯、太白、天鰌を犯す。十二月壬戌、熒惑、氐を犯し、十一月丙辰、天江を犯す。

唐明宗長興元　郭在徽、當五千の錢を鑄んと欲す。朝廷、其の虛を指して實と爲すを以て、之を謫す。○圓丘に祀り、赦し、改元す。○康福、李匡賓を討ち、之を斬る。安義軍を以て昭義と○爲す。復た○曹淑妃、后の位を以て○王德妃に讓る。德妃、受けず。○曹后を立つ。○○安重誨、錦地衣を造るを諫む。王德妃、是に由りて、重誨を怨み、之を譖毀す。楊玄溫を誘ひ、○重誨、河中に據りて李從珂を逐はしむ。○上、彦溫を面訊せんと欲す。重誨、急に之を擊たんと請ふ。○上、藥彦稠に謂ふ、必ず彦溫を生致せよと。○索自通、河中を拔き、

秦王　從曦、入朝し、郊祀に陪し、因りて宣武に徙る。

吳越武肅王寶正五　鏐、附表して咎を引く。

楚武穆王　殷、病に寢れ、位を希聲に傳へんことを請ふ。其の朝に延、已に死せるを疑ひ、希聲を授けて節に安武度使に起復し○殷を遣して卒を弔す。○兄弟が相繼いで喪に罹るを命じ、祠堂に黃眞を損く。

南平文獻王　使を遣はして江都王璉を立てて太子と爲す。○荊南、絕を告ぐ。之を擊ち、○王を拘へ、宣徽を殺陳し、唐に奔る。

吳睿皇帝大和二　○高酒を酒を飲む。○元申、漸す。

閩惠宗

蜀高祖董璋、十　○趙季良に檄を劍門に築く。○謂ふ、璋、貪殘にして勝を好み、志大にして謀を短にみ、必ず西川の患を爲さんと。○或ひと李仁罕に反すと告ぐ。知祥、左右を屏けて其の第に詣る。知祥、上表して璋を詬る。○璋、祥を恐るる情と、人を遣はして言ふ、慶と。○璋、武を囚へ、虔裕を

南漢高祖天皇大帝大有三　梁克貞、交州等を拔き、曲承美を執へて以て歸り、李進を守る。○克貞、城に入る。○占ら

卷第二百七十七

彥溫を斬り、首を傳ふ。○上、從珂を黜けて、私第に居らしむ。重誨、屢〻之を罪せんと請ふ。上、許さず。○上、尊號を加ふ。○赦す、防禦使以下、須く朝廷、人を除すべしと。○或ひと告ぐ、安重誨、兵を蓄へ、反を謀ると。安從進・藥玄稠、宗族を以て之を保す。○張延朗、三司使と爲る。○吳王傳拯、來奔す。○秦王從榮・宋王從厚を立つ。○董光業、荀咸乂の兵を止めんと請ふ。○利遂閬奏す、兩川反すと。上曰はく、吾、人に負かず。人、我に負かば則ち之を討たんと。○董璋・孟知祥反し、閬遂州を攻む。○馮道謂ふ、諸公果して安く命を愛せば、其樞務を解くを便と爲すと。○董璋、閬州を陷れ、李仁矩を殺す。○姚洪、璋を罵りて死す。○范延光、樞密と爲る。○石敬瑭に命じて董璋を討たしむ。○董光業を誅す。

兵を遣はして四境を守らず。○希聲、位を襲ぎ、建國の制を去る。○唐、希聲を以て武安靜江節度使兼中書令と爲す。

す。

ふ。○璋、民兵を閲集す。○璋、兵を遣はして遂閬の鎮戍を圍む。○趙季良請ふ、先づ遂閬を取り、力を併せて劍門を守らんと。○璋、閬州を攻む。○知祥、李仁罕等を遣はして遂州を攻めしむ。○璋、閬州を陷る。○唐、石敬瑭に命じて兩川を討たしむ。○夏魯

○璋、微合巴蓬果の五州を陷る。○王弘贇・馮暉、襲ひて劍門に據る。○又、劍州に入る。大軍、繼がず。還りて劍門を保つ。○龐福誠、劍州に據る。○朱偓、劍南・涪州を陷る。○契丹の東丹王突欲、來奔す。○石敬瑭、劍州に至り、李肇に敗られ、還りて劍門を保つ。○夔州、復た歸州を取る。○石敬瑭、蜀を征し、未だ功有らず。關右、饋運に疲る。安重誨、自ら往きて戰を督せんと請ふ。西方の藩鎮、皆、懼る。敬瑭、本、蜀を征するを欲せず、累表して之を論ず。

奇、城に嬰りて自ら守る。○康文通降る。○璋、利州に趣き、糧少く、還りて閬州を保つ。知祥驚く。○知祥、張武に命じ、水軍を以て夔州に趣かしむ。○璋、微合巴蓬果の五州を破る。○張武、渝瀘州を陷る。王弘贇等、襲ひて劍門に據る。知祥、李肇等を遣はして劍州に據らしむ。○龐福誠

重光 單閼

二、己丑。五、戊午。六、丁巳。七、丙戌。九、乙酉。十一、甲申朔。六日、冬至。閏五。

唐明宗長興二

李仁罕、遂州を陷る。夏魯奇自殺す。○朱弘昭、安重誨に事へて恭を盡し、退きて其の怨望するを奏す。又、石敬瑭をして之を拒がしむ。上、重誨を召して還らしむ。○敬瑭、糧運繼がざるを以て、營を燒きて遁る。○重誨、三泉に至りて還る。

吳越 武肅王 寶正六

唐、鏐の官爵を復して云ふ、

楚王 希聲

希聲、喪に居りて雞を食ふ。潘起、之を阮籍に比す。

南平 文獻王

唐、誨に中書令を加ふ。

吳 睿皇 大和三

徐知誥、宋齊丘を以て相と爲さんと欲す。齊丘、九華山に入り、隱居せんことを求む。

王延稟及び子繼雄、福州を襲ふ。延鈞、王仁達をして之を拒がしむ。繼雄を殺し、

李仁罕、遂州を陷る。○石敬瑭謂ふ、知祥必ず夏魯奇を葬らんと。○敬瑭、劒門を弃てて北に遁る。○趙季良、敬瑭が必ず遁れんこと

等、先づ劒州に入り、擊ちて唐の兵を卻く。○知祥、之を聞きて喜び、曰はく、吾が事濟ると。○朱偓、黔南・涪州を陷る。○李肇、石敬瑭を劒州に敗る。

四

楊延藝、兵を起し、交州を攻め陷れ、李進を逐ひ、程寶を破り殺す。

○本志に、十一月甲申朔、食す。正月乙亥、太白、羽林を犯す。四月、甲寅、熒惑、羽林を犯す。八月、丁巳、辰、端門を犯す。十一月、丙戌、太白、鍵閉を犯す。

朱弘昭、門を閉ぢて之を拒ぐ。○兩川の兵、利州を陷る。○安重誨を以て河中に鎭せしむ。○趙鳳曰はく、重誨は終に主に叛かじと。○李仁罕、忠萬州・雲安監を陷る。○突欲に姓名を賜ひて東丹慕華と曰ふ。○仁罕、夔州を陷る。安崇阮走る。○李從珂を以て大將軍と爲す。○孔循卒す。○李愚、相と爲る。○王淑妃を立つ。○趙延壽、樞密使と爲る。○麴錢を罷む。○王淑妃・孟漢瓊、事を用ひ、索すること度無し。○安重誨、致仕す。二子、河中に奔る。重誨、執へて之を送る。○藥彥稠、兵を將ゐて河中に趣く。○翟光鄴を遣はして、重誨の爲す所を察せしむ。遂に李從璋と與に之を檛殺す。○田稅を均しくす。○更に東丹慕華に姓名を賜ひて李贊華と曰ふ。○鷹隼を解縱す。武皇が獸を逐ふを以て戒と爲す。○李進唐、通州を復す。

歸者、安重誨、制を矯めしなりと。

○徐知諫卒す。徐知詢を以て洪州に鎭せしむ。○知誥出でて金陵に鎭し、子景通をして朝政を執らしめ、王令謀・宋齊丘を以て相と爲し、之を佐けしむ。○張崇、貪暴にして、厚く權要に賂ひ、盧州の患と爲ること二十年。

延稟を擒にす。建州の人、王繼昇を奉じて吳越に奔る。○延稟を誅す。○延鈞、陳守元等を信じ、神仙を求め、寶皇宮を作る。○守元、延鈞に謂ふ、位を避け、籙を受けば、天子たること六十年ならんと。

を料る。○趙延隱、利州を陷る。○延隱、董璋が營に至るに因りて之を殺さんと欲す。知祥、許さず。○知祥、李仁罕をして峽路を取らしむ。○忠萬州・雲安監・夔州を陷る。○趙延隱、興元・秦鳳を取らんと請ふ。知祥、許さず。○唐、蘇愿等を遣はして、兩川に諭すに、安重誨擅に兵を興し、今已に辜に伏するを以てす。○知祥、董璋と同じく罪を謝せんと

		○初めて鐵禁を罷め、民をして農器錢を納れしむ。
玄黓執徐	三	藥彥稠・康福、党項を討つ。○○初めて九經を彫印す。○藥彥稠等、党項を破る。○○契丹、茵刺を請ふ。楊檀以爲へらく、之を歸さば、必ず邊患を爲さんと。○李贊華を以て滑州に鎭せしむ。○党項、皆、降る。○○○上、茵茵を契丹に歸す。十一月十六日、冬至。○本志に、董璋を殺し、東川を併す。○○孟知祥、范延光を遣はして之を撫せしむ。陛下、忘を屈して自ら新にするには由則ち知祥、上曰はく、何の意を以て吾の故人なり、有らんと。李存璨に命じて之を撫諭せしむ。○李從珂、鳳翔に鎭す。
		鏐病み、將に立つる所を詢はんとす。○鏐卒す。○又戒む、姓を易ふるを以てなり。○仁章、謂ふ、先王、位に在れば、令公に事ふるを知らずと。○傳瓘、名を元更と改め、國を去り藩鎭の法を用ふ。○擇能を置き、沈崇に命じて選擧の最なるを掌らしむ。○諸將、陸仁章・杞仁章・劉陸を誅せんと請ふ。○瓘を扶けて異に就かしむ。○仁章、瓘の事を知らざるを以て大に事ふるに足らざるを論ず。○秦王、驕縱なり、范延光・趙延壽、皆之を畏る。石敬瑭、外補せられんことを求む。○孟鵠、忠武に鎭す。上、不可なるを知れども、易ふる能はず。○馮贇、宣徽使・判三司と爲る。○石敬瑭、河東に鎭す。○張敬達、兵を衆めて要害を守る。○契丹、敢て南下せず。○張彥超、蔚州を以て契丹に附く。○敬瑭、劉知遠を以て腹心と爲す。
		希聲卒す。○弟立つ。○希範立つ。○唐、希範を以て武安に鎭せしめ、兼侍中とす。
		二月、唐、冏勃海王を賜ふ。
	四	知誥、禮賢院を以て士大夫を延く。○金陵に城を周二十里。○知誥、德勝を加へ領
		延鈞、位に復す。○陳守元、延鈞に謂ふ、六年の大主、後十年の小主と爲らんと。○吳越王鈞、書を唐に尙ぶ。○羅紹威を求むるを得ずして遂に絕つ。
		福慶公主卒す。
	五	子耀・樞等を立てて王と爲す。
		七月より以後は卷第二百七十八

	犯す。
	○趙鳳、邢州に鎭す。○趙德鈞、良鄕・潞・三河に城き、以て契丹を禦ぐ。經義を習ひ、詩を爲る勿れと。○契丹、秦王を戒む、經義を習ひ、詩を爲る勿れと。○契丹、捺剌泊に屯す。○○上、李金全の馬を受けず。○○上、治を爲すこと何如と。曰はく、五つの懼るるに足らざると六つの畏る可きとを論ず。○秦王、驕縱なり、范延光・趙延壽、皆之を畏る。石敬瑭、外補せられんことを求む。○孟鵠、忠武に鎭す。上、不可なるを知れども、易ふる能はず。○馮贇、宣徽使・判三司と爲る。○石敬瑭、河東に鎭す。○張敬達、兵を衆めて要害を守る。○契丹、敢て南下せず。○張彥超、蔚州を以て契丹に附く。○敬瑭、劉知遠を以て腹心と爲す。
	璀を扶けて異に就かしむ。○仁章、瓘の事を知らざるを以て大に事ふるに足らざるを論ず。○秦王、驕縱なり、范延光・趙延壽、皆之を畏る。石敬瑭、外補せられんことを求む。○孟鵠、忠武に鎭す。上、不可なるを知れども、易ふる能はず。○馮贇、宣徽使・判三司と爲る。○石敬瑭、河東に鎭す。○張敬達、兵を衆めて要害を守る。○契丹、敢て南下せず。○張彥超、蔚州を以て契丹に附く。○敬瑭、劉知遠を以て腹心と爲す。
	○章、成都を襲はんとするは、謀る。王暉も從はんことを求むるは、諫むるなり。○趙季良謂ふ、章は暴人なり、心を失へば、野克く城守せば、戰ひ必ず成らん。○又謂ふ、巢穴を守らざるを以てなり。○李昊謂ふ、章と同じく上表せば、則ち約に負くこと我に在りと。○又謂ふ、墳墓を顧みば、則ち梁洋を取るに若かずと。安んぞ壁を用ひんと。○又謂ふ、東川を宜しく備ふべしと。
	○趙延隱、必ず公の爲めにせんとは、知祥、延隱を遣はして章を拒がしむ。○延隱、璋

趙廷隱を侵す。○知祥、梓州に入る。○仁翠・延州を取る。○隱、梓州を争ふ。李昊、勧めて自らこれを領せしむ。○知祥、以て趙廷隱を閬州に鎮せしめ、自ら東川を領す。○唐、知祥の遣はしてきたるを存撫し、来りて朝せしむ。○知祥、拝して命を受く。泣くこと上表謝罪たるを復た然れと稱す。益も亦騎倨なり。○知祥、五鎮を表して己の爲さんと王と爲し

なを中元○睦諸間す○と歸臨○ふ。
加書璀唐す將はる告請ら安元。
ふ令に、。輯ず者訐ふんに璀、

の書を視す。○璋、赤水に仁潘を敗り、之を逐にす。擒に漢州に入る。○知祥自ら將として至る。牟に至ると雞。○璋、橋に戰ふ。璋に敗る。○復た漢州を取る。○知祥、追ひ赤水に至りて趙廷に還るに命じ、梓州を攻めしむ。○璋、還るを聞きて、之を以て梓王を殺し降る。○知祥、疾を有りて回す。空器を出す。○李仁翠、

昭陽大荒落　二、丁未。

四

劉昫、相と爲る。○涼州、孫超を帥と爲さんと請ふ。

吳越文穆王

楚文昭王　希範

五

宋齊丘、都を遷さんことを勸む。

龍啓元帝と稱

六

且つ節鉞を求めんと欲す。李昊曰はく、此くの如くせば、則ち輕重の權、貴下に在らん。自ら表するに若かじと。知祥、東兵三萬人を得、表して妻子を請ふ。○仁贊に命じて都軍を總轄せしむ。○詔して、知祥自ら節度使以下を除し、東川節度使・蜀王と爲す。

五、丙子。○李仁福卒す。子彝超、位を襲ぐ。七、乙亥。○朝廷、仁福が潛に契丹に通ずるを聞き、彝超を延州に徙し、安從進を以て夏州に鎭せしめ、藥files之を送らしむ。九、甲戌。○本志に、九月辛巳、右僕射を以て太白、右執法を犯す。十一、癸酉の朔。○李彝超、軍民の留むる所と爲る。○李彝超、軍民の留むる所と爲る。○執政、秦王をして自ら師傅を擇ばしむ。○劉瞻、王の傅と爲り、規諷を以て疎んぜらる。○李彝超、代を受けず。○官軍、蘆關より、退きて金明を保つ。○從珂等を立てて王と爲す。○○○諸上軍、暴に疾む。○○○上、軍、党項を破る。○山野に潛竄す。○旬日、田でず。都人、○安從進、夏州を攻め、克たず。○李仁福、實は契丹に通ぜず。○夏州、是より、還る。○夏州、流言に因りて朝廷を輕んず。○賞賚を加へ、大赦す。○賞賚す。○章號を用ふ。○何澤、上はくべしと請ふ。○太子を立てんことを賞賚す。○原に歸老すべしと。○秦王從榮、曰く、執政、吾が兵柄を奪ひて之を東宮に幽せんと欲す。乃ち天下兵馬大元帥を以て秦王に授く。從榮、益〻驕る。又、窘しむ。太子、當に太子を立てんことを請ふ。脫、當に太子を立てんことを請ふ。上、曰はく、脫、當に太子を立てんことを請ふ。

元璙　唐、元璙に爵して吳王と爲す。○元璙、兼中書令と爲す。○元璙に謂ふ、此れ兄の位なりと。○仰いで常服に衣冠を召す。

唐、希範を以て武安節度使・武平節度使と爲す。○希範、希瞻が先づ立つを以て、其の弟希旺を幽す。

○宮城を金陵に作る。○后を立つ。○徐知誥、水火の災を爲すを以て、妖を出だし、樂器を焚く。○閩の吳光、來りて兵を請ふ。○蔣延徽、光州に會して閩を圍む。

○知祥自ら冕服章轂を作り、王者に擬す。○知祥、唐の政を執るを以て、皆、小人なり。其の亂れんことを可とす。○唐、孟知祥を以て東西川節度使と爲す。

		閻逢敦牂　正、壬申。二、辛未。四、庚午。
	唐璐王從珂清泰元	閔帝、赦し、應順と改元す。○朱弘昭・馮贇、中書令を兼ぬ。○弘昭・贇、受けず。○璐王從珂を忌み、其子重吉を亳州に出し、女尼
	唐、元瓘を以て吳越王と爲す。	
	唐、希聲を以て楚王と爲す。	
	唐、從誨を以て南平王と爲す。	
六		徐知誥、遷吳の蔣延徽、閩の兵を浦に敗る。
二		
明德元	蜀王、帝位に卽く。○趙季良、相と爲る。○王處回、	
七	馬后殂す。○秦王弘度、六軍に	
二月より以		

臣を制せんと欲す。○朱弘昭・馮贇・孟漢瓊、康義誠を劫し、共に上に白して、從榮反すと云ひ、討ちて之を誅す。○上驚き悲み、再び絕えて蘇る。○漢瓊を遣はして、宋王從厚を○魏州より召さしむ。○馮道謂ふ、任贇・劉瞻・王居敭は皆罪無しと。○弘昭、悉く官を屬せんと欲す。贇之を力爭す。始めて流貶を得。○趙逢、從榮を諫むるを以て名を知らる。

○○○上殂す。位に卽く。○○○宋王至る。○○○宋司衣王氏に死を賜ふ。○弘昭、宋氏に令詢を忌み、閔帝の側に在らしめず。○上、治を致すの志有り、而も其要を知らず、寬柔にして斷少し。○李愚謂ふ、上、訪問すること吾が輩に及ばず。憂ふるに堪へたりと。

○元帥に除す。○節度使を以て元帥に見ゆるに軍禮の庭參を以てせしむ。○從榮、目を執政に側てて曰はく、吾、一旦、南面せば、必ず之を族せん、と。○范延光・趙延壽懼れ、各〻、出でて以て之を避けんことを求む。上怒る。二人、一り先づ出でんと請ふ。乃ち延壽を以て宣武に鎭せしめ、朱弘昭を以て樞密と爲す。○張文寶、杭州に使す。風、船を颺して吳に入る。資給を受けず。

○詔して、元帥は、宰相の上に位せしむ。○諸胡、馬を賣る。歲ごとに七を費す。初めて國用の什一に當つ。邊吏に令して馬を擇ばしめ、券を給して之を遣る。○范延光、出でて成德に鎭す。○馮贇を以て樞密と爲す。○康義誠、兩端を挾み、自ら全くせんことを雪ぐ。○○李彝超を加へ、上に勸む、群小の言○范延光、聽く勿れと。○上、疾甚だしし。從榮、帝已に死せりと疑ひ、自ら、衆の附つ所と爲らざるを知り、立つを得ざらんことを恐れ、牙兵を將ゐて宮に入りて以て權

繼圖、反して誅せらる。○黃太后を○尊ぶ。○薛文傑、吳に島して頭を痛めて以へ、盛んに對へて韜言ふ、北腦崩を○建寇州に徵す。○王閩仁智を○主、逢を忌之を殺す。

七、己亥。
九、戊戌。
十一、丁酉朔。閏正、二、一日、春分。十一、九日、冬至。
○○曹太后を尊ぶ。
○符登超の奴、安州に據る。李端、討ちて之を誅す。
○王淑妃を以て太妃と爲す。
○朱瑀、范延光を成德に、路を河東に、徙す。皆、制を降さず、使を遣はして監送せしむ。又、洋王従璋に命じて潞王に代りて鳳翔に鎭せしむ。王、禍を懼れ、命を拒まんと欲す。將佐、皆、之を勸む。惟だ馬胤孫、喪に臨みて鎭に赴かんことを請ふ。
○王、徽を鄭道に移し、朱瑀を以て名と爲す。
○王思同、其使を執へて以て聞す。
○思同等に命じて鳳翔を討たしむ。
○侯益、軍情の將に變ぜんとするを知り、辭して行かず。
○諸軍大に集まり、鳳翔を攻む。
○城、陷るに垂なんとす。潞王泣きて外軍に語る。聞く者、之を哀しむ。
○張虔釗、白刃を以て士卒を驅りて城に登らしむ。士卒怒りて反つて之を攻む。虔釗走りて免る。
○楊思權、諸軍を帥ゐて城に入りて降る。尹暉も亦之の如し。外軍潰え、思同等六節度、皆走る。
○思同、長安に至る。劉遂雍、之を拒ぐ。
○潞王、衆を整へて東す。
○劉遂雍、庫財を出し、軍士の前み至る者には、賞を給して過ぎしむ。
○帝、自ら潞王を迎へ位を以て之に讓らんと欲す。
○唐義誠、自ら將たらんことを求め、禁軍を以て迎へ降りて己の功と爲さんと欲す。
○軍士、賜物を負ひて揚言す、鳳翔に至り、更に一分を請はんと。

○李重吉を殺す。
○朱洪實、都城を守らんと欲す。康義誠、以爲へらく、反せんと欲すと。帝、洪實を斬る。
○潞王、王思同を獲、其忠義を嘉し、之を宥さんと欲す。楊思權等、其面を見るを愧ぢ、劉延朗と、謀りて之を殺す。
○朝廷の發する所の兵、西軍に遇へば則ち迎へ降り、一人の○安從進、京城巡檢と爲り、潛に潞王の書を受く。
○徐知誥、臨川王濛を和州に幽す。
○知誥、宋齊丘を召して金陵に還らしめ、判官と爲し、南閤に居らしむ。
○吳、知誥に大丞相・齊王・九錫を加ふ。受けず。
○知誥、子景通を召して金陵に還らしめ、副大使と爲し、景遷を以て政事に參し、江都に居らしむ。
○王建、宗、州を救ふ。士卒、道に薛文傑を請ひ之を食ふ。
○王建、州を圍む。克つに垂なんとして、知誥、其の善き臨川王濛と以て召し還す。閭人、之を追ひて之を敗る。
○周宗、以て遷都を便とせず、宋齊丘を召して諭知せしむ。
○吳王、周宗に讓位を禪らしむ。齊丘、以爲へらく、未だ可ならずと。宗、斬らんことを請ふ。是に由りて意に復た牴ふ。
○徐知誥、

○王建、樞密と爲る。
○唐の張虔釗・孫漢韶、梁洋を擧げて來降す。
○改元して大赦し、唐の散關以南を取る。
○又、階州を取る。
○張虔釗・孫漢韶、族を擧げて成る。
○都に詣りて文を成す。
○州を取るに及び、漢韶を以て雅州に鎭せしむ。興、張虔釗を讓る。
○元太子仁贇を立て、國を監せしむ。
○趙季良・李仁罕・王處回・張公鐸・遺を延隱し、侯弘實を受けて政を輔く。
○蜀主殂す。
○季良、處回に謂ふ。宜しく嗣君を速かに立つべし。但だ涕泣せんやと。季良、處回に教へて、仁罕に備へしむ。
○太子、名を祝と更めて、位に卽く。
○李仁罕、六軍に判たらんことを求む。
○李肇、杖に入り、朝し、扶けず。
○張公鐸等、仁罕を譖して云ふ、異志有りと。
○仁罕、誅に伏す。肇、杖を投じて

判たり、群小を狎昵す。
○楊洞潛ども諫むれど聽かず。病と稱して歸る。

○同州・河中先づ降る。康思立「陝を守らんと欲すれども、能はず。亦降る。○潞王、陝に留まり、書を移して洛陽の士庶に諭す。○康義誠、衆散じ、候騎に遇ひて降る。○帝、朱弘昭を召し、向ふ所を謀る。弘昭、井に赴きて死す。

○安從進、馮贇を殺す。○帝、孟漢瓊を召す。漢瓊、陝に奔る。○帝、魏州に奔る。皇甫遇、閻門、李愚、行かず。○太后に白さんと欲して歸る。○盧導「謂ふ、太后に稟せずんば、豈に遽に勤進を議するを得んや。○王、康義誠を責め、而して之を宥す。

○閔帝、衞州に至り、石敬瑭に遇ひ、興復を圖る。王弘贊言ふ、「將相侍衞府庫法物無し。以て功を成し難しと。沙守奎、敬瑭を刺さんと欲す。奔洪進自ら刎ぬ。劉知遠、盡く從騎を殺し、獨り帝を置きて去る。

○潞王、乾祿に至り、內諸司を遣りて還らしむ。○孟漢瓊を路陽に斬る。○張虔劍・孫漢韶、梁洋を擧げて蜀に附く。○百官、潞王を蔣橋に迎ふ。王、見ず。○王入りて太后・太妃に謁し、梓宮に哭し、答拜し、馮道等を讓むるに、勤進は謂はれ無きを以てす。○太后、令を下し、閔帝を廢して鄂王と爲し、潞王を以て軍國の事に卽かしめ、尋ぎて、帝位に卽かしむ。○帝、賞軍衰人ごとに百緡を許し、庫に五十萬緡を用ふべく、左藏の見物、三萬に過ぎず。乃ち民財を率し及び屋課を借ること五月。○帝、王繕をして閔帝を酖し孔妃及び四子を殺さしむ。○宋令詢、自經す。○劉遂清、興州を弃てて歸る。○關より以南、盡く蜀の有と爲る。

○改元し、赦す。○郝瓊、密に判たり、鳳翔の將佐、皆、要に近に居る。○康義誠を族す。○有司、急に民財を率す。民多く自經し、水に赴く。公家の物を幷せて、僅に二十萬緡に及ぶ。

○李專美謂ふ、「國の存亡は、專ら厚賞にあらず、亦、法度を修め綱紀を立つるに在りと。乃ち見財に據りて之に拜す。○文景琛、源州に據りて叛く。○李延厚、討ち之を平ぐ。○李肇、邛州に徙る。○文州唐、文州を圍む。○范延暉、之を却く。

旃蒙協洽	二	○○劉后を立つ。 ○牛知柔、邠州の兵と與に、河西の雜虜を討つ。 ○帝謂ふ、從璋・從敏は、何物ぞ雄藩に據ると。 ○劉昫、籍中の遺負三百三十八萬を免す。民悅び、而して吏、之を怨む。 ○○姚顗、相と爲る。 ○○索自通、洛水に投じて卒す。 ○帝驚きて官を贈す。 ○契丹、雲州に寇す。石敬瑭、百井に屯す。 ○楊檀、契丹を境上に破る。 ○○李愚・劉昫、三司を罷む。吏相賀す。 ○張延朗、蜀の文州を圍む。 ○克たず。 ○契丹引き去る。石敬瑭罷めて歸る。 ○○張延朗、相と爲る。 ○○鄂王を葬る。 秋冬旱し、民流亡す。
	元璀、性孝にして母に事へ、寵遇すること尊と而も官を遷し任使せず。	
協洽	正、丙申。 三、乙未。 五、甲午。 七、癸巳。 十、壬戌の	
	范延光出でて汴州に鎭す。 ○李彝超、卒す。兄彝殷代りて夏州に鎭す。 ○○魏太后が追尊す。 ○○趙延壽、樞密と爲る。 ○史在德、上章して文武を歷詆す。宰相・諫官、之を罪せん	
從誨、	梁震に兄事す。 ○孫光憲謂ふ、馬氏奢に章事を加へ、左右軍に知たらしむ。徐知訓、僭にして將にしてびん	
天祚元	徐景遷に平章事を加へ、左右軍に知たらしむ。徐知訓、僭にして將にしてびんを輔けし	
永和元	蜀楚恭八	
孝王	祝	
明德二	赦す。 ○李太后を尊ぶ。	

給す。楊思權・尹暉、纔に七十縗。士卒猶ほ怨望し、誹言を爲す。
○明宗を葬る。帝親しく陵所に宿す。
○韓昭胤・劉延朗、樞密と爲る。
○帝、素より石敬瑭と心競ふ。鳳翔の將佐、多く帝に之を留めんことを勸む。韓昭胤・李專美以爲へらく、宜しく猜忌すべからずと。帝乃ち復た敬瑭に命じて河東に鎭せしむ。
○○○○馮道出でて同州に鎭す。
○○○○范延光、樞密と爲る。
○○李從曮を以て鳳翔に鎭せしむ。
○房知溫、素より帝と隙有り。帝、位に卽くや、知溫懼れ、青州より入朝す。帝厚く之を遇す。
○○蜀、成州を取る。
○○子重美を以て六軍に判たらしむ。
○○文州、蜀に附く。
○○劉昫・李愚、忿爭し、事、凝滯多し。帝、之を患へ、相と可き者の名を琉璃缾に置き、夜、天を祝して之を挾む。
○○盧文紀、相と爲る。
○○帝、韓昭胤の言を用ひ、楚王馬希範の死を免す。

柔兆涒灘		正、辛卯。二、庚申。四、己未。六、戊午。
晉高祖 敬瑭 天福元	○蜀人、金州に寇す。馬全節、拒ぎて之を却く。○劉延朗、略を全節に求む。○○韓昭胤出でて河中に鎮す。○馮道、掃除を憚らず。	唐主、魏國公主に謂ふ、遽に歸るは、石郎と與に反せんと欲するかと。○○馬胤孫、相と爲る。○呂琦・李崧請ふ、契丹と和親せん。則ち石敬瑭、患を爲す	馬希杲、桂州に鎮し、善政有り。裴仁煦、之を譖す。會ま
二		知誥始めて元帥府を建て、以て幕職を及び鹽鐵に判たらしむ。	
閩康宗 昶 通文 元	○李做、權を專にす。○林閩主、浩と延興之を殺す。○其の弟昊、○に越據る。○翹、竹之を守つ。○旨を葉に放陳を太師以て元帥と爲す。○○○賞擧を受く、罰を託す。○選賦を請ふ。		
九			○劉濟、孫德威、楚の蒙を桂州を侵し、たす。克つ。
十八百二第卷			

朔。

と請ふ。○詔して曰はく、昔、魏徵、皇甫德參を賞せんと請へり。今、劉濤等、在德を黜けんと請ふ。何ぞ相遠さやと。○○韓昭胤、相と爲る。○○劉延皓、樞密と爲る。后の弟なり。○延朗、副使と爲る。○○契丹、新州及び振武に寇す。○○又、應州に寇す。○石敬瑭、自ら全くするの計を爲し、太后の左右に賂し、帝の密謀を伺ふ。○敬瑭、奏す、邊兵、糧乏しと。時に民饑う。河東に詔して、民の菽粟を借り、鎭糴を糶す。民流散し、亂始めて兆す。○敬瑭、忻州に屯す。朝廷、夏衣を賜ふ。軍士、萬歲と呼ぶ。○詔して、竊盜は贓を計らずして皆死す。○○劉延皓、出でて天雄に鎭す。○○帝、石敬瑭を疑ひ、張敬達に命じて代州に屯せしめ、其の權を分つ。○盧文紀等、延英の故事を復せんことを求む。○房嵩・劉延朗、樞密使副と爲る。延朗及び薛文遇、事を用ひ、嵩、趙延壽と、位に充る。○嵩、閻并の使者に對して睡寐す。○方鎭、延朗に賂ひ、原薄に

す、○慕ふに足らんと。○震ん土退きて洲に居る。○從ふ海、○事を以て光憲に屬す。

む。○柴再用、戰功を以て史官に語らす。○徐知誥、荒縱なり。○○徐知誥、之を怒る。或は曰はく、借使知能の治、○○名に有るも、公に於て何の利あらん。○大赦し、改元す。○知誥に太師を加へ、元帥に齊王を封ず。

守恩・○母眼齋、○相と爲る。○全師都、唐の金州を攻め、克たず。○國勝を以て殿と爲す。○李春繼を鸞にて○○に賜ふ。○○陳后、○○に歸可守李明・股○○に通ず。○○主疾す。○○李擅做、○○に可殺を股す。○閩主做す。○○主及び后、怒る。○閩○○陳后、○○に賜ふ。○○陳后、○○に歸可守李明・股○○に通ず。○○主疾す。○○李擅做、○○に可殺を股す。○閩主做す。○○主及び后、怒る。○閩

七、丁亥。十、丙辰。十二、乙酉の朔。閏十一、一日、冬至。十二、二日、大寒。○本志に、三月壬子、熒惑、積尸を犯す。

能はざらんと。○薛文遇、戎昱の詩を誦す。帝、琦・崧を責怒して罷む。○敬瑭、鎭を移さんと請ひ、以て帝の意を嘗みる。房暠等皆以て不可と爲す。文遇、帝に勸めて其請に從はしむ。徙して鄆州に鎭せしむ。制出で、兩班、色を失ふ。○敬瑭、將佐と與に之を謀る。劉知遠、勸めて、命を拒ましむ。桑維翰、契丹に結ばんと請ふ。敬瑭、之に從ふ。○趙瑩・段希堯・楊彥詢、以て不可と爲す。敬瑭、亦、罪せず。○敬瑭、表して帝に位を許王に傳へんことを請ふ。○帝、張敬達等に命じて晉陽を攻めしむ。○定州の軍亂る。方太、討ちて之を平ぐ。○張敬達、晉安に營す。○安審信、安元信、衆を帥ゐて晉陽に奔る。○元信謂ふ、帝、信を失ふ、必ず亡びんと。○安重榮、衆を帥ゐて晉陽に奔る。○天雄軍亂れ、張令昭、劉延皓を逐ひ、旌節を求む。○帝、遠く延皓を貶せんと欲す。皇后、之を請ひて止む。○張令昭を齊州に徙す。令昭、

漢の兵、蒙桂州に寇す。希範自ら將として南のかた桂州を巡る。漢の兵退く。希杲を徙して朗州に知たらしむ。

○知誥、子景通を以て副元帥と爲す。○高從誨、牋を奉じ、知誥に帝位に即かんことを勸む。○徐景遷、疾を以て罷め、弟景遂代りて政事に參す。○知誥、百官を置き、金陵を以て西都と爲す。○唐の盧文進、來奔す。○知誥、李德誠・周本をして勸進せしむ。宋齊丘、李建勳に謂ひて曰はく、尊公の功業盡きたりと。

改元す、○李春鸞を立てて后と爲し、太皇太后を尊ぶ。○閩人、潞王敗亡すと聞き、曰はく、將に吾が君を如何せんとすると。

相と爲る。

從はず、使者を殺す。范延光等に命じて之を討たしむ。○桑遷、沙彥珣を逐ひ、雲州に據る。彥珣、兵を收め、還りて之を攻む。遷、走りて死す。○范延光、魏州を拔き、張令昭を斬る。○張萬迪、衆を帥ゐ、懷州より晉陽に奔る。○石敬瑭、援を契丹に求む。○敬瑭、契丹主に父事し、賂ふに盧龍及び山後の八州を以てす。○劉知遠謂ふ、臣と稱するは則ち可なり。父事するは太だ過ぎたり。厚く金帛を遺らば、其兵を致すに足らん。若し土田を割かば、他日必ず中國の大患と爲らんと。○契丹主謂ふ、天意、我をして石郞を救はしむと。○劉知遠、降兵を待つこと私無し。故に士、貳心無し。○知遠、城を保つを以て自ら任ず。○楊光遠謂ふ、契丹は能く爲す無しと。帝悅ぶ。○帝、契丹が敬瑭を救ふを聞き、張敬達に命じて急に晉陽を攻めしむ。下す能はず。○契丹主、兵を引きて、揚武谷より入り、晉陽を救ふ。忻代州を過ぎ、皆、顧みず。

○契丹、虎北口に至り、卽日、大に張敬達等を汾曲に破る。○石敬瑭出でて契丹主を見る。○契丹主謂ふ、唐、險要を守らず。我、長驅して此に至る。我は銳く彼は沮む、故に急に擊ちて之に勝てりと。○契丹・敬瑭、敬達等を晉安の寨に圍む。是より、麾閧、通ぜず。○唐主、范延光を遣はして靑山より入り、趙德鈞をして飛狐より入り、潘環をして晉絳より入り、以て之を救はしむ。○契丹主、柳林に軍し、遊騎、石會關を過ぎ、唐の兵を見す。○唐主、詔を下して親征せんと欲いふと雖も、而も實は行く北上を憚る。張延朗等、固く北上せんと請ふ。○諸軍、鳳翔より以來、驕悍なり、符彦饒、敢て束ぬるに法を以てせず。○盧文紀、帝に勸む、河陽に留まり、近臣を遣はして戰を督せしめよと。○趙延壽を遣はして、兵を將ゐて、趙德鈞に潞州に會せしむ。○○唐主、懷州に如く。○○龍敏請ふ、李贊華を立てて契丹主と爲し、幽魏の兵を以

て之を送らんと。○唐主謂ふ、石郎、我が心膽なり。○唐、馬を捐し、民を發して義軍と爲す。○趙德鈞、吳兒谷より、潞州に趣き、范延少の兵を幷せんと欲す。延少、可かず。○○唐、德鈞を以て都統と爲す。○趙延壽、兵を以て德鈞に屬す。○○德鈞出でて團柏に屯す。○○劉景巖、楊漢章を殺し、延州に據る。○契丹主、石敬瑭を立てて帝と爲す。幽薊等十六州を割きて契丹に遺り、歲ごとに帛三十萬匹を輸せんことを約す。○改元し、赦す。法制は皆明宗の舊に依る。○李后を立つ。○○契丹、毎日、結束し、以て逋逃を俟つ。○趙德鈞、團柏に屯することを月を踰えて、進み戰はず。晉安を去ること百里、麾閧、通ぜず。○德鈞、延壽の爲めに鎭州を求む。唐主曰はく、能く胡寇を却けば、吾が位に代ると雖も亦可なり。若し寇を玩び君を邀へんことを恐れば、但だ犬兎俱に斃れんことをと。○德鈞、契丹が已を立てて帝

と爲さんことを求め、見兵を以て南のかた洛陽を取らんと請ひ、仍ほ石氏が常に河東に鎮するを許す。契丹主、之を許さんと欲す。桑維翰固く爭ふ。乃ち帳前の石を指さして曰はく、石爛れなば改む可からんと。

○龍敏、精騎を選びて介休山路より晉安寨に入らんと請ふ。唐主曰はく、之を用ふること晩しと。

○丹州、刺史康琦を逐ふ。○○晉安、芻糧盡き、糞を淘して以て馬に食はす。馬贏死すれば則ち將士分ちて之を食ふ。

○楊光遠、張敬達に降を勸む。敬達曰はく、必ず若し力盡き勢窮まらば、諸公、當に吾が首を携へて降るべしと。敬達を殺し、諸將を遠に降る。

○契丹主、諸將に謂ふ、宜しく敬達に效ふべしと。

○契丹、馬及び鎧仗を取り、以て晉に歸す。

○將卒呂琦を帥ゐ、眞定に奔る。

○○趙瑩・桑維翰、相と爲る。

○○契丹主、帝の從子重貴をして東を守らしむ。

○契丹と興に、大に趙德鈞等を圍柏に破る。

○唐主言ふ、薛文遇等を見、肉顱ふと。

○唐主、魏州に幸せんと欲す。李嶠、洛に還らんことを勸む。○雍王重美、逃竄する者を禁ぜず。

○唐主、諸將に命じて河陽を守らしむ。張延朗、滑州に幸せんと請ふ。唐主、決する能はず。

○趙德鈞父子、潞州に奔る。帝及び契丹主至る。遂に迎へ降る。

○契丹、銀鞍契丹直三千人を殺し、德鈞父子を鎖して其國に歸る。

○逃律后、德鈞に謂ふ、何ぞ先づ約して吾が兒を退けざる。徐ろに天子を圖るも未だ晩からじと。

○契丹主、帝に謂ふ、自ら漢の兵を帥ゐて南下せば、人必ず甚だしくは懼れざらん。太だしくは懼れざらんと。人を相温をして五千騎を以て汝を送らしめ、我は此に留まり、汝が急有るを俟ちて則ち前み救はん。若し洛陽を平げば、吾即ち北に返らんと。帝と泣きて別る。

○高漢筠、門を開きて田承肇を延きて入らしめて曰はく、我、亂首と爲らず。死生は惟だ處する所のままと。

○唐主、河陽より洛に還る。

強圉作噩　二

晉、正、甲寅。四、壬癸未。五、辛丑。七、庚子。九、己亥。十二、戊戌。乙卯の朔、正、己卯の朔。庚辰の朔。十二、南唐。本志に、正月乙卯朔、食す。初めて田づるとき三分、卯に至りて復す。七月丙寅、望、食し、室の二度に在り。

安重榮を以て成德に鎭せしめ、祕瓊を齊州に徙す。○李嶠・呂琦逃れ匿る。帝、責めず。○范延光、自ら安んぜず、亂を作さんと謀り、祕瓊を殺す。○李嶠、相と爲る。○契丹主、雲州を過ぐ。沙彥珣出で迎ふ。之を留む。吳巒、城に據り、服せず。○契丹主、奚王李紹威の骨を磔す。○張礪、忠直を以て、契丹主に事ふ。○潞王の脊脊を得、之を葬る。○帝、范延光の謀を聞き、東のかた汴州に至る。○○○帝、汴州の牙城を署して太寧宮と曰ふ。○○妻繼英、均王の首を葬らんと請ふ。○范延光、孫銳の謀に從ひ、遂に白奉進に詔して滑州に屯せしむ。○楊光遠等を遣はして魏博を討たしむ。馮暉・孫銳、兵を引きて黎陽に趣く。○孫諶、和凝が賓客を絕つを

晉、希江南諸道に範に道ふ。○晉、都統・制置武昌・江州軍事を加ふ。

唐烈祖　二

李昇　元元　昇元

徐知誥、廟を立て、宮殿を建て、百官を置くこと、天子の宋齊の如し。○徐玠を以て左相と爲し、周宗を以て右相と爲す。○知誥、境内に赦し、后を妃と曰ふ。○子景通を立てて王太子と爲す。○知誥、名を更む。

紫微宮を作る。○諸州に使を遣はして隱匿せる逋賦を叙す。○書を以て國の禮を用ふ。○赦し、明年を改む。

晉、使を遣はして姻好を復す。○閩の王延鈞、楊璆を殺し、其の子延羲を交州に執る。

疾愈え、赦す。○峻公美を殺す。

○唐主、李贊華を殺す。○帝、河陽に至る。蔓從簡降る。○唐主、家を舉げて自ら焚く。○雍王重美、宮室を焚かずして曰はく、死して怨を遺すは、安んぞ之を用ひんと。○王淑妃と欲す。○太后、可かず。○帝、洛陽に入る。○劉知遠、城中の夷夏を部署す。○敢て令を犯す無し。○張延朗・劉延浩・劉延朗を誅し、馬胤孫の名を除く。○帝、河陽に如き、太相溫に餞す。○馮道、相と爲る。○○姚顗罷む。○祕瓊、董溫を殺す。琪、鎭州に據る。○同州の門鐸、楊漢賓を殺す。○李贊華に燕王を追贈し、其喪を歸す。○○虞文紀罷む。○周瓊曰はく、事を避くるを以て弃てらるるは、寵を冒りて辜を獲るに勝れりと。○虞文遷、安州より吳に奔る。○高麗王建、新羅・百濟を破る。

著雍閹茂　三

張允言ふ、敵ㇾ赦すれば則ち

彭夫人卒す。希毓始

二　周本、吳亡

三　晉、閻

廣政元　十一　張業・王處　吳權、

○杜重威・侯益、大に張從賓を汜水に破る。從賓溺死す。○李濤、張金義の族を宥さんと請ふ。百官に詔して行在に赴かしむ。○東京の○張暉、博州を以て降る。○王暉、周瓊を殺し、安州に據る。○帝、李金全をして安州に如き、暉を赦すを約せしむ。○范延光、孫銳を族し、降らんと請ふ。帝、許さず。王暉、將に吳に奔らんとす。胡進、之を殺す。○李金全、軍校を殺し、其貨を取る。帝、問はず。○中國の士民の・契丹に在る者を贖ふ。○胡漢筠、買仁沼を毒殺す。○契丹、會同と改元し、國を遼と號す。

衣を服し、辟穀を習ふ。○張延翰、翰・李建勳、相と爲る。○讓皇、唐主の辭表を上る。○唐主、表を謝して、改めず。○宋齊丘、政に預るを得ず、計を失ひ、它州に遷し、讓皇を悔ひ、誡めて書を賜ふ。○李德誠、宋齊丘の黨を殺す。○唐主を皇帝と視ず。羽○楊璉の妃、公主と呼ぶを聞けば則ち泣く。○宋后を立つ。○楊璉の絕たんと請ふ。

諫む。○詔言ふ、北狄、大功有りと雖も、宜しく外は信好を敦くし、內は邊備を嚴にすべしと。○契丹、雲州を攻め、下す能はず。帝、吳轡を召して歸らしむ。○郭威請ひて、楊光遠の北征するに從はず、留まりて劉知遠に事ふ。○張彥澤、皇子從進を河陽に殺す。○李重進、從賓に鐵券を與へずして死す。○從賓、東のかた汜水を扼す。○杜重威・侯益に詔して之を討たしむ。○桑維翰、常度を改めず。○○○張從賓、宋延浩を殺す。○桑維翰、晉陽に奔らんと欲す。○帝、叩頭して諫む。乃ち止む。○尹暉・婁繼英、范延光と謀を通じ、出亡す。○溫濬等、許州を以て延光に應ぜんと謀り、果さず。○盧順帝、馬萬等と共に彥饒を執へ、大梁に送り、之を斬る。○劉知遠謂ふ、恩威兼れ著はれなば、京邑自ら安からんと。紙錢を盜む者を誅す。○○馮暉・孫銳、滑州を襲ふ。楊光遠逆へ擊ちて大に之を破し、邯鄲に置かんと請ふ。

加ふ。

○徐景遷、卒す。○王令謀、金陵に如き、徐誥に禪を受けんことを勸むる。○歷陽公濛、亡げて周本に抵る。周弘祚、執へて之を殺す。○吳主、位を齊に禪る。○王令謀卒す。○誥、帝位に卽き、改めて元と爲し、國は唐と號し、吳主を貶して讓皇と爲し、宋齊丘の黨を誅す。○李德誠、宋皇后を立つ。○唐書を讓皇に視す。羽

晉、正、戊申。五、丁未。六、丙子。八、乙亥。十、甲戌の朔。○南唐。正、己酉の朔。○本志に、正月戊申朔、食す。

直者、冤を銜む。適に災を致す所以なり。安んぞ能く災を弭めんと。○帝、百官をして封事を上つらしめ、詳定官を置きて以て之を考ふ。○民の銅器を作るを禁ず。○李詳、府吏優伶奴僕皆紫袍象笏するを以て、裁節を加へんと請ふ。○楊光遠、自ら、兵を擁するを恃み、頗る朝政を干す。○薛融、洛陽宮を修むるを諫めて曰はく、宮は焚けたりと雖も、猶ほ茅茨よりも侈る。費は少しと雖も、猶ほ露臺よりも多しと。○張鑄奏す、浮戸、田五頃を墾し、三年の外、乃ち徭役を聽さんと。○薛融等、敕を定編す。○○○○尊號を加へ寶を作る。○○○○受命寶を作る。○帝、契丹に事ふること、謹むこと、終身、隙無し。故に、趙思温、盧龍を以て内附せんと請ふ。帝、許さず。○馮暉出でて降る。○○馮暉、范延光を赦し、其降を受く。○延光を徙して天平に鎮せしむ。○李彦珣、母を殺す。亦、之を赦す。

めて聲色を縱にす。

ぶるを以て、愧恨し、卒す。○宋齊丘、自ら、政に預らんと請ふ。○讓皇、舊鄰を固宮を徙りて丹陽宮に居る。○宋齊丘、怨言有り。○唐主曰はく、法を犯すは刑有りと。安んぞ用ひん。酒を毒りと。○楊玠、吳の名號を諫むるを改むと。○宋齊丘、契丹の使者を殺し、以て晉を間す。○趙可封、姓を李に改めて宗室の崩を

主を冊命して閩國王と爲す。○○○○辭と爲して受けず。○直諫、黃諷、杖を受けて黜けずして民と爲す。

回、相と爲る。

愛州より、兵を擧げ、交趾を攻む。○萬操、王弘遣はして救ふ。○操、之を殺す。○弘遣、操に代りて死す。

屠維大淵獻	晉、馬重績の調元小歷	○楊光遠に命じて天雄に鎮せしむ。○契丹、帝に尊號を加ふ。○大梁を以て東京と爲し、洛陽を西京と爲す。○軍と爲す。○契丹に使するを恥ぢ、坐して官を停めらる。○桑維翰・李崧の樞密使を罷む。○○○○赦す。○鄆州に決す。○○○○河、入朝す。○○○○范延光、楊光遠を徙して西京留守と爲し、魏府を以て鄴都と爲し、相貝州を分ちて兩鎭と爲さんと。○澶州を徙して德勝津に跨らしむ。○○○○范延光、致仕す。○○○○公私自ら鑄る錢を聽す。○○○○鄭王重貴を以て開封の尹と爲す。○○鳳翔軍亂る。○李從曮、之を討つ。○亂兵、東に走る。○張彦澤、之を誅す。
四	馮暉、厚く拓跋彦超を遇し、而して之を留む。朔方以て安し。○劉知遠、杜重威と制を同じ	
	晉、元璀を以て元帥と爲す。○馬夫人卒す。	
	晉、希範に天策上將軍を加ふ。○彭士	
		を立てんと請ふ。○讓皇卒す。
三	唐主、尊號を受けず、以て外戚を輔け政を	
閩景宗曦永隆		
二		
十一	趙光裔、舊好を修めんと	
卷第百二		

図其〇ヒ〇
ふ書園、許
。のの唐王
不郷の税
蕊元毗経
ル朔ちた
る、寒以
ち入ぜて
恐貨し馳
り すむ。公
な帝、と
な 為

宸乃重ち郷すんだひろる酒ヌた朱連〇ヒ延〇ろとたひ標〇と緑障分二〇
・ろ孫告、「と鞏、ち維ぶ」、侮妄重関幽。愚義叔。ちた欠て降総欲せ泉ろ郡ヌ
栓排等ぐ。之陣飲さとと疑てル重り、道酒主すとたは勝父　斬すい壁醉弟すん。に てな、

犯鬼月ちた東宰送盈復り東北朔七〇二閏丁戊亥子未申卯ふ年ち
すの丁犯、犯井巳すれし、に、月木日七酉。。。。。。。に用
。中未し五しのふ。ず、東、腰倉庫に赤南脚けゝ、太四し赤日七ふ、志秋八朔二、て
星、〝諸、北白月てだにまゝ、子、。、、戊己庚辛壬癸亮

知すル〇〇胤擢と丹源定〇田すの〇〇ろ呉〇〇と中重〇〇み すル降〇乃擢く
ら。無鴻河ちれ窓主ち州契し。陽た。復献と疆安李ち書ま帝回、。ろ王ちた すの
。く重導復にた、鵲杖帝。彦止葬ろる帝ら州定く、て進せ王州巳、私し に て 錬成ろる。 の化ごのて諌遠 。ろ玲とう
ろ帝ら州定く、て進せ王州巳、私し に て 錬成ろる。 の化ごのて諌遠 。ろ玲とう
す。導障で重にり て鏡、相、遠 編、馬祭美せ人以稲のし、而患まさた欲。帝
る帝ら州定く、て進せ王州巳、私し に て 錬成ろる。 の化ごのて諌遠 。ろ玲とう
で書ふに決に丹殺は ぜめ直鏡ち維 官依動橋暦可ち信齊に據 ん々官依動橋暦可ち信齊に據
す生に知すで鏡に有くんんのせ弾働 ん々官依動橋暦可ち信齊に據 ん々官依動橋暦可ち信齊に據
。に軍に。ぜ脇り、とチ子しずの 即ち天ず 習ち相冊。つ 波 蹟、其
し謀り しひや液書欲威む、過 即ち天ず 習ち相冊。つ 波 蹟、其
て た雛、む、とがすた。維先 ろ 婆ょす ろたたき 悪殺、軍
現以て。王。矢。帝。以 簡ち 為 ほしし も 悪殺、軍
り て 延帝子契て た泰 禁 ろ 為 ほしし も 悪殺、軍

は使盗〇ふんたにのに式ち子〇
すた折契。と教姫為元蔀以無去
。造来丹、訴れ姜め儲王てこん

ら ろだる昔の三は其死惨圃士り州衆〇ち人ミ序で〇 した しち惨劉寇澪郷
ずに報も死温百くほすら巨ち郷、た、劉置撃、た天給ち撃て造匡勘すM州、
と足ゆ末すi飽口、日。弊。た澎破裟勤くと十間策め。ずにと弊・。に辰。

上章困敦

南唐初めて陣成勳の中正曆を用ふ。○四、丙申。○六、乙未。七、甲子。○九、癸亥。十一、壬戌。十二月十五日、冬至に、○本志に、十一月丁丑朔、望、食す。

五

鄴元弼を釋す。○安彥威謂ふ、陛下は、蒼生の故を以て契丹に事ふ。臣は何ぞ節を屈することこれ有らんと。○劉知遠を以て鄴都留守と爲す。○安從進言ふ、青州を移して漢南に置かば則ち鎭に赴かんと。○馬全節を以て安州に鎭せしむ。○胡漢鈞、李金全に說きて唐に降らしむ。金全節に詔して之を討たしむ。○唐の李承裕、金全を逆ふ。金全節、大に之を破り、追ひて承裕を擒にし、雲夢に至り、之を殺す。○桑維翰等官を贈り、廟守榮を光、河陽に居らんと請ふ。○范延光、擅に之を殺す。○和凝、相と爲る。○帝謂ふ、法外に民に稅するは、罪、法を枉ぐるに同しと。○翰林學士李濬が輕薄なるを以て罷む。○楊光遠、入朝す。其親校數人を以て、刺史と爲す。乃ち光遠を青州に徙す。○安重榮、應州の吐谷渾千餘

閻王曦、趙季良等分ちて三司に判たり。

趙珦卒す。○王定保、相と爲る。○尋ぎて卒す。

劉勍、彭士愁、梁山寨に、○希範、銅五千斤を以て柱を鑄、て、溪州に立つ。

楊璉醉ひて舟中に卒す。○晉の李金全、來降す。○李承裕、兵を將ゐて之を迎へ、晉にに敗られ、沒す。○唐主、承裕を戒む、承裕安州城に入る。母れと。○承裕、剽掠する。貪りて敗ること。○唐主、宮を食を減ず。○唐主、累日。○本志に、倉吏又、詰る。○者の蔬、と爲り、軍を捨し、民を刻ばせ、安んぞ得んや。餘を羨と。○齊王璟を立て太子を

閻王曦、趙季良等分ちて三司に判たり。

閻王曦、趙季良等分ちて三司に判たり。

閻の王政來延りて救の彭山士愁、寨に、○希範、銅五千斤を以て柱を鑄、て、溪州に立つ。

重光赤奮若

六

五

三

四

十四

帳を誘ひ、來奔せしむ。

卷の第二十九

玄黙攝提格		二、乙酉。
晉高祖天福七	杜重威、鎭州を拔き、安重榮を斬り、首を契丹に送る。○成德を改めて順國軍と爲す。	閏三、甲申。六、癸丑。八、壬子。十、辛亥。十二、庚戌の朔。○四、一日、小滿。
吳越忠獻王 弘佐		
楚文昭王	天策府を作る。	
南平文獻王		
唐烈祖 昇元六	宋齊丘、政に知たつ。らんことを求む。○中書に入る。を求む。○又、尙書省に知たむ。○齊丘、阿私にを求むことを。坐罷して。○齊丘、慙望す。○齊丘を州に鎭せし	
閩景宗 永隆四	李后を立つ。○子亞澄を以て閩王と爲す。○政を圍む。○王、延州汀州。○林守亮、忠敬等、黃紹遣はし尤口にし。○屯せ建州ん。○とな襲は、○包欲す。○洪實へ之。○等、擊ち敗て逆計く。○士人多し。○高祖、子孫が爲すの者。○高祖殂す。	閏、甲申。六、癸丑。八、壬子。十、辛亥。十二、庚戌の朔。○四、一日、小滿。
蜀楚恭孝王 廣政五		
漢殤帝 玢 光天元	高祖、王翻と謀り、長子弘度・弘昌を立てし。○高祖殂す。	

降る。○和凝、空名の宣敕を留めて鄭王に付せんと請ふ。○安從進反し、鄧州を攻む。王、張從恩等を遣はして之を擊たむ。○高行周に詔して從進を討たしむ。○從恩、從進を花山に敗る。○從進走りて襄州を保つ。○安重榮反し、兵を擧げて鄴に向ふ。○杜重威等を遣はして之を討たしむ。○焦繼勳、從進の弟從貴を獲、足を斷ちて之を歸す。○重威、重榮と、宗城の西南に遇ふ。○王重胤、重威に勸めて其左右翼を擊たしめ、而して自ら中軍を攻む。○趙彦之、來降す。重榮敗れ、走りて眞定を保つ。○張彦武、趙州を取る。

弘佐を以て吳越國王と爲す。

使を遣はして之を唁ふ。○唐主、蒲輪を騶を踞み、蒿帷に寢ぬ。○王紹顏、上言す、群臣、罪ろを獲る者を、中外疑懼ひると。○田稅を定、民間、平むと稱す。

願ひ請ふ、人をしてを鍛をしにし輪めせ官んにし除せ、と。○閩曦自ら閩皇帝と稱し、延政自ら延平帝と稱す。○閩主、嚴を王殺し。○繼冀の如くすこと骨を暴し攻むと。延政相を

○劉太后、殂す。○赦す。○馮道等、樞密の職事を以て貴に讓らんと請ふ。○高行周、襄州を拔く。○安從進自ら焚く。○高祖を葬る。○官自ら鹽を賣る。而して食鹽錢を斂むること故の如し。○大臣、表を奉じて臣と稱し哀を契丹に告げんことを議す。景延廣、書を致して孫と稱せんと請ふ。李崧諫む。

を延政に求む。延政、受けず。○閩主、酒を減ずるを以て從子繼柔を斬る。○當百の大錢を鑄る。○余廷英、贓に坐して錢萬緡を獻ず。閩主悅び、復た皇后の貢物を責む。○李仁遇、甥が幸を得るを以て、用ひて相と爲す。○醉ひて、李光準を殺さんと欲す。醒めて之を釋す。

て盛なり。○弘度立つ。名を玢と更む。改元す。○張遇賢、自ら中天八國王と稱し、永樂と改元す。越王弘昌等を錢帛館に敗る。○又、循州を陷る。

○又、周維岳の酒腸を觀んと欲す。

昭陽單閼

二、己酉。四、戊申。六、丁未。九、丙子。十二、乙巳の朔。○本志に、四月戊申朔、食す。八月、丙子、熒惑、右掖を犯す。十月、丙辰、進賢を犯す。

晉齊王重貴天福八

帝、契丹の將に入寇せんとするを聞き、東京に還る。○桑維翰、相と爲る。○年饑ゑ國用足らざるを以て、使者を分遣して民穀を括す。○李彝敏、亂を作し、延州に奔る。詔して夏州に送りて之を斬る。○帝の母安氏を尊びて太妃と爲す。○景延廣、喬榮を因へ、盡く契丹の貨を奪ひ、榮を遣りて歸らしめて曰はく、翁來れ、十萬の橫磨劍有りて相待つと。契丹主入寇に決す。○桑維翰諫むれども聽かず。○劉知遠必ず入寇を致さんことを知り、敢て論諫せず、但だ兵を益し備を爲す。○叔父重胤の妻馮氏を立てて后と爲す。○景延廣、楊光遠の馬を取る。光遠怒る。○楊承祚、單州を弃てて走る。詔して兵を發して鄆州に戍せ

弘佐初めて立ち、諸將を優容す。闞璠・胡進思、事を用ひ、章德安・李文慶を貶す。○妃仰氏を納る。

莫玄殊、卓牌州十八を以て來附す。○楚の地富む。而して希範、奢欲、厭く無し。○銀槍都八千人を置く。○九龍殿を作る。○逃田を籍し、民を募りて租を出さしむ。西より東に徙き、各ゞ其業を失ふ。○人が財を入れて官に拜するを聽

唐元宗景 保大元

烈祖、宣城王景達を立てて嗣と爲さんと欲す。齊王璟が年長ずるを以てして止む。○烈祖、齊王璟を怒る、种夫人其子景逷を立てんと欲す。烈祖立ちどころに之を嫁す。○烈祖、靈丹を呑

閩福恭懿王延政 天德元

延政、帝と建州に稱し、國號は殷とし、改元す。○張后を立つ。○潘承祐・楊思恭を以て相と爲す。○思恭、魚鹽蔬果を聚斂し、皆倍征す。○閩主、尙賢妃を立つ。○陳望、

六

官者田敬全を以て節度使と爲す。

漢中宗晟 乾和元

殤帝、驕奢淫虐にして、諸弟を猜忌す。弘昌諫むれども從はず。○弘熙、聲伎を獻じ、以て其惡を成し、陳道庠・劉思潮等をして手搏を習はしめ、殤帝を拉して之を殺す。○弘熙立

しむ。○光遠、契丹を召す。○契丹、趙延壽に委ぬるに南寇の方略を以てし、中原を以てするを帝と許すことを許す。○南樂及び德清軍に城く。○天下の竹葉倶に盡く。民餓死する者數十萬。○杜威、恆州の穀を括せんと請ひ、而して其什の七を私す。定州、之に効はんと欲す。馬全節、許さず。○富者は贖ひ、弱なるのみ刑を受く。○函を置きて匿名の書を受く。○縣に令して、税を外に於て米を買せしむ。○拓跋恆、復た見ゆるを得ず。

むみ、と夢○方士を召し、藥を致す。○藥服に入り、躁急。○李建勳諫むるも聽かず。○王栖霞、飲噴を喜ぶ。論ず。○孫晟、馮延巳、能く適を有り、禍を國の爲すに足ると。○常夢錫、馮延巳等は宜しく宮にし侍すべからざるを言ふ。○蕭儼、陳覺、回政に參しては亂ると。○竇儀、烈祖の藥を言ふ、服して壽を

豳州を攻め、西鄙に入り、敗れて歸る。○潘承祐、延政に事ふるの十。○陳光、閩主の嫁を朝士の賀せざるの者は、杖つ。○鄭元弼は、曰く、臣は陛下を以て

ち、名を更む。○晟と弘昇、○循、思潮等を斬らんと請ふ。思潮、弘昇之を譖る。○萬景、忻、張遇賢を殺し、循州に遇賢を敗る。嶺を踰えて北す。○赦し、改元す。

乃ち更に生を傷ふ。○烈祖殂と。○孫晟、遺詔を稱し、太后と爲に宗と。故に敢て魏徵に効ふ。

○元宗、卽位す。○追改す。改元

○馮延魯、遺詔を稱し、民に男女を賣るを聽す。○嚴なるの蕭を詐辨ずるなく、其の亦、改せ

○齊王景遂、百官に對して之を毀らんとするを我必ず之を救はんと欲す。○李穀、曰く、業を臨まして朝に稱めんと欲す。

○宋太后、寢疾、鍾后寵、及立、つ。○馮延巳、屢、見、白事。唐主曰、何煩、其人、如此。○李建勳、旁、正色、曰、恐、士無、守、先業、ざらん、と。○宋齊丘・周宗、爲、相、る。○齊王景、出鎮、州、す。○李建勳、撫、鎮、す。○齊王景、等、五鬼、陳、を、譖、ひ、て、爲、す、と。○丘・周宗、齊丘、爲、に、諂、ふ、建勳、旁、正、の、士無、恐、ら、くは、先、ら、ざ、守、ん、建勳、と、しきれ、其、煩、何、ぞ、は、唐、主、曰、なんぢ、白、主、事、見、なんぢ、巳、屢、事、延、馮、つ、后、立、后、寢、鍾、なんぢ、寵、及、寢、疾、宋太后、

閻遂執徐	
開運元	契丹の前鋒趙延壽等、貝州に逼る。○邵珂、州城を以て契丹に納正、甲戌。
二	周宗・張居詠田で鎮す。	景達を以て元帥と爲し、約に國に歸するを傳ふるを以てす。○張遇賢、虔州に寇す。○宋太后、保寧を以て王景を害せんとす。○邊鎬を嚴にし、遺張を恩にし、保全之を主とし、欲せざる・唐を以て計と爲す。○斬る宋齊丘を放ち、遇ち賢を以て之を九華に歸らしむ。
二	天德通寶錢を鑄る。	
七	復た將相を以て節度使を領す。	
二	漢主、盜を遣して越王弘昌を	
二月より		

樂を擧ぐ。百官、樂を聽かんと請ふ。許さず。
○楊光遠、棣州を圍む。李瓊、擊ちて之を走らす。
○蜀人、階州に寇す。
○契丹主來りて潭州の北に戰ふ。互に勝負有り。
○契丹主、晉の軍の盛なるを知り、始めて楊光遠の妄なるを知る。
○契丹、兵を收めて北に去る。景延廣、其の詐なるを疑ひ、敢て追はず。
○契丹、兩軍に分ち、過ぐる所、焚掠して殆ど盡く。
○麻荅、德州を陷る。
○馬全節、契丹の泰州を攻め、之を拔く。
○天下の鄕兵を籍し、七月、一卒を發す。
○秦州、蜀の兵を西平に敗る。
○梁、德州を復す。
○帝、梁に還る。
○景延廣、西京を守る。
○三十六使を發し、民財を括率す。
○盧億、景延廣が因緣して利を求むるを諫む。
○李守貞に命じて、楊光遠を討たしむ。
○契丹、靑州を救ふ。薛可言、擊ちて之を敗る。
○鄕兵を籍して七萬餘人を得。

三、癸酉。
五、壬申、辰、
六、辛丑。
九、庚午。
十二、己亥。閏十
二。本志に、九月庚午朔。三月
食す。戊子朔、食す。九月丙
戌朔、食す。
二月壬戌、太白、昴を
犯す。己巳、熒惑、天鈐を
犯し、四月丁巳、太白を
犯す。五諸侯、東井を
犯す。七月甲申、南斗に
入る。八月甲辰、熒惑、
犯す。十月癸丑、辰を
犯す。
○吳巒を殺す。
○兵を用ふる方略號令、皆、景延廣に出づ。帝、制する能はず。
○帝、譚州に如く。
○契丹主、太原に寇す。劉知遠を以て幽州道招討使と爲す。
○契丹、黎陽に寇す。
○劉知遠、偉王を秀容に破る。
○周儒、博州を以て契丹に降り、楊光遠と謀を通じ、契丹を引き、馬家口より河を濟る。
○瞥餒、景延廣に勸めて、兵を遣はして河津を戍らしむ。
○麻荅、李守貞等を遣はして、之を拒がしむ。
○契丹、高行周等を戚城に圍む。
○帝、之を救ふ。解き去る。
○李守貞等、契丹を馬家口に敗る。是に由りて、敢て復た東せず。
○李彝殷、麟州より河を濟り、契丹を侵す。
○契丹再び敗れ、忿恚して貝博軍民を殘ふ。軍民、是に由りて爭ひ奮ふ。
○楊光遠、兵を引き、西して契丹に會せんと欲す。
○劉知遠に詔して、山東に出で、鎭定に會せしむ。知遠止まりて樂平に屯す。
○帝、宮中に於て、細辟の女

旃蒙大荒落

二

正、戊戌。
三、戊戌。
四、己酉。
六、乙丑。
八、甲子。
十二、癸亥。
一、正、雨水。
一日、十日、
冬至。
○本志に、
八月甲子
朔、食す。
七月庚戌、
歲、井鉞を
犯し、八月
甲戌、東井
を犯す。九
月甲寅、太

契丹、邢州に寇し、魏の境に入る。
○皇甫遇・慕容玄超、契丹と、安陽の水上に力戰す。安審琦、之を救ひ、免るるを得たり。相州より驚き遁る。○契丹、相州を圍み、朔州を攻む。
○趙延壽等、南して湯陰に至り、相州を過ぎ、城を攻むる狀を爲す。荷彥倫、其の遁んとするを知る。
○折從遠、朔州を圍み、
○帝、疾小しく愈え、自ら將として北征せんとす。
○馬全節等奏す、契丹の衆散び、因り岡州を襲はんと。
○帝、濮州に如く。
○劉知遠謂ふ、胡に勝つも猶

に光遠を殺さしむ。
○趙延壽、入寇し、鎭州を圍む。
○帝、自ら將として之を拒ぐ。會〻疾有り。張從恩等に命じて邢州に屯せしむ。
○契丹主繼ぎて至り、元氏に屯す。諸軍に詔して、稍や却かしむ。因りて相州に屯す。
○張從恩を遣はして貝州を擊たしむ。趙延照走る。
○官軍、淄州を拔く。
○或ひと謂ふ、馮道、艱難に處すること、禪僧をして鷹を飛ばさしむるが如しと。
○道出でて同州に鎭す。
○復た樞密院を置き、桑維翰を以て之を爲す。朝政差や治まる。
○滑州、河決す。之を塞ぐ。
○楊昭儉謂ふ、石を刻し功を紀するは、哀痛の詔を降すに若かずと。
○契丹、河西の民を遼東に徙さんと欲す。折從遠、遼東に徙ぎ、從はず。
○復た翰林學士を置く。
○劉昫、相と爲る。
○劉知遠を以て北面都統と爲し、以て契丹に備ふ。
○桑維翰、一に指揮節度使十五人を制す。敢て違ふもの無し。
○帝、劉知遠が觀望するを疑ふ。知遠、疎んぜらるるを知り、自ら守るのみ。
○郭威謂ふ、河東は霸王の資なりと。
○鎭寧軍を濮州に置く。
○楊光遠の子承勳等、其父を劫し、青州を擧げて降る。
○朝廷、李守貞に命じて、潛

國譯資治通鑑目錄下

に臧に敗循を り、掬 す 朱 詐唐賊つ林連朱殺て降し、 文 の臣を稱仁重文し以を。て遣る

闕璠達、杜
希範、弟
希果を酖
○殺す。戴偃を
囚へ、丁官
思瑾の官を削る。

昭悅を侍
めしむ。
○昭悅、以
て幸を
得。璠、疾
之を悅、璠を
譖す。昭達、
仁にして亂を
作さんと
欲す。璠及
び昭達を
殺し、仁
を幽す。
○昭悅、入
朝し、青州を
以て降る。
○慎溫

○契丹主、邢州に寇し、魏の境に入る。
○皇甫遇・慕容玄超、契丹と、安陽の水上に力戰す。安審琦、之を救ひ、免るるを得たり。相州より驚き遁る。○契丹、相州を圍み、朔州を攻む。
○趙延壽等、南して湯陰に至り、相州を過ぎ、城を攻むる狀を爲す。荷彥倫、其の遁んとするを知る。
○折從遠、朔州を圍み、朔州を攻む。
○帝、疾小しく愈え、自ら將として北征せんとす。
○馬全節等奏す、契丹の衆散び、因り岡州を襲はんと。
○帝、濮州に如く。
○劉知遠謂ふ、胡に勝つも猶

三

何敬洙・
祖恩、全
查文徽、
を建て、州
を助け、
を闕の攻
の嶺。
○義を附す。以て來り弘
に兵を
敗る。李
福、赤
州。
○鎭州、邊
を寇す。
○供億
公を困
弊し、私を拔く、
兵、唐建の
境に建て
る。
○唐の人、入

三

福州の
人、殷
主、閩を
迎へ、號を
改めて
閩と
曰ふ。
○唐の閩
主、兵
有るを
以て、
都を
徙さんと
欲し、
暇あ
らば
子
弟
を
遣
し
て
鎭
せ
し
む
。
○
敬
洙
を
益
し
て
福
州
を
繼
が
し
め
、
從
昌
に
し
て
兵
を
入
寇
し

八

三

詔して
王弘
雅。
○劉
思潮
を殺
し、
王
翻
に
及
ぶ。
○等
を
殺
す

八月より以後は卷第二百八十五

遂に南に還る。○帝、大梁に還る。○復た鄴都を以て天雄軍と爲す。

○赦す。○杜威、恆冀の殘弊せるを見、又、契丹の彊きを畏れ、表して、入朝せんことを求む。許さす。遂に擅に鎭を去る。維翰ふ、此に因りて之を廢せんと請ふ。帝、許さず。○威、部曲四千人を獻じ、稟給を受け、而して還た牙隊と爲す。又、貂裘を獻じて云はく、本道に在りと。又、公主に述律太后、天雄を求む。○因りて太后、晉と和せんと欲す。

○桑維翰、帝に勸む、復た契丹と和せよと。契丹、鎭定兩道を得んと欲す。晉の使、再び往かず。遂に絕つ。

○馮玉、相と爲る。○桑維翰、優人を重賞するを諫む、恐らくは戰士解體せんと。

○馮玉、帝の驕侈なるを贊す。是に由りて益〻寵信す。玉、權を招き賂を納れ、朝政益〻壞る。

○威信軍を曹州に置く。○鎭安軍を陳州に置く。○高麗王建、共に契丹を擊ち、其の罪を證せず。

白、南斗のほ後患有り。況んや勝たざるをや。○契丹、祁州を陷る。○沈斌謂ふ、趙延壽、犬羊の衆を引き、父母の邦を殘ふと。十一月甲午、朔、哭星を犯す。

○杜威、諸軍を督して北上す。○馮玉・李彥韜、桑維翰を譖して樞密使と爲す。帝、玉を以て維翰の權を分つ。○彥韜謂ふ、朝廷、文官を設くるは、何の用ぞ。當に盡く之を去るべしと。

○德淸軍を改築す。○諸軍、契丹を攻め、泰州及び滿城・遂城を拔く。○契丹主復た兵を引きて南に向ふ。○杜威等、退きて泰州を保つ。又、退きて陽城に至る。○契丹、追ひて之を圍む。○李守貞謂ふ、風沙の中、衆寡を辨ぜずと。此れ風、我を助くるなりと。

○藥元福曰はく、敵、我は風に逆ひて戰ふ能はずと謂ふ。宜しく其不意に出でて之を擊つべしと。

○契丹を擊ち、大に之を破る。○諸將、北ぐるを逐ふこと二十餘里。契丹主、橐駝に乘りて走る。諸將、之を追はんと欲す。杜威曰はく、賊に逢ひて幸に死せず。更に衣囊を索むるかと。○諸軍、退きて定州を保ち、

木を伐りて道を開き、之を迎へて建州に入り、遂に兵を及ぼす。○克び縱ちて焚掠を建す。○馮玉、李彥韜、桑維翰を譖して樞密使と爲す。帝、玉を以て維翰の權を分つ。○彥韜謂ふ、朝廷、文官を設くるは、何の用ぞ。當に盡く之を去るべしと。

○德淸軍を改築す。○諸軍、契丹を攻め、泰州及び滿城・遂城を拔く。○契丹主復た兵を引きて南に向ふ。○杜威等、退きて泰州を保つ。又、退きて陽城に至る。○契丹、追ひて之を圍む。○李守貞謂ふ、風沙の中、衆寡を辨ぜずと。此れ風、我を助くるなりと。

○藥元福曰はく、敵、我は風に逆ひて戰ふ能はずと謂ふ。宜しく其不意に出でて之を擊つべしと。

○契丹を擊ち、大に之を破る。○諸將、北ぐるを逐ふこと二十餘里。契丹主、橐駝に乘りて走る。諸將、之を追はんと欲す。杜威曰はく、賊に逢ひて幸に死せず。更に衣囊を索むるかと。○諸軍、退きて定州を保ち、

○大閱仁達す。○因りて軍士嚴しく、仁達に己を明らかにし、留後を殺して立てんとす。○唐の安重誨、王建言を無し、人に誓ふに負かざるを以てす。○董思氏、其の叛くを感ず。

○馮玉、相と爲る。○桑維翰、優人を重賞するを諫む、恐らくは戰士解體せんと。

○馮玉、帝の驕侈なるを贊す。是に由りて益〻寵信す。玉、權を招き賂を納れ、朝政益〻壞る。

○威信軍を曹州に置く。○鎭安軍を陳州に置く。○高麗王建、共に契丹を擊ち、

木を伐りて道を開き、之を迎へて建州に入り、遂に兵を及ぼす。○克び縱ちて焚掠を建す。○馮玉、李彥韜、桑維翰を譖して樞密使と爲す。帝、玉を以て維翰の權を分つ。○彥韜謂ふ、朝廷、文官を設くるは、何の用ぞ。當に盡く之を去るべしと。

○德淸軍を改築す。○諸軍、契丹を攻め、泰州及び滿城・遂城を拔く。○契丹主復た兵を引きて南に向ふ。○杜威等、退きて泰州を保つ。又、退きて陽城に至る。○契丹、追ひて之を圍む。○李守貞謂ふ、風沙の中、衆寡を辨ぜずと。此れ風、我を助くるなりと。

○藥元福曰はく、敵、我は風に逆ひて戰ふ能はずと謂ふ。宜しく其不意に出でて之を擊つべしと。

○契丹を擊ち、大に之を破る。○諸將、北ぐるを逐ふこと二十餘里。契丹主、橐駝に乘りて走る。諸將、之を追はんと欲す。杜威曰はく、賊に逢ひて幸に死せず。更に衣囊を索むるかと。○諸軍、退きて定州を保ち、

白、南斗のほ後患有り。況んや勝たざるをや。○契丹、祁州を陷る。○沈斌謂ふ、趙延壽、犬羊の衆を引き、父母の邦を殘ふと。十一月甲午、朔、哭星を犯す。

○杜威、諸軍を督して北上す。○馮玉、李彥韜、桑維翰を譖して樞密使と爲す。帝、玉を以て維翰の權を分つ。○彥韜謂ふ、朝廷、文官を設くるは、何の用ぞ。當に盡く之を去るべしと。

○德淸軍を改築す。○諸軍、契丹を攻め、泰州及び滿城・遂城を拔く。○契丹主復た兵を引きて南に向ふ。○杜威等、退きて泰州を保つ。又、退きて陽城に至る。○契丹、追ひて之を圍む。○李守貞謂ふ、風沙の中、衆寡を辨ぜずと。此れ風、我を助くるなりと。

○藥元福曰はく、敵、我は風に逆ひて戰ふ能はずと謂ふ。宜しく其不意に出でて之を擊つべしと。

○契丹を擊ち、大に之を破る。○諸將、北ぐるを逐ふこと二十餘里。契丹主、橐駝に乘りて走る。諸將、之を追はんと欲す。杜威曰はく、賊に逢ひて幸に死せず。更に衣囊を索むるかと。○諸軍、退きて定州を保ち、

其、仁俊の罪を證せず。

○斗閱仁達す。○因りて軍士嚴しく、仁達に己を明らかにし、留後を殺して立てんとす。○唐の安重誨、王建言を無し、人に誓ふに負かざるを以てす。○董思氏、其の叛くを感ず。

○馮玉、相と爲る。○桑維翰、優人を重賞するを諫む、恐らくは戰士解體せんと。

○馮玉、帝の驕侈なるを贊す。是に由りて益〻寵信す。玉、權を招き賂を納れ、朝政益〻壞る。

○威信軍を曹州に置く。○鎭安軍を陳州に置く。○高麗王建、共に契丹を擊ち、

木を伐りて道を開き、之を迎へて建州に入り、遂に兵を及ぼす。○克び縱ちて焚掠を建す。○馮玉、李彥韜、桑維翰を譖して樞密使と爲す。帝、玉を以て維翰の權を分つ。○彥韜謂ふ、朝廷、文官を設くるは、何の用ぞ。當に盡く之を去るべしと。

○德淸軍を改築す。○諸軍、契丹を攻め、泰州及び滿城・遂城を拔く。○契丹主復た兵を引きて南に向ふ。○杜威等、退きて泰州を保つ。又、退きて陽城に至る。○契丹、追ひて之を圍む。○李守貞謂ふ、風沙の中、衆寡を辨ぜずと。此れ風、我を助くるなりと。

○藥元福曰はく、敵、我は風に逆ひて戰ふ能はずと謂ふ。宜しく其不意に出でて之を擊つべしと。

○契丹を擊ち、大に之を破る。○諸將、北ぐるを逐ふこと二十餘里。契丹主、橐駝に乘りて走る。諸將、之を追はんと欲す。杜威曰はく、賊に逢ひて幸に死せず。更に衣囊を索むるかと。○諸軍、退きて定州を保ち、

勃海を取らんと請ふ。○建卒し、子武立つ。帝、使を遣はして之を諭すに它を以てし、解を爲す。○馮玉・李彥韜・李守貞、共に桑維翰を譖し、之を退け、趙瑩を引きて相と爲す。

柔兆敦祥

三

二、壬戌。四、辛酉。○党項の拓跋彥、靈州を攻む。五、庚寅。○孫方簡、妖術を以て衆を集め、狼山に據り、契丹を導きて入寇す。七、己丑。九、戊子。十二、丁巳。○馮暉、馮李に因り、復た靈州に鎭せんことを求む。朝廷因りて之をして拓跋彥超を擊たしむ。○契丹、定州に寇せんと欲す。李守貞等を遣はして之を拒がしむ。○河、楊劉に決す。○李嶠・馮玉、杜威を招かしむ。延壽詐りて降を請ふ。李守貞、契丹を長城の北に敗り、解里を斬る。○劉知遠、郭威と謀り、白承福等を誘ひて之を殺し、而して其財を取る。吐谷渾、是に帝、趙在禮の富めるを利とし、皇子延煦の爲めに其女を娶る。

四

○諸將、皆謂ふ、福州は險遠にして救ひ難し。水丘昭券、獨り之を救はんと欲む。○弘佐、鐵錢を鑄て將士の祿賞に增さんと欲す。晉、希範を以て都元帥と爲す。

四

齊丘を以て中書令と爲し、政事に預らしむ。○李建勳・馮延己、高越、爲る。延己の過惡を指して、貶せらる。常夢錫、宣政院を掌り、黨を結び、魏に附す。是に至りて夢錫、齊丘を退けらる。

兵を建州に閩。○克つ。主降る。王忠順死す。

九

施州の田行皐、玠。○玠、使を遣はして之を討たしむ。

四

劉濬庠及び鄧伸を殺す。

由りて遂に微なり。○李彥韜、慕容彥超を殺さんと欲す。○慕容彥超、李嶠言はく、此の如くせば、恐らくは藩侯、人人、自ら安んぜざらんと。○藥元福、拓跋彥超を旱海に破る。○馮暉、遂に靈州に入る。○劉知遠、契丹を楊武谷に敗る。○李弘達、福州を以て藩と稱す。○張彥澤、契丹を定州の北に敗る。○河、臨黃に決す。○○契丹、劉延祚をして瀛州を以て詐り降らしむ。○杜威、大擧して瀛莫を取らんと請ふ。○馮玉・李嶠、之を信ず。○李守貞、威の貨を得て之を譽む。○趙瑩謂ふ、威は欲する所厭無し。宜しく假すに兵權を以てすべからずと。○威・守貞等に命じて、北征せしむ。○救隣に云ふ、先づ關南を平げ、後に北を取り、又、虜主を擒にするを賻とす。○夔、兵を益さんと請ふ。○杜威、是に由りて禁軍盡く其の麾下に在り。宿衛空虛なり。○威等、瀛州に至るに及び、中已に空し。梁漢璋を遣はして高

弘す。○錢鏐、諫めて止む。○張筠等の兵、晉浦より福州に入る。

疎せらる。○夢錫、遂に酒に縱にし、事に預らず。○李弘義、兵を舉げて泉を伐つ。○留從效、王延を廢して之に代りて閩を擊ち、福州の兵を退く。○陳覺、李弘義を召して入朝せしめんと請ふ。弘義、之を見て甚だ偪る。覺言はく、敢てせずと。覺還りて劍州に至るに及び、弘義を矯めて詔を

模翰を追はしむ。南陽務に至りて敗死す。威等、焚掠して還る。

〇契丹主、大擧して、易定より恆州に趣く。威等、武強に至る。張彥澤邀へて與に俱に西する。中渡橋に至り、契丹と、滹沱を夾みて軍す。

〇威、怯懦にして、諸將但だ相承迎す。軍事を議すること罕なり。

〇李穀請ふ、橋を造り、壯士を募り契丹を攻め、恆州と勢を合はせん。虜必ず遁れんと。威、難色有り。

〇契丹、蕭翰等を遣はし、西山に並びて晉の軍の後に出で、欒城を陷れ、糧道及び歸路を斷つ。

〇契丹、晉人の面に黥して之を縱つ。運車、之を見て、皆走る。

〇李崧、密に、北軍の危急なるを奏し、帝に滑州に幸し河津を守らんことを請ふ。

〇朝廷、軍前と、聲問斷絶す。

〇桑維翰、帝に見えて事を言はんことを求む。許さず。執政を見る。從はず。退きて曰はく、晉は血食せざらんと。

〇帝、自ら將たらんと欲す。李彥韜、之を止む。

〇王清、前鋒と爲りて契丹を攻めんと請ひ、杜威をして諸

召して入朝せしめ、擅に兵を發して福州を攻む。

〇唐主、王崇文を遣はし、兵を將ゐて之を助け、其外郭に克つ。

〇又、第二城に克つ。

〇弘義、名を達と更め、臣と稱し、救を吳越に求む。

〇漳州の軍亂る。陳誨・留從效、討ちて之を平ぐ。

〇吳越の兵、福州に入り、唐と戰ひ、利あ

軍を帥ゐて之に繼がしめ、以て恆州に入らんとす。威、之を許す。清、水北に力戰す。威、繼がず救はず。清、軍を擧げて皆沒す。

〇大軍、食盡く。威潛に降を契丹に約す。契丹主、之を紿きて、中國に帝たらしめんことを許す。威、遂に諸將を劫し、軍を擧げて降る。士卒、皆、慟哭す。

〇契丹、兩赭袍を以て、趙延壽と威とをして皆之を衣しむ。

〇王周、恆州を以て降る。

〇郭璘、易州を以て拒ぎ戰ひて死す。

〇李殷、定州を以て、方太、邢州を以て降る。

〇契丹、孫方簡を以て定州に鎭せしむ。

〇張礪謂ふ、中國の將相は、當に中國の人を用ふべし。苟くも政令乖失せば、則ち人心、服せじと。

〇契丹主、邢相よりして南し、張彥澤を遣はして、先づ大梁に趣かしむ。

〇皇甫遇、感憤して自殺す。

〇帝始めて杜威が降れるを聞く。明旦、張彥澤已に宮門に屯す。帝、自ら焚かんと欲す。契丹主が太后に與ふる書を得、乃ち止む。

らず、城益ゝ危し。陳覺・馮延魯・魏岑、功を爭ひ、相應ぜず。是に由りて克たず。

〇杜昌業謂ふ、未だ數年ならざるに、府庫、半を耗す。其れ能く久しからんやと。

○帝、延煦・延寶を遣はし・表及び國寶を奉じて迎へ降る。○帝、黃袍を脫し、素衫を著け、宣を拜受す。○帝、張彥澤を召す。肯て見えず。○桑維翰、死を送らず。○維翰、李崧に謂ふ、侍中、國に當る。國亡び、乃ち維翰をして死せしむるかと。○維翰、彥澤を責む。○帝、孟承誨を召す。至らず。○彥澤、兵を縱ちて大に掠むること二日。○李濤、彥澤に詣り、滿を引きて去る。○彥澤、帝を開封府に遷す。○烏氏公主、自殺す。○帝、帛數段を取る。主者曰く、帝の物に非ずと。○李崧に就きて酒を求む。得ず。○李彥韜を召す。至らず。○馮玉、自ら玉寶を送らんことを求む。○張彥澤、延煦の母丁氏を奪ふ。○彥澤、桑維翰を殺す。○苻彥卿曰はく、惟だ晉主の爲めに力を竭すを知るのみと。○契丹主、解里をして帝に語らしむ、必ず餺飥の所有らんと。

○帝、太后と與に遠く契丹主を迎へんと欲す。許さず。又、璧を銜み羊を牽かんと欲す。又、曰はく、城に克つなり、降に非ざるなりと。○詔す、晉の羣官、一切、故の如しと。○又、法駕を卻く。○景延廣を捕へ、問ふ、橫磨劍は安くにか在ると。

强圉協洽

三、丙戌。五、乙酉。六、甲寅。閏七、癸丑。八、壬午。十一、辛亥の朔。八、一日、秋分。○本志に、十二月乙未望、食す、七分強。四更四點に起り、星の四度に在り。十月己丑、太白、亢の距星を犯す。

漢高祖暠天福十二

晉の百官、晉主を辭し、契丹主を迎ふ。○安叔千自ら言ふ、邢州に在るとき、已に誠を輸せりと。○晉主及び太后出で迎ふ。見ず。○契丹主言はく、我、南に來るに心無かりき。漢の兵、我を引きて此に至らしむと。○契丹主、宮に入り、復た出で赤岡に次す。○楊承勳を殺す。○張彥澤を殺す。市人、髓を取り肉を臠して之を食ふ。○景延廣、自殺す。○契丹、晉主を以て負義侯と爲す。○李太后、晉主に隨ひて北に遷らんと請ふ。○晉主、封禪寺に館す。上下凍餒す。○契丹主、赤岡より宮に入りて言はく、今より、賦を輕くし役を省かん。

吳越忠獻王

水丘昭券、夜兵を興して程昭悅を誅するを諫む。○余安、復、水軍を將ゐて海道より福州を救ひ、大に唐の兵を破り、遂に福州を取る。○鮑修讓に命じて

楚文昭王

希範、希廣を以て內外諸司の事に判たらしむ。○希範卒す。張少敵等、希萼が長ぜるを以て、之を立てんと欲す。劉彥瑫等、可かず。拓跋恆、使を遣は

南平文獻王

使を遣はして契丹に入貢す。○郢州を漢に求む。許さず。遂に加恩を受けず。○兵を發して漢の襄郢を襲ふ。皆、克たず。遂に漢に絕ち、唐蜀に附

唐元宗保大五

太弟景遂を立つ。○張易、玉杯を碎く。景遂之を謝す。○景達、馮延己を斬らんと請ふ。○唐主、使を遣はし、契丹に至り、長安の陵を修めんと請ふ。

蜀楚恭孝王廣政十

晉の何重建、秦成階を以て來附す。○李繼勳等、固鎭を取る。○何重建、鳳州を攻め、克たず。○孫漢詔を遣はして鳳州を攻めしむ。

漢中宗乾和五

齊・貴・定・辨・同・益・恩・宜の八王を殺し、其女を納れて後宮に充て、離宮千餘間を作り、飾るに珠寶を以てし、生地獄を置く。

卷第二百八十六　五月以後は卷第二

す。

太平ならんと。○東京を廢して汴州と爲す。○契丹主、李崧・馮道を禮す。崧を以て樞密使と爲す。○藩鎭爭ひて臣と稱して入朝す。惟だ史匡威のみ涇州に據り、從はず。○何重建、晉の降卒を陳橋に置き、盡く之を殺さんと欲す。趙延壽說くに利益を以てし、乃ち免るるを得たり。○契丹、李彥紳等を殺し、其の貨を以て、東丹王の子兀欲に賜ふ。○晉主、家屬と與に北に遷る。趙瑩・馮玉・李彥韜、之と俱にす。○李穀、貨を傾けて以て晉主に獻ず。○趙在禮、入朝す。李肅、長安を亂る者を平ぐ。○契丹主、劉繼勳を鎖す。在禮、之を聞きて自殺す。○契丹主、胡騎を縱ちて打草穀す。○又、士卒の鎧帛を括斂す。中外始めて之を患苦す。○劉知遠、兵を分ちて境を保ち、使を遣はして入貢す。契丹主、呼びて兒と爲し、賜ふに木枴を以てす。○或るひと知遠に兵を擧げんことを勸む。知遠曰はく、虜が利とする所は惟だ財のみ。財足らば自ら去らん。去りて之を取らば、以て萬全なる可からんと。○知遠、張從恩に入朝せんことを勸む。○契丹主、百官に問ふ、別に人を擇

福州に戍せしむ。○弘儼を以て承相と爲す。○弘佐卒す。○弘儼嗣ぎて立つ。○王の弟弘俶を以て同じく相府に參せしむ。○李達、入見す。名を孺貧と更む。碧成等、湘宮に入るを得たり。○周延壽、希夢許厚、郷高無頼と謂ふ。○希興、諸道の貢物を掠むるを歸命を請ふ。○希廣立つ。少敵・恆稱、病と稱す。○希崇、激怒して兵を擧げんとす。○劉彥瑫等、服を引きて奔る。○李建勳・何重保、貴を遺りて散ず。○吳越の戍兵、福州を殺して以て唐に降る。○呉程を以て福州に鎭せしむ。○弘倧、性剛厲にして諸將を容養するを疾む。胡進思、功を恃みて驕り、横に弘儼を抑ふ。○弘儼、怒りて筆を水中に投ず。○李瑶

越は讓と、協はず、呉と修讐、修讐、鮑賀、李瑶を殺す。○呉程を以て福州に鎭せしむ。○弘儼、性剛厲にして諸將を容養するを疾む。胡進思、功を恃みて驕り、横に弘儼を抑ふ。又、李瑶が反するを以て進思を密に何承訓・水丘

びて中國に君とせんと欲すと。○契丹主、法服にて正殿に御し、赦す。○趙延壽、皇太子と爲らんことを求む。契丹主曰はく、太子は當に天子の兄を以て之と爲すべしと。延壽を以て大丞相と爲す。○趙將佐、勸進す。○趙暉・王晏、劉愚を殺し、陝城に據る。○帝、位に卽く。晉の號を改めず、詔して諸道の括率を免じ、晉の臣を赦す。帝自ら契丹を誅す。○將として東して晉主を迎へ、壽陽に至りて還る。○晉主、棗を田で、從官・宮女、木實・草葉を食ふ。晉主、死せざりしを悔ゆ。○契丹、耿崇美等に命じて、要害を扼せしむ。○所在、羣盜大に起る。○梁暉、襲ひて相州に據る。○李夫人請ひて民財を率せず、宮中の有る所を竭して將士に賜ふ。少しと雖も、人、怨みず。○晉州の軍亂れ、代州を拔く。○史弘肇、代州を略從朗を殺し、張晏洪を立つ。○趙暉、趙矩を遣はし、表を奉じて來降す。○王守恩、趙行遷を殺し、潞州を舉げて攻む。○何承訓・水丘昭卒、馬全乂、皇甫遇、張彥成、王繼勳、白重贇、張令昭、郭崇韜、李嚴、孟知祥、董璋、趙季良、李仁罕、張業、李肇、李紹琛、李紹榮、李嚴、李繼韜、安重霸、安重誨、石敬瑭、劉知遠、郭威、李守貞を遣

りて鎭に還らしめ、久しく留まるの意無し。

○延州の軍亂れ、周密を圍み、高允權を立つ。

○契丹主、立ちて太后の酒を飲む。

○契丹復た李從益を以て、許王と爲す。

○契丹、張礪・和凝を以て相と爲す。

劉昫罷む。

○羣盜、宋亳密州を陷る。契丹主曰はく、我、中國の人の制し難きこと此の如きを知らざりきと。安審琦・符彥卿を遣りて鎭に還らしむ。

○符昭序、其父をして賊を助けて城を攻めしむ。

○高允權降る。

○契丹主謂ふ、太后の族は、大なること柏根の如く、移す可からずと。

○契丹主、盡く晉の百官を以て北に歸らんと欲す。或るひと勸む、宜しく稍稍に之を遷すべしと。

○蕭翰を留めて汴州に鎭せしむ。

○契丹主、大梁を發し、道に肪して百姓を招撫し、而も鈔掠を禁ぜず。

○皇弟崇を以て太原の尹と爲す。

○契丹主、相州を攻め、之を屠る。

○契丹、李穀が漢に貳あるを疑ふ。穀、辭氣屈せず。而して之を釋す。

○楊邠・郭威を以て樞密と爲し、王章を三司使と爲す。

○李后を立つ。

○契丹主謂ふ、中國の丘墟たるは、皆、燕王張礪の罪なりと。

○蘇逢吉・蘇禹珪、相と爲る。

昭券と、進思を追はんと謀り、果さず。承訓、反つて進思に告ぐ。進思、弘佐を義和院に鎭し、其弟弘俶を迎立す。

○弘俶曰はく、能く吾が兄を全くせば、乃ち敢て命を承けんと。

○進思、昭券を殺す。

主怒り、文蔚を貶し、鑾・延魯を流す。

○徐鉉・韓熙載、宋齊丘・馮延己が朋黨するを論ず。延己を罷め、岑を貶す。

○齊丘、熙載を譜し、之を貶す。

○唐主、蕭翰が大梁を棄てて去るを聞き、李金全を以て北面招討使と爲し、中原を恢復せんと欲す。漢主が大梁に入るを聞き、乃ち止む。

○折從阮、入朝す。永安軍を府州に置く。

○耿崇美、將に潞州を攻めんとす。史弘肇に詔して之を救はしむ。又、鄭謙・閻萬進をして忻嵐に出でしめ、以て契丹の兵勢を分つ。

○武行德、河陽に據りて來降す。

○鄭州の戍兵、方太に迫りて鄭王と爲す。

○張遇、朱乙を立て、鄭州を襲ふ。太、擊ちて之を破る。

○太逃れて洛陽に奔る。

○羣盜、洛陽を攻む。劉晞、許州に奔る。

○方太、洛陽に據る。張遇、朱乙を殺して降る。

○武行德、太を誘ひて之を殺す。

○劉晞、洛陽に還る。

○史弘肇、擊ちて耿崇美等を破る。崇美等、退きて懷州を守る。

○契丹主、自ら三失を悔ゆ。

○契丹主、卒す。鹽を腹に實して載せ歸る。

○述律太后、哭せずして曰はく、諸部の寧一なるを待ち、則ち汝を葬らんと。

○契丹、承天軍を陷る。葉仁魯復た之を取る。

○張延翰、冀州を以て降る。

○或るひと趙延壽に勸む、事に先だちて契丹を圖れと。延壽、決する能はず。

○延壽、待賢館に於て事を上つらんと欲す。李崧、之を止む。

○宋齊丘を以て洪州に鎭せしむ。

○王延政、饒州に鎭す。

○永康王兀欲、酒を置かんと欲し、趙延壽を鎖す。兀欲、喪を發し、契丹主の遺詔を矯めて嗣ざて立つ。○帝、澤路より洛汴に趣かんと欲す。諸將、先づ鎭魏を取らんと欲す。郭威以爲へらく、河北は虜騎ほ盛なり。若し前を遮り後を邀へば、則ち事危からん。澤路は路險に粟少く、以て供億するに無し。若かず、晉絳より陝に趨かんには。萬に一失無からんと。之に從ふ。

○○○劉崇を以て北京留守と爲す。

○○○帝、太原を發す。

○史弘肇、澤州を攻め、未だ下らず。帝、召し還さんと欲す。蘇逢吉等以爲へらく、此の如くせば、河南の人心ゐ搖かし、虜勢復た振はんと。弘肇も亦以爲へらく、進む可く、退く可からずと。乃ち止む。

○翟令奇、澤州を以て降る。

○○翟延勳、河陽を攻めず、一城の命を愛す。

○耿崇美等、懷州より、北に遁る。

○○○史行德の兵と合す。

○○○弘肇軍を御すること嚴整にして、過ぐる所、秋毫も犯さず。帝、安行して洛及び汴に入り、兵、刃に血ぬらざるは、弘肇の力なり。

○蕭翰、北に去らんと欲す。中國、主無くして亂れ、已に從容たるを得ざらんことを恐れ、乃ち唐の明宗の子從益を迎へ、立てて以て帝と爲す。

○高行周・武行德を召す。皆、至らず。

○王淑妃言はく、吾母子、死を分とすと。羣臣に令して早く新主を迎へしむ。

○衆、大梁を堅守して以て北救を待たんと欲す。劉銖交以爲へらく、必ず濟らじと。乃ち趙遠等の策を用ひ、自ら梁王と稱し、使を遣はして、表を奉じ臣と稱して帝を迎ふ。

○契丹主兀欲、自ら、兄の子にして廬に嗣と爲るべからず、又、逃律太后の命に非ざるを以て、乃ち麻荅を勒して北に歸る。

○○○李從朗、絳州を以て降る。

○○○帝、陝に至る。

○蕭翰、張礪を殺さんと欲す。礪曰はく、此れ國家の大體なり。我、實に之を言ふと。

○○○帝、洛陽に至る。

○○契丹の署する所の公卿の告牒を焚く。

○○○李從益・王淑妃を殺す。

○○○帝、大梁に至る。

○○○赦し、復た東京を建て、國號を改めて漢と曰ふ。

○逃律太后、兵を發して契丹主を拒ぐ。李彥韜、兵を以て迎へ降る。太后遂に敗る。

○○○契丹主、太后を幽し、天祿と改元す。

○○○高唐英、相州を以て降る。王繼弘、之を殺す。

○或は傳ふ、趙延壽死すと。郭威、帝に勸め、趙匡贇を起復し、因りて鎭を移さしむ。

○杜重威、鎭を鄆州に移され、懼れて命を拒み、援を麻荅に求む。麻荅、楊袞を遣はし、幽州の兵を以て之を助けしむ。○葛行周・慕容彦超に詔して重威を討たしむ。○王章能く財を聚め軍を贍らす。○六崩を建つ。○麻荅、貪狡殘忍なり。○薛懷讓、洺州を以て降る。○麻荅、楊安・李殷を遣はして之を攻めしむ。○麻荅、漢の兵を以て無用と爲し、其食を減じ、以て胡兵を飼ふ。人情怨み憤る。李榮、壯士を結び、府舍を焚き、契丹を攻む。麻荅走りて北城を保つ。○李穀、馮道等に戰士を勞勉せんと請ふ。士爭ひて自ら奮ふ。○麻荅等、定州に奔る。○道、白再榮を以て留後と爲す。○再榮、李嵩・利凝を劫し、之を殺さんと欲す。○李穀往きて之を責む。乃ち止む。又、民財を率して以て軍を賞せんと欲す。○穀、亦、之を止む。○楊袞・楊安遁れ去る。李殷、來降す。○劉繹、邢州を以て降る。薛懷讓、之を復た恆州を以て鎭州と爲す。○盜賊は、賊の多少を問はず、皆死す。蘇逢吉、鄰保を幷せて之を族せんと欲す。○帝、悉く軍族を以て楊邠・郭威に委ね、諸司は蘇逢吉・蘇禹珪に委ね、法無くして臆斷す。

○逢吉、貪詐なり。○河南の馬を市ふ。○高從誨、襄州を襲ふ。安審琦、擊ちて之を却く。又、鄧州に寇す。尹實、之を破る。○蘇逢吉、李濤を薦む。○慕容彦超、急に鄴都を攻めんと欲す。高行周、徐ろに其弊を待たんと欲す。是に由りて、協はず。○李濤、親征せんと請ふ。○帝、濤及び竇貞固を以て相と爲す。○鄴都に如き、皇子承訓を以て留守せしむ。○馮道・李崇・和凝、鎭州より還る。○趙匡贇、長安を以て蜀に降る。○高行周謂ふ、城を攻めば多く士卒を殺さん、之を緩くせば、食盡きて自ら潰えんと。○慕容彦超、數〻行周を陵鑠す。帝、彦超の曲を知り、猶ほ之を和解す。○帝、幽州の兵千五百を繁臺に殺す。張璉曰はく、今、此を守り、死を以て期と爲すと。衆心苟くも離れなば、城、○帝謂ふ、衆心苟くも離れなば、城、保つ所無からんと。○杜重威出で降る。城中の餒死する者、什に七八。○帝、張璉に死せざるを許し、而して之を殺し、其部曲を遣りて幽州に歸らしむ。○蜀の張虔釗等、鳳翔に寇す。李廷珪、長安に趣く。○皇子承訓、卒す。○帝、大梁に至る。

著雍涒灘	三、庚戌。五、己酉。六、戊寅。八、丁丑。九、丙午。十二、乙亥。○本志に、朔、食す。六月戊寅朔、太微の西垣を犯す。戊戌、右執法、歲、月丁丑、左執法を犯す。十
乾祐元	○王景崇に命じて、回鶻の使者を迎へ、因りて關西を經略せしむ。○趙匡贊、將に蜀に奔らんとす。李昶以爲らく、漢新に天下を得、方に招懷を務む。若し過を謝して朝に歸せば、富貴を失はざらん。蜀は蹄涔にして、尺鯉を容れずと。乃ち恕して、入朝せんことを求む。帝、○何承訓、復た、胡進思及び其黨を殺さんと請ふ。弘儁、其の反覆するを惡み、之を斬る。○進思、弘儁を殺さんと請ふ。弘儁、許さず。進思、命を矯めて薛溫をして之を殺
吳越忠懿王 俶	廢王を衣錦軍に遷し、薛溫をして之を衛らしむ。
楚王希廣	南漢、來りて昏を求む。楚、許さず。○希廣、數へ漢の爵を求む。官、弘執、練政に昏し、和解せしめんとす。而れども希廣、新たに立ちて、未だ人心に厭はず。徐任知、賀州を拔く。入寇して南漢、賀州を拔く。
使して罪を謝し、漢に職貢を修めんことを請ふ。○從海卒子保融、位を襲ぐ。	
六	漢の李守貞來りて援を求む。查文徽・魏岑、請ひて、金全等を遣はし、兵を出して以て應ぜしむ。功無くして旋る。
十一	趙匡贊、朝に入りて漢に李延圭の兵、谷に敗る。○張虔釗、兵を遣はして之を散ず。○韓保貞、隴州より何重建を邀へて俱に西す。○漢の王、關に敗る。
六	昏、楚に求む。楚、許さず。○鍾九章、楚、兄弟に謂ふ、方に爭ふに暇あらず。能く我を害せんや。懷恩、兵を將ゐて楚を擊ち、賀州を拔く。
三月より以後は卷第二百八十八	

	○侯益、降を蜀に請ふ。

使と爲す。是より、國事、皆、邠に決し、三相、手を拱く。
○邠謂ふ、文章禮樂は、何ぞ意に介するに足らんと。
○邠、除拜を艱んず。士大夫、漢の世を終ふるまで一命に霑はざる者有り
○郭從義を遣はして長安を討たしめ、白從珂をして河中を討たしむ。
○王景崇、邠州に之かず、兵を鳳翔に聚む。
○契丹主、晉主の女を奪ひ、以て禪奴に賜ふ。
○河、魚池に決す。
○王景崇、鳳翔を以て蜀に降る。亦、李守貞の官爵を受く。
○趙暉、鳳翔を撃たんと請ふ。
○劉崇、郭威と隙有り。鄭琪の謀を用ひ、始めて士を募り兵を繕ひ城を完くし、詔令を稟けず。
○諸將相伎り、進まず。郭威に詔して往きて戰を督せしむ。諸將、皆、節度を受く。
○馮道、威に勸む、官物を愛む勿く、以て士卒を賞せよと。威、是に由りて衆心を得。
○扈彦珂、威に先づ河中を攻めんことを勸めて曰はく、三叛、守貞を推して主と爲す。守貞亡びなば則ち岐雍自ら破れんと。
○郭威、士卒を撫養す。
○李守貞、禁軍を望み、城を叩きて奉迎す。既にして踊躍詬譟す。
○郭威謂ふ、城を攻むるは、士卒を以て湯火に投ずるが如し。若かず、

安思謙を遣はして鳳翔を救はしむ。母昭裔、諫むれども聽かず。
○韓保貞、汧陽に出づ。
○思謙、漢の兵を寶雞に敗り、退きて鳳州を保つ。
○思謙請ふ、先づ糧四十萬斛を運べよ。乃ち師を出す可しと。
○思謙、漢の兵を玉女潭に敗り、進みて模壁に屯す。食盡きて還る。
○徐光溥、淫洪

長圍を築きて之を守り、坐して轉輸を食し、彼の食竭くるを俟ち、然る後、急に攻め、且つ之を招諭せんには、則ち彼父子、相保つ能はざらんと。
○又謂ふ、守貞、我を輕んずるの心有り。宜しく靜にして以て之を制すべしと。
○趙暉、蜀の兵を散關に破る。
○王景崇、侯益の家七十餘人を殺す。乳母劉、己の子を以て侯延廣に易ふ。
○李守貞、兵屢〻敗る。總倫曰はく、只だ一人一騎を餘すを待ちて、乃ち大王の鵲起の時なりと。守貞猶ほ之を信ず。
○趙暉、鳳翔の兵を敗り、西關城を取る。
○暉、詐りて蜀の兵と爲り、鳳翔の兵を誘ひ、出でて之を敗る。是より、敢て復た出でず。
○蜀の安思謙、散關に出で、韓保貞、汧陽に出で、以て景崇を救ふ。思謙尋ぎて退きて鳳州に屯す。
○李彝殷、丹延の境上に屯し、以て李守貞に應ず。高允權、以て聞す。
○朝廷、之を和解す。
○蘇逢吉、李崧を惡み、其僕葛延遇を誘ひて變を告げしめ、之を族滅す。士民の家、往往、僕隷の脅制する所と爲る。
○楊乙、史弘肇の爲めに、月に萬緡を率す。
○唐の李金全、沂州に寇す。
○高祖を葬る。

にして私を挾むに坐して免ぜらる。

	○安思謙、進みて模壁に屯す。食盡きて去る。○郭威、將に鳳翔に如かんとし、白從珂・劉詞を戒めて曰はく、賊必ず來りて圍を突かん。成敗の機、是に於てか在りと。○威、華州に至りて還る。
屠維作噩	三、甲辰。六、癸酉。七、壬寅。九、辛丑。十、庚午の朔。○本志に、酉の六月癸酉朔、食す。九月壬寅、右執法を犯し、太白、鎭を犯す。辛酉、右執法丁卯を犯す。太白、歲を元年八月己丑よりを太微垣に入れつ。
漢隱帝承祐乾祐二	赦す。○王繼勳、夜、河西の寨を襲ふ。劉詞、擊ちて之を走らす。○郭威、愛將を斬り、以て酒を禁ず。○李彝殷、中原を輕んじ、毎に叛臣を助け、重賂を邀む。朝廷、亦、之を羈縻す。○唐の皇甫暉、海泗に寇す。成德欽、之を敗る。○契丹、晉主に田を建州に給す。○安太妃、遺令して、骨を焚き、南に向ひ弘璋を諫め、書生を捶ち、父弘肇を誅し、大人の過を彰さんと欲するのみと。○民、仰ぎて太白を視る。弘肇、之を腰斬す。○李守貞、食盡き、兵出でて屢〻敗れ、部將多く降る。郭威、諸軍を督して急に攻む。守貞、自ら焚く。○趙思綰、食盡き、人を屠りて以て軍糧に給す。李殷・程讓能說きて、斜滔、叛事を謀る。弘億に連なる。○弘億、明州に判たり。○弘儁、荒民の田を墾す者を募る。之を勿かれと、遺丁或ひは弘儁と請ふ。之を國門に杖つ。
	○希尹、氏を賜ひて耶律と曰ふ。○國王希禹、兄弟、希馬を以て宗を知と爲す。○希尹、兵を發して背き、宜しく速に之を圖るべしと。○希尹、遂に兵を舉げ、上將・左右執法・昇謁者を犯し、句己を往來すること、凡そ四百四十三日、十一月辛亥、始めて左掖門を出づ。
楚貞懿王保融	
七	淮北の羣盜、多く命を請ふ。皇甫暉を遣はし、兵萬人を將ゐて海泗之に招撫せしむ。功を立つるに及びて還る。○魏岑復た進む。德鍾・李、事を始め皆特に輕んじ、范延光を用ひて以て恩を思ひ、降を請はしむ。詔して、以て華州留後と爲す。○思綰、遷延して、官に之かず。郭威、之を疑ひ、誘ひて之を殺す。○威、河中の外郭に克つ。李守貞、退きて子城を保つ。四百四十三日、十一月辛亥、始めて左掖門を出づ。
十二	安思謙、鳳州に屯し、罪を問はるるを待つ。
七	南漢主、英州に如く。○希尹、氏を賜ひて耶律と曰ふ。○希尹、遂に兵を舉げ、上將・左右執法・昇謁者を犯し、句己を往來すること、凡そ四百四十三日、十一月辛亥、始めて左掖門を出づ。

	○希尹、氏を賜ひて耶律と曰ふ。○希尹、遂に兵を舉げ、上將・左右執法・昇謁者を犯し、句己を往來すること、凡そ四百四十三日、十一月辛亥、始めて左掖門を出づ。
	降を請はしむ。詔して、以て華州留後と爲す。○思綰、遷延して、官に之かず。郭威、之を疑ひ、誘ひて之を殺す。○威、河中の外郭に克つ。李守貞、退きて子城を保つ。四百四十三日、十一月辛亥、始めて左掖門を出づ。○王溥、威に勸めて、朝貴潘鎭の書を焚き、以て反側を安んぜしむ。○帝浸く驕縱にして、左右を狎昵す。太后、之を誨ふれども從はず、張昭諫むれども聽かず。○王守恩、西京留守と爲り、貪鄙にして、抒斂。乞人も、率斂を免れず。○郭威、其の肩輿にて出で迎ふるを怒り、頭子を以て、白文珂をして之に代らしむ。○守恩、厚く貢獻し、及び權貴に賂ふ。○朝廷遂に問はず。○帝、郭威が功有るは、中に居る大臣の安、臣に致す所に由ると以ふを以てし、其の賞を均しくせんと請ふ。之に從ふ。○宰相、樞密・侍衞使、皆、官を遷さるる。潘鎭の觖望せんことを恐れ、遂に偏く之に加ふ。一人、功を立つるに因りて、賞、天下に覃し。○契丹、河北に寇す。○州鎭、皆、城
	○希尹、氏を賜ひて耶律と曰ふ。○希尹、遂に兵を舉げ、上將・左右執法・昇謁者を犯し、句己を往來すること、凡そ四百四十三日、十一月辛亥、始めて左掖門を出づ。
	○苑、氏を賜ひて耶律と曰ふ。○希尹、遂に兵を舉げ、上將・左右執法・昇謁者を犯し、句己を往來すること、凡そ四百四十三日、十一月辛亥、始めて左掖門を出づ。
	○希尹、氏を賜ひて耶律と曰ふ。○希尹、遂に兵を舉げ、上將・左右執法・昇謁者を犯し、句己を往來すること、凡そ四百四十三日、十一月辛亥、始めて左掖門を出づ。

上章閹茂

正、己亥。三、戊戌。六、丁酉。七、丙寅。九、乙丑。十一、甲子の朔。閏五。六、一日、大暑。○本志に、、

に嬰りて自ら守る。契丹深く入り、鄴都の北境に及ぶ。○帝、郭威に命じ、諸將を督して之を禦がしむ。○契丹、漢の兵が河を度るを聞き、引き去る。威、邢州に至りて還る。○楊邠、政を爲すこと苛細なり。周璨が王景崇の謀主たるを以て、前資官に敕して、皆闕に詣らしむ。旣に雲集して、官を求む。以て之に應ずる無し。又、官民をして出入するに、過所を給せしむ。煩に勝へずして止む。○王景崇、二將をして東門を燒きて詐り降らしむ。己も亦自ら焚く。○王萬敢、唐の荻水鎭を侵す。

三

萬敢、兵を益さんことを求む。郭瓊を遣はして之に赴かしむ。○郭威、兵を勒して、契丹に臨まんと請ふ。詔して之を止む。○使を遣はして河中・鳳翔の遺骸を瘞めしむ。僧有り、已に二十萬を聚む。○朝廷、藩鎭を移易せんと議し、其の入りて壽を上つるを聽す。○汝人、劉審交の喪を留めて葬りて之を祭らんと請ふ。馮道曰はく、劉君の政は能く易し。但だ人、爲さ

唐の査文徽、福州に寇す。吳程、人を遣はして詐り降り、文徽を擊ちて之を擒にす。○杜建徽卒す。○漢、弘俶に諸道

楚恭孝 王希萼

希萼、羣蠻を誘ひて以て益陽を攻め、潭の將陳播を淹溪に敗り、之を殺す。○蠻、迪

蜀の田行皐、來奔す。保融曰はく、彼、蜀に貳あり。安んぞ背て我に忠ならんやと。執へて之を歸す。

八

漢已に三叛を平ぐと開き、李金全の招討を罷む。○劉玄貞、妄に漢の將と稱し、大舉して南伐す。燕

と爲す。

十二

諸子玄喆等を立てて王と爲す。○趙延隱卒す。

八

盧瓊仙・黃瓊芝を以て女侍中と爲す。○宗室・勳舊、誅戮して殆ど盡く。宦官林延遇等、事を用ふ。

卷第二百八十九

十一月甲子朔、食す。六月乙卯、塡、左掖を犯す。七月甲申、熒惑、司怪を犯す。八月癸卯、太白、房を犯し、庚戌、心の大星を犯す。十月、辛酉、太白、歲を犯す。

ざるのみと。○漢の長原陵、一奠に霑はず。○折從阮、族を擧げて入朝す。○吳虔裕、鄭州に出づ。○郭威を以て鄴都を守り、契丹に禦備せしむ。○史弘肇、威をして樞密を領せしめんと欲す。蘇逢吉曰はく、内を以て外を制するは順なり。今、外を以て内を制するは、可ならんやと。將相始めて隙有り。○永安軍を罷む。○柴榮、郭威の養子と爲る。○折德扆を以て府州團練使と爲す。○郭威、帝に勸む、敎を太后に稟け、楊邠等に委任せよと。○防團に敕し、事を奏するに、必ず觀察に申さしむ。○皇弟承勳を以て開封に尹とす。○郭瓊、劉銖に說き、入朝せしむ。○史弘肇、蘇逢吉と、酒令を爭ひ、逢吉を殺さんと欲す。楊邠、諭して之を止む。○趙延乂、帝に德を脩めて以て異を消せんことを勸め、貞觀政要を讀まんことを請ふ。○河、鄭州に決す。○晉の李太后病み、戟手して杜重威・李守貞、を罵る。○王殷、潭州に屯す。○楊邠・郭威・史弘肇・王章、同じく政を輔け、國家粗ぼ安し。○章、稅を增して省耗二升とし、錢、七十七を以て省陌と爲す。

元帥を加ふ。○查文徽を唐に歸す。

田を破り、黃處超敗れ死す。翟洪璉を遣はして玉潭に屯せしむ。○希萼、別に進奏務を置かんと請ふ。漢、許さず。○希萼怒り、唐に師を乞ふ。唐の何敬洙、兵を將ゐて之を助く。希廣、急を漢に告ぐ。○劉彥瑫、兵を將ゐて朗州を擊ち、大に湄州に敗れ、遁れ歸る。○或るひと告ぐ、

王弘冀に詔して潤州に鎭せしめ、周宗をして東都を守らしむ。○福人或は吳越、城を弃てて去ると告げ、查文徽を師と爲さんと請ふ。文徽、兵を引きて之に應ず。○陳誨、福の兵を敗り、馬先進等を獲。○福人、文徽を誘ひて之を擒にす。誨、軍を全くして以て歸る。○馬先進を吳越に

○禁鹽酒麴の禁を犯すこと銖滴なるも皆死す。○帝の左右及び外戚、事を用ふ。○太后の故人の子、軍職に補せんことを求む。史弘肇、之を斬る。李業・閻晉卿・聶文進・後匡贊・郭允明・劉銖、皆、執政を怨む。○帝、伶人に袍帶を賜ふ。弘肇、奪ひて以て官に還す。○帝、年益ゝ壯にして、大臣の制する所と爲るを厭ふ。○楊邠謂ふ、陛下、聲を禁ぜよ。臣等の在る有りと。○帝、積みて平かなる能はず。左右、間に乘じて之を譖して云ふ、終に亂を爲さんと。○蘇逢吉、屢ゝ李業等を激す。○帝、遂に李業等と、邠等を誅せんと謀る。太后、之を止む。帝曰はく、國事は、閨門の知る所に非ずと。○業等、兵を廣政殿に伏し、邠・弘肇・章を殺し、其親黨に及ぶ。○密に李洪義に詔して、王殷を澶州に殺さしめ、郭崇威等をして郭威を鄴都に殺さしむ。○蘇逢吉、變を聞き、驚き懼る。○李洪義、事の濟らざらんことを恐れ、密詔を以て王殷に示し、又、郭威に示す。○魏仁浦謂ふ、坐して死を待つ可からずと。○郭威、諸將をして己の首を取りて以て天子に獻ぜしむ。諸將皆曰はく、此れ必ず左右の羣小の爲す所なら

希崇の反狀已に明なりと。希廣、殺すに忍びず。○張暉、益陽を弃て逃れ歸る。朱進忠、益陽を屠る。○孟驕、希蓼に謂ふ、何ぞ袁譚が救を曹公に求めしに異ならんやと。○希蓼、大擧して長沙に趣き、自ら順天王と稱す。○漢、兵を發して希廣を救はんと議す。會ゝ内難あり、果さず。

歸し、以て査文徽に易ふ。○楚の馬希蓼、來りて師を乞ふ。何敬洙を遣はして之を助けしむ。

ん。請ふ公に從ひて入りて之を誅せんと。威、遂に兵を擧げて南す。○侯益、城を閉ぢて以て其鋒を挫かんと請ふ。慕容彥超、以て懦と爲す。帝、益に命じて兵を將ゐて澶州に趣かしむ。○郭威、澶州に至る。李洪義、之を納る。王殷、其兵を以て從ひて河を渉る。○威、鸗脫をして附表せしむ。○威、滑州に至る。宋延渥迎へ降る。○威復た將士に令して前詔を行はしむ。○王峻、士卒に旬日の剽掠を許す。○帝、郭威が河を渉るを聞き、悔い懼れて曰はく、屬者亦太だ草草なりきと。○李業、府庫を傾けて以て諸軍に賜はんと請ふ。○郭威、封丘に至る。太后、李濤の言を用ひざりしを悔ゆ。○慕容彥超謂ふ、北軍は猶ほ蠛蠓のごとし。請ふ其魁を生致せんと。○袁義・劉重進、侯益に會し、赤崗に屯す。○南北軍、劉子陂に遇ふ。○太后、帝をして飛詔して郭威を諭さしめ、輕ゝしく出づる勿れといふ。從はず。○聶文進謂ふ、百の郭威も擒にす可しと。○慕容彥超、帝に謂ふ、來日、宮中、事無くば、幸に再び出でて、臣が賊を破るを觀よと。

○朱進忠、玉潭を拔く。崔琪璉遁れ歸る。○希蓼、岳州を攻む。○王贊、希蓼に謂ふ、兄弟雍睦せば、敢て命に從はざらんやと。○希蓼、長沙に至り、湘西に屯す。○彭師暠、許可瓊と與に水陸より朗の軍を夾擊せんと請ふ。可瓊、潛に希蓼に通じ、其計を沮む。○希廣、諸將に命

と欲す。勳久して瘟病なり。乃ち弟の子贇を立て、馮道等を遣はして徐州に詣りて之を迎へしむ。○威、范質をして太后の詔令及び新君を迎ふる儀注を草せしむ。○常思、張永德を釋す。○威、太后に朝に臨みて政を聽かんことを請ふ。○王峻、樞密と爲り、王殷、馬步都使と爲る。○後匡贇・李業、皆死す。○契丹、入寇し、內丘・饒陽を陷る。○郭威、兵を將ゐて之を擊つ。○范質、樞密に副たり。○湘陰公贇、羣廷美・楊溫を留めて徐州を守らしめ、使者に隨ひて西に來る。○郭威、滑州に至る。贇、使を遣はして慰勞す。諸將、拜せずして曰はく、劉氏復た立たば、吾輩、種有らんやと。○威、澶州に至る。將士忽ち聚まり譟ぎ、威に自ら天子と爲らんことを請ひ、之を擁して南行す。○威、太后に牋し、奉じて母と爲さんと請ふ。大梁に至り、皐門村に營す。寶○贇、固等出でて迎へて勸進す。○贇、宋州に至る。王峻・王殷、郭崇威を遣はし、兵を將ゐて之を拒がしむ。○威、部兵を以て崇威に歸す。○贇、馮道に謂ふ、此に來るは、公が三十年の舊相なるを恃めばなるの

○郭威、士卒を戒む、先づ動く勿れと。○嘉容彥超、輕騎を引きて其陳を犯し、利あらず。是に由りて、諸軍、氣を奪はれ、稍稍に北軍に降る。侯益等、皆、潛に往きて威に見ゆ。○威、延湜を遣はして乘輿を衞らしむ。○暮容彥超、南軍且に盡きんとするを比ほひ、奔りて兗州に歸る。○帝、從官數十と與に舊寨に宿す。○帝、馬に策うち、宮に還らんと欲して至り、劉銖の衆を射る。回りて趙村に次す。○劉銖、隰兵の所と爲る。蘇逢吉・郭允明等、皆、自殺す。李業等、走る。○威、城に入る。諸軍、焚掠す。○軍士、白刃を持して其首を刎ぬ。○威、白再榮の財を劫取し、因りて張允、鎗を佩びて凍卒す。○或るひと賈延徽を執へて魏仁浦に授く。仁浦曰はく、亂に因りて怨を報ゆるは、吾、爲すに忍びずと。○威、劉銖に謂ふ、公の爲す所を以てせば、妻、銖に謂ふ、公の爲す所の如くなれば、雅より當に此の如くなるべしと。○王殷・郭崇威、掠者を禁ぜんと請ふ。○威、竇貞固・蘇禹珪を訪求し、其位に復す。○○○威、隱帝の葬禮を貶せず。○馮道、威の拜を受く。○○○威、太后に奏し、嗣君を立てんと請ふ。始め、高祖の少子勳を立てんと

み。左右、道を殺さんと欲す。贇、之を止む。
○太后、贇を降して湘陰公と爲す。
○張鐸、兵を引きて許州に入る。劉信、自殺す。
○太后、威をして國を監せしむ。

卷の第三十

重光大淵獻

正、癸亥。三、壬戌。六、辛卯。八、庚寅。十、己丑。十二、戊子の朔。十一、十六日、冬至。○本志に、三月甲子、歳、心を守る。己卯、熒惑、鬼を犯し、壬午、天尸を犯す。四月甲午、歳、鉤鈐を犯す。

周太祖 威 廣順元

帝、位に即き、改元し、赦す。○倉場をして斗餘・稱耗を收むるを得る毋からしめ、羨餘を進むるを罷め、竊盜は天福の刑名に依り、罪、反逆に非ざれば、族誅・籍沒するを得る毋からしむ。○李太后、西宮に遷る。昭聖太后と號す。○劉勳卒す。○鞏延美・楊溫、徐州に據る。○契丹、引き去り、和を漢に求む。帝、使を遣はして契丹に聘す。○王殷、鄴都留守と爲る。侍衞司を遣はして、之に從はしむ。○帝、漢の隱帝の爲めに、哀を擧げ、服を成す。○慕容彥超、入貢す。帝、之を慰安す。○馮道、中書令と爲る。○鞏延美等、既に降り、而も猶豫して門を閉づ。王彥超に命じて之を攻めしむ。○珍異の食物を獻ずるを罷む。

北漢世祖 旻 乾祐四

劉崇、漢の隱帝が害に遇へるを聞き、兵を擧げて南に向はんと欲す。湘陰公贇立つと聞きて止む。○李驤、崇に勸む、兵を引きて孟津に據り、贇が位に即くを俟ちて鎭に還れと。崇以爲へら

吳越忠懿王

周、弘俶に諸道元帥を加ふ。○弘倧を東府に徙し、園宅を繕ひ、供億を厚くし、以て之を娛悅す。○錢仁俊の官爵を復す。

楚王 希崇

希萼、使を遣はして唐に入貢す。○唐、使を遣はして來りて冊命す。○希萼、荒淫にして士卒を恤まず。悉く軍府の事を以て希崇に委ぬ。希崇復た私多く、新舊の人、皆、離心有り。劉光輔、密に唐主に白して云はく、湖

楚貞懿王

唐元宗 保大九

馬希萼を冊命して楚王と爲す。○邊鎬を遣はして袁州に戍し、密に湖南を圖らしむ。○王逵・周行逢、朗州に據る。希萼、唐に訴ふ。唐、詰る能はず。○馬希崇、兵を求む。邊鎬を遣はして、之に應ぜしむ。鎬、

蜀 楚恭孝王 廣政十四

高延昭、樞密を辭す。伊審徵を以て之に代らしむ。蜀の政、是に由りて浸く衰ふ。○范仁恕、相と爲る。

南漢中宗 乾和九

吳懷恩、楚の蒙桂宜連梧嚴富昭柳象龔の十一州を攻む。始めて盡く嶺南の地を有つ。○潘崇徹、唐の柳州を取る。

卷第二百九十

敗もの蒼ふ入滞希なて戻〇する務〇つ希なし風すた し戻以神遣徐〇なけさり愚
す。首の。と崇許希なる劉。山希。崇凶、。在ちにてた(以威希立、。
。首な将音とる窓へつ希発音 に攻 たへ希 終 。価卿立し挙攻つ劉なる譚
興路来佐、請ら鄭。崇し、 遷な 立 、攻作 せさへのて な、。青鵬等な

もと〇吾〇さり〇弾干征〇ふ〇鎌〇寇〇敗之の軋と〇〇〇定 し〇〇〇用
す。蟇が王なて彦彦、せ峻。峻せ王し北ろ陳しな子、し戻北柴州、延演罪ふ
。帝容事峻験高超超氾ん、 、し峻、褒。恩、殺逃之、升褒后に共方の光
ず彦事峻験高超超氾ん、 、し峻、褒。恩、殺逃之、升褒后に共方の光
。首な将音とる窓へつ希発音 に攻 たへ希 終 。価卿立し挙攻つ劉なる譚
興路来佐、請ら鄭。崇し、 遷な 立 、攻作 せさへのて な、。青鵬等な

敗もの蒼ふ入滞希なて戻〇する務〇つ希なし風すた し戻以神遣徐〇なけさり愚
す。首の。と崇許希なる劉。山希。崇凶、。在ちにてた(以威希立、。

〇つ憲け光敗唐にり て衆し幅しも治ての比行王〇もさ将崇な厩籠〇可るれ南
光 。た馬な、響り 飾 、逃さ一 て。 。 宮戻し逢遠希 。た背び。騒謝挙と取
悪 、立光鵬馬な、州廊る入無も苦した以卿遣周 、 悪 、諸希縦彦の。ろ騒蝦

以蜜貞主、城此し准彦譲恩妻質丹得のぞ、切蔵覧る桑。子演峻
て、固峻之演に、南ち脈した准彦譲恩妻質丹得のぞ、切蔵覧る桑。子演峻
す帝蘇悉馬な実異目の遣、も禁の廻、譲官す、ろ物此凡賓き劉、承。
。に馬な、響り 飾 、逃さ一 て。 。 宮戻し逢遠希 。た背び。騒謝挙と取
悪 、立光鵬馬な、州廊る入無も苦した以卿遣周 、 悪 、諸希縦彦の。ろ騒蝦

も〇蜜〇丹で襦〇てひか、八〇〇〇〇〇位〇る珍安は(〇乃〇州に〇L〇〇〇
た蜜貞主、城此し准彦譲恩妻質丹得のぞ、切蔵覧る桑。子演峻
て、固峻之演に、南ち脈した准彦譲恩妻質丹得のぞ、切蔵覧る桑。子演峻
す帝蘇悉馬な実異目の遣、も禁の廻、譲官す、ろ物此凡賓き劉、承。
。に馬な、響り 飾 、逃さ一 て。 。 宮戻し逢遠希 。た背び。騒謝挙と取
悪 、立光鵬馬な、州廊る入無も苦した以卿遣周 、 悪 、諸希縦彦の。ろ騒蝦

〇たな将し傘〇む奥ひんの主〇立〇すて祖多位〇する主謂に誓ら〇なすチく
承 。撃ふてん子 。丹、と如 北ずす廟 。相華鋸に崇 。おい宗 。ふと晋ら〇なすチく
〇たな将し傘〇む奥ひんの主〇立〇すて祖多位〇する主謂に誓ら〇なすチく
承 。撃ふてん子 。丹、と如 北ずす廟 。相華鋸に崇 。おい宗 。ふと晋ら〇なすチく
剣、 し晋た仕鈴 来た謂む室褒 。た 窓 、即帝 き晋た人陽で。ご間父